文部科学省認可通信教育

2026年度第2学期

面接授業シラバス
北海道・東北ブロック版

開講期間：2026年10月17日（土）～2027年1月24日（日）

放送大学
教養学部

面接授業シラバス（面接授業時間割表ブロック版）のペーパーレス化について

2026 年度第 1 学期まで、学生の皆様には「面接授業時間割表ブロック版」冊子をお送りしておりましたが、SDGs の目標 12「つくる責任 つかう責任」の廃棄物の大幅削減、目標 15「陸の豊かさも守ろう」の森林の保護の達成に向け、本学の「面接授業時間割表ブロック版」冊子につきましては、原則として印刷物はお送りしないこととなりました。

2026 年度第 2 学期の面接授業シラバスなどの詳細は、下記のウェブサイトでご覧ください。また、システム WAKABA シラバス検索では、開講曜日やキーワードによる検索ができ、ご希望にかなう授業が見つけやすくなりますのでぜひご活用ください。

【面接授業ウェブサイト】
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

【システム WAKABA シラバス検索】
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

面接授業シラバスをウェブサイトでご覧いただくことが難しい方へ
ご所属の学習センターで印刷物を配付します。

1．受取方法
（1） 窓口
所属学習センターの窓口で配付します。開所日時にご注意ください。
（2）郵送
面接授業シラバスを送付してほしい旨を便箋等に記載し、「お届け先」を記入したレターパック（ライト）と一緒に、所属学習センターまでお送りください。
印刷物を封入して返送します。学習センター所在地は、本冊子巻末に記載しています。

2．期限
2026 年 8 月 15 日（土）から 2026 年度第 2 学期の科目登録申請が始まりますので、その前までに窓口又は郵送で受け取るようお願いします。これより遅くなると、科目登録申請期限までにお渡しできない可能性がありますのであらかじめご了承ください。

※ご所属以外のブロック版の印刷物を希望する場合
各ブロックの**太字・下線**で示している学習センターで取扱っておりますのでお手続きください。

ブロックは以下７つに分かれています。
・北海道・東北ブロック（北海道、青森、岩手、**宮城**、秋田、山形、福島）
・北関東・甲信越ブロック（茨城、栃木、**群馬**、新潟、山梨、長野）
・南関東ブロック（埼玉、千葉、東京渋谷、**東京文京**、東京足立、東京多摩、神奈川）
・東海・北陸ブロック（富山、石川、福井、岐阜、静岡、**愛知**、三重）
・近畿ブロック（滋賀、京都、**大阪**、兵庫、奈良、和歌山）
・中国・四国ブロック（鳥取、島根、岡山、**広島**、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
・九州・沖縄ブロック（**福岡**、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

（ライブ Web 授業のシラバスは全てウェブ上で確認するようお願いしております。PDF、冊子は配付していませんのでご了承ください。）

【北海道・東北ブロック】の各学習センターで開設される2026年度第２学期面接授業のシラバスを掲載しています。各科目の授業概要や日程等の詳細をご確認ください。
科目登録の方法や履修にあたっての注意事項等は、「 2026年度第２学期面接授業開設科目一覧」でご確認ください。

なお、北海道・東北ブロック以外のシラバスは、大学ウェブサイトからご参照いただけますので、ぜひご利用ください。

●面接授業ウェブサイト
全ブロックの面接授業シラバスをPDFで公開しています。
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

●WAKABAシラバス検索
科目名やフリーワードなどを条件指定し、放送授業・オンライン授業・面接授業・ライブWeb授業を横断的に検索することも可能ですので、ぜひご活用ください。
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

目　　次

● シラバス
- 北海道学習センター …… 2
- 旭川サテライトスペース …… 29
- 青森学習センター …… 31
- 八戸サテライトスペース …… 37
- 岩手学習センター …… 43
- 宮城学習センター …… 54
- 秋田学習センター …… 77
- 山形学習センター …… 91
- 福島学習センター …… 103
- いわきサテライトスペース …… 116

● 各学習センター案内図 …… 122

【巻末資料】
● 追加登録申請書

科目コード	2689006
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**論文指導： 西欧思想の源流**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	130
定員	20名
担当講師	スギウラ　シュウイチ 杉浦　秀一 北海道大学名誉教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第５時限 17:05～18:35 10月24日(土) 第５時限 17:05～18:35 10月31日(土) 第５時限 17:05～18:35 11月7日(土) 第５時限 17:05～18:35 11月14日(土) 第５時限 17:05～18:35 11月21日(土) 第５時限 17:05～18:35 11月28日(土) 第５時限 17:05～18:35 12月5日(土) 第５時限 17:05～18:35
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
プラトンの著作『饗宴』『パイドン』『パイドロス』を読みます。ヨーロッパの思想・文化を理解する上で、古典中の古典です。8回の授業ですべて読了する予定です。授業はまず報告者がレジメに基づき、20分テキストを説明します。
30分討論を行い、各人20分で当該部分の概念図を作成します。概念図に基づいて各人が発表します。最後に講師がまとめます。

【到達目標】
テキストの内容を要約できるようになる。著者の主張を概念図に変換し、その全体を俯瞰できるようになる。ヨーロッパ思想・哲学・文化の論理展開と思考法を理解できるようになる。

【授業テーマ】
第1回（10/17）『饗宴』の最初の三分の一を読む。
第2回（10/24）『饗宴』の中間の三分の一を読む。
第3回（10/31）『饗宴』の最後の三分の一を読む。
第4回（11/ 7）『パイドン』の最初の三分の一を読む。
第5回（11/14）『パイドン』の中間の三分の一を読む。
第6回（11/21）『パイドン』の最後の三分の一を読む。
第7回（11/28）『パイドロス』の前半を読む
第8回（12/ 5）『パイドロス』の後半を読む

【学生へのメッセージ】
最初は分かりやすいが、考えると難しい。それがプラトンです。そして西欧への彼の影響は絶大です。特別な知識は前提としませんので、西欧の考え方に接してみてください。

【受講前の準備学習等】
プラトンの『饗宴』『パイドン』『パイドロス』を熟読して参加してください。毎回報告者を決めて進めます。報告者は担当部分のレジメを作成・配付してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
テスト、レポートなどは課しません。授業はかなり密度がありますので、それを評価します。なお、受講生は毎回、担当する部分を読んで参加してください。

【受講者が当日用意するもの】
テキストと筆記具

【教科書】
・『饗宴』（プラトン／岩波文庫／¥792／ISBN=978-4003360132）
・『パイドン』（プラトン／岩波文庫／¥935／ISBN=978-4003360224）
・『パイドロス』（プラトン／岩波文庫／¥935／ISBN=978-4003360156）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
参加者全員が、毎回、「概念図」を作成し、それに基づいて一人ずつ発表します。大変ですが、一番勉強になります。

科目コード	2689014
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	オオミヤ　マナブ 大宮　学 北海道大学名誉教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境及びオンライン授業の受講方法を学びます。
学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【到達目標】
パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、Webサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
第2回 文書作成とPDF保存
第3回 Webとメールの活用
第4回 セキュリティ
第5回 システムWAKABA・自己学習サイト
第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス
第7回 オンライン授業の実践
第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）

【学生へのメッセージ】
基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】
「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。
自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です）。
学生証　授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。

【教科書】
・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　授業当日に配付します。

【参考書】
・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。

科目コード	2689022
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**英語に自信がつく！コース**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	25名
担当講師	ナカミチ　ユミ 中道　有美 酪農学園大学主任主事
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 10月18日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
外国語の習得には時間がかかるため、本授業では受講後も英語を楽しく学び続けられる英語学習の基礎を身につけることを目的とします。授業では効果的な英語学習法を学び、自分に合った方法を見つけます。
スピーキング活動を通して内容を深めながら流暢に話す力を養い、聞き手としての基礎も築きます。
さらに、リスニングやディクテーション、音読を取り入れ、英語を英語のまま理解する読解力を育成します。
また、短い英文を書く練習を行い、書く力を伸ばすことで表現力が整理され、スピーキングやリーディングの向上にもつなげます。
【到達目標】
英語の4技能の関連を理解し、総合的に運用してコミュニケーション力を向上させることができるようになる。情報を段階的に深めて英語で伝える力を身につけ、語順に基づく読解方法と音声と文字の一致を習得する。
さらに短い英文を書き、自己評価・他者評価を通じて学習改善策を立てられるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション
第2回 スピーキング1
第3回 リーディング1
第4回 ライティング1
第5回 スピーキング2
第6回 リーディング2
第7回 ライティング2
第8回 振り返り
【学生へのメッセージ】
英語学習は本来楽しいものですが、外国語を身につけるには時間がかかり、日々の積み重ねが必要です。そのため、苦手意識を持ってしまう方も少なくありません。
本授業は２日間という短い集中講義であり、内容は比較的速いペースで進みますが、短期間で英語学習の要点を集中的に学べる機会でもあります。
授業では効果的な学習法を紹介しますので、自分に合った勉強方法を見つけ、今後の学習に活かしてください。
英語学習を続けるための基礎を築き、他の学習者とともに学び合いながら、これまで学んできた英語を実際に使える英語へと発展させていきましょう。
【受講前の準備学習等】
授業では自己紹介を行いますので、事前に自分について話す内容（出身地、職業、趣味、好きな食べ物、英語を使ってやりたいことなど）を考えておいてください。また、必要な英単語はあらかじめ調べて準備しておきましょう。授業内で単語を調べる時間は設けていません。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
当日は、筆記用具、事前に準備した単語リストを持参してください。また、必要に応じて辞書を持参しても構いませんが、授業中に使用する時間は設けていません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2689049
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**ドイツ語の第一歩**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	スズキ　ジュンイチ 鈴木　純一 北海道大学名誉教授／放送大学客員教員
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
ドイツ語に初めて接する学習者を想定した授業。ドイツ語の基本を習得すると同時に、ドイツ語圏の社会や文化に関する理解も深める。さらには外国語を介した異文化交流を意識することで､多文化共生に対する考察もおこなう｡具体的には､アルファベートを始め基礎となる発音、動詞や名詞、語順等に関する初歩の文法、挨拶や慣用表現に慣れること等で、ドイツ語運用能力習得の第一歩を踏み出し、その後の発展的な学習を可能にする土台を固める。
【到達目標】
まずはドイツ語という言語の特徴を（英語と比較しつつ）歴史的な背景も含めて理解できるようになる。と同時に、基礎となる発音、初歩の文法、挨拶・慣用表現の第一歩を身につけることができるようになる｡練習においては実際のシチュエーションを想定した応用も試み、今後、自ら発展的な学習を可能にするための足掛かりを作ることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ドイツ語の歴史的特徴とアルファベート、発音の基礎
第2回 人称代名詞と動詞の変化
第3回 ドイツ語の挨拶と慣用的な会話表現
第4回 疑問文や否定文等、様々な文の構造
第5回 数詞と関連する表現（値段・時間等）
第6回 名詞・代名詞の体系的な構造（性・数・格）
第7回 助動詞・前置詞・接続詞・形容詞等の文法的な特徴
第8回 まとめと復習、そしてさらなる段階へ
【学生へのメッセージ】
ドイツ語の面白さを感じてもらえるように、皆さんとのコミュニケーションを楽しみながら、進めていきたいと思っています。
【受講前の準備学習等】
事前にテクストの目次全体を見て、各自でどのようなことがテーマになっているのかを、まず確認してください。次にテクストの最初にドイツ語の発音に関する簡潔な説明がありますので、音声データ等を参考に、できる範囲で実際に声に出してみてください。また文法に関して、24頁から49頁までの動詞と名詞に関する部分を読み、英語との違いを意識しながら、人称変化や名詞と冠詞の種類について自ら整理してみましょう。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具以外に必須のものはありません。PC、タブレット等の持ち込みは任意です。
【教科書】
・ニューエクスプレス＋(プラス)　ドイツ語（太田達也／白水社／¥2,200／ISBN=9784560087879）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2689057
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**物語から読み解く 青年期の心理学**
科目区分	導入科目：心理と教育
ナンバリング	220
定員	50名
担当講師	サワ　トシカズ 澤　聡一 北翔大学教育文化学部准教授／ 放送大学客員教員
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 11月1日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
思春期・青年期は、心と身体が大きな変化と成長を遂げる時機であると同時に、家族や友人等の身近な人々や、社会や学校、地域等のコミュニティからも色濃く影響を受ける時期でもあります。
この講義では、青年を題材に描かれた種々の物語を手掛かりに、複雑な現代社会を生きる思春期・青年期の若者の心理の理解と抱えている危機、そして支援について、心理学（青年心理学・臨床心理学）の観点から学びを深めることを目標とします。

【到達目標】
青年期の発達的な特徴について説明することができる。現代社会を生きる青年の特徴を説明することができる。青年期の危機の例を挙げ、それに対する関わりや対応を具体的に提案することができる。

【授業テーマ】
第1回 青年期の発達
第2回 青年期の親子関係
第3回 青年期の友人関係・恋愛
第4回 青年期と学校
第5回 青年期の心の危機
第6回 ひきこもる青年と居場所
第7回 青年期と働くということ
第8回 青年から学ぶ

【学生へのメッセージ】
青年期を題材にした映画や小説などの物語を題材に、講義を進めます。作品の内容に触れる場合がありますので、予めご了承ください。また、適宜グループディスカッション等のワークを行います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
特に、自分自身が過去に触れたことがある思春期・青年期を題材にした物語を読み返すと共に、近年公開された物語にも触れることを推奨します（小説、漫画、アニメ、映画など、媒体は問いません）。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・ノードとしての青年期（髙坂康雅（編）／ナカニシヤ出版／¥2,640／ISBN=9784779512742）
・思春期センサー ：子どもの感度、大人の感度（岩宮恵子／岩波書店／¥2,200／ISBN=9784000616843）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2689065
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**公衆衛生学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	100名
担当講師	テラサキ　マサル 寺崎　将 北海道医療大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
公衆衛生学は、「健康な人が病気にならないようにする学問」として、薬を必要としない健康体を維持するための予防健康科学の分野を担っています。人の健康の維持・増進のために、社会・集団の視点から健康と疾病を理解し、地域の中で普及していくことが重要です。
公衆衛生学の講義では、人々の健康状態に応じた予防や健康増進のために必要な知識を社会・集団の立場から考察できることを目的とします。
【到達目標】
公衆衛生に関する知識を修得すると共に、公衆の生命・健康を衛り、向上、増進させる方策について説明できる。
【授業テーマ】
第1回 保健統計
第2回 疫学
第3回 疾病の予防
第4回 感染症とその予防
第5回 予防接種
第6回 生活習慣病とその予防
第7回 労働衛生
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
わが国の最新の公衆衛生状況や疾病の予防法について学ぶことができます。
【受講前の準備学習等】
7つのキーワード（保健統計、疫学、疾病の予防、感染症、予防接種、生活習慣病、職業病）について、予めインターネット等で予習しておいてください（30時間）。
【成績評価の方法】
成績評価は、筆記試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・「衛生薬学 - 基礎・臨床・予防」（改訂第5版）（今井浩孝、小椋康光／南江堂／¥7,500／ISBN=9784524404483）
　授業当日にプリントを配布致しますので、ご購入されなくても大丈夫です。
・「衛生薬学」新スタンダード薬学シリーズ　第５巻（新スタ薬シリーズ編集委員会編／東京化学同人／¥6,000／ISBN=9784807917464）
　授業当日にプリントを配布致しますので、ご購入されなくても大丈夫です。

科目コード	2689073
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**生活と福祉、医療**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	ハタテ　トシヒコ 旗手　俊彦 札幌医科大学客員教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 11月1日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
健康で文化的な生活を送るための、さまざまな法的・社会的制度、医療・福祉制度に関する知識を習得します。自分自身の生活のウエルビーイングを向上させるためのみならず、自分自身の周囲の者への適切な助言、支援をできるようになることを最終的な目的とします。
【到達目標】
医療、福祉に関する国の政策の全体像、及び地域ごとの取組みを説明できる。
医療、福祉、生活、就労の場面での具体的な問題について、その背景を探り、解決方法を提案することができる。
【授業テーマ】
第1回 生活と福祉総論
第2回 生活の自立支援、困窮者対策制度の概要
第3回 児童福祉
第4回 性と福祉、性に由来する社会・健康問題
第5回 高齢者と福祉
第6回 障がいと福祉
第7回 医療と福祉
第8回 医薬品と福祉
【学生へのメッセージ】
健康問題、医療、福祉に関する基礎的知識を習得するのみならず、自ら主体的に自分の所属するコミュニテイのヘルスリテラシー、ウエルビーイングを向上させるための行動を起こせる意欲と能力を育成することを最終的な目標として授業を行います。
【受講前の準備学習等】
事前に講義レジュメを配布し、そのレジュメに事前学習項目を記載しますので、講義までに自身で学習項目についてノートにまとめるなどの学習を行ってください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
事前に配布したレジュメ、筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689081
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**基礎生化学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	キタガワ　タカオ 北川　孝雄 北海道医療大学講師
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 11月22日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
生化学は生体内で生じる化学反応を分子の面から理解する学問である。本講義は、生命の構成要素である糖質、脂質、タンパク質の構造、ヌクレオチド、ビタミンの構造及びその代謝について学習する。また、生化学の視点からヒト疾患の一部について学習する。

【到達目標】
・糖質の構造、代謝について説明することができる。
・脂質の構造、代謝について説明することができる。
・タンパク質の構造、代謝について説明することができる。
・DNAの構造、転写、翻訳について説明することができる。
・ビタミンの機能、構造について説明することができる。
・ヒト疾患を生化学的な視点から理解できる。

【授業テーマ】
第1回 三大栄養素、糖質の構造
第2回 糖質の消化・吸収と糖質代謝
第3回 脂質の構造、消化・吸収と代謝
第4回 タンパク質の構造、消化・吸収と代謝
第5回 ヌクレオチドの構造、染色体
第6回 DNAの複製、転写、翻訳
第7回 ビタミン
第8回 疾患と生化学

【受講前の準備学習等】
「生化学、糖質」、「生化学、脂質」などをインターネットブラウザで検索し、調べて自己学習しておいてください。

【成績評価の方法】
8回目に試験を行います。資料の持ち込み可です。選択問題、○×問題を出します。

【受講者が当日用意するもの】
メモできる筆記用具を持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689090
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**作物と生活のこれまで、これから**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	デグチ　テツヒサ 出口　哲久 北海道教育大学札幌校准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:50 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
イネ、コムギ、トウモロコシ、ダイズ、ジャガイモ…
私たちの生活を支える作物たちは優秀です。育てやすくて、美味しくて、まるで人類のパートナーになるために生まれてきたかのようです。
実はこれら作物は、人類によって意識的、あるいは無意識のうちに改良されたものです。それぞれの作物の祖先とはかなり異なるものになっています。
これらの作物と人類は、いつ、どのようにして出会い、どのように付き合ってきたのでしょう？作物はどのように変わってきて、今後どうなっていくのでしょう？飢餓問題や環境問題も踏まえながら学びます。
【到達目標】
・農作物に対して、起源・来歴や品種といった目線で考え、味わうことができる。
・品種改良の基本的な歴史を理解し、近代的な技術の是非についても判断できる。
・世界人口の動態と食糧生産のポテンシャルを比較し、今後の食糧需給や飢餓問題の本質を考えられる。
・農業と環境問題の関わりと、その対策について理解し、一市民としての関わり方を判断できる。
【授業テーマ】
第1回 ジャガイモの世界史
第2回 イネの作物学
第3回 ダイズと油糧作物
第4回 遺伝的改良の技術
第5回 人口と食糧生産能力の未来
第6回 農業と環境問題①　化学肥料
第7回 農業と環境問題②　地球温暖化
第8回 これからの農業と私たち
【学生へのメッセージ】
食と農を考える観点が豊かになり、さらに学びたくなるような授業ができればと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具
※授業は講義形式ですが、90分に4～6回程度、こちらからの設問について各々考えていただく「ワーク」を盛り込んでいます。各自ノートをご持参いただき、そこに書き込んでいってください。
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・ジャガイモのきた道（山本紀夫／岩波書店／¥924／ISBN=9784004311348）
・土は土である　作物によってよい土とは何か（松中照夫／農文協／¥1,980／ISBN=9784540121142）
・2050 年 世界人口大減少（ダリル・ブロッカー、ジョン・イビットソン／文藝春秋／¥1,980／ISBN=9784163911380）
・世界食糧危機（阮蔚／日経プレミアシリーズ／¥990／ISBN=9784296115051）
・“緑の革命”を起した不屈の農学者 ノーマン・ボーローグ（レオン・ヘッサー／悠書館／¥2,200／ISBN=9784903487304）

【その他（特記事項）】
名簿を観ながら、受講者に順に発言を求めていきます。発言を求められるのが苦手な方は、授業の前に申し出ていただければスキップします。

科目コード	2689103
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**がんを正しく理解する**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	ハマダ　ジュンイチ 濵田　淳一 北海道医療大学特任教授／ 放送大学・客員教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	この授業は、【★北見芸術ホール（北見市泉町1丁目3-22)】で行います。

授業概要

【授業内容】
２人に１人ががんに罹り、３人に１人ががんで亡くなっているように、現代の日本人にとってはがんはいたって身近な病気です。将来いくら医学が進歩してもがんという病気がなくなることはないと思われますが、がんで苦しむ人を減らしていくことは可能です。その第一歩は、がんを正しく知ることです。この授業では、がんについての疫学、生物学、診断・治療、予防・教育に関する情報を紹介します。
【到達目標】
発がんおよび転移・浸潤のメカニズム、がんの診断・治療の概要、ならびにこれらを理解した上でがんで苦しむ人を減らす方策を自身で想像できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 日本人のがんの特徴
第2回 がんとは何か：がんを引き起こす遺伝子異常
第3回 がんとは何か：遺伝子異常を引き起こす要因
第4回 がんとは何か：転移と浸潤
第5回 がんの診断
第6回 がんの治療
第7回 がんの予防
第8回 正しいがんの知識を広める：がん教育
【学生へのメッセージ】
がんのできた臓器などのスライドが出てくる場面がありますので、ご留意願います。
【受講前の準備学習等】
がんの何について知りたいのか、あらかじめ整理して受講することを勧めます。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・がんがみえる（医療情報科学研究所（編集）／メディックメディア／ISBN=4896328604）

科目コード	2689111
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**親の離婚と子どもについて考える**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	80名
担当講師	サトウ　チヒロ 佐藤　千裕 札幌国際大学人文学部非常勤講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
親の離婚を経験する未成年（18歳以下）の子どもの数は、毎年16万人前後で推移しています。夫婦の別居・離婚をめぐる父母の争いや葛藤から、子どもが心情面や生活面に大きな影響を受けることも少なくありません。
この講義は、親の離婚と子どもの福祉をめぐる問題に関して、理解を深めることを目的とします。親の離婚紛争下における子どもの心理や発達を踏まえて、子どもの親権、養育費、離婚後の親子の面会交流、不登校、非行、ひとり親家庭と子どもの貧困など、離婚に関連する問題について子どもの視点や立場から実情を把握し、考察を深めたいと思います。
本年４月から、夫婦や家族に関する法律（民法）が改正され、離婚後の共同親権制度がスタートしました。離婚した夫婦は、離婚後も共同で子どもの親権を行使することを選択できるようになりました。また、これと同時に、養育費の支払確保の強化、法定養育費の制度、祖父母等の親族と子どもとの面会交流なども法制化されました。この講義では、これらの新しい制度についてもわかりやすく解説したいと思います。
【到達目標】
・親の別居・離婚下における子どもの心理について説明することができる。
・離婚後の子どもの親権、養育費、親子の面会交流等をめぐる問題について、その概要を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 日本の離婚制度と離婚の実情
第2回 離婚をめぐる紛争と夫婦の心理
第3回 親の別居・離婚と子どもの心理
第4回 子どもの養育と親権・監護権
第5回 親子の面会交流
第6回 養育費と子どもの貧困をめぐる問題
第7回 子どもの不登校、非行などをめぐる問題
第8回 親の離婚と子どもの福祉への配慮
【学生へのメッセージ】
親の別居・離婚をめぐる問題について、子どもの視点や立場を中心として皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。
【受講前の準備学習等】
親の離婚と子どもに関することについては、社会問題としてメディアで取り上げられることもあります。新聞やテレビなどの報道に日ごろから関心を持ち、自ら問題意識を深めるなどして、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ワダ　ヒロミ 和田　博美 北海道大学名誉教授（大学院文学研究院）
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では心理学の実験計画法、基礎的な統計解析法、標準的なレポート作成法を学びます。その上で心理学の基礎的な実験を３種類行います。受講生の皆さんは実験者や実験参加者として実験を行います。原則として8回の授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 実験計画法、統計解析法、レポート作成法１
第2回 実験計画法、統計解析法、レポート作成法２
第3回 ミュラー・リヤー錯視１
第4回 ミュラー・リヤー錯視２
第5回 文章理解１
第6回 文章理解２
第7回 逆転眼鏡１
第8回 逆転眼鏡２
【学生へのメッセージ】
受講生の皆さんが実験者や実験参加者となり、基礎的な心理学実験を体験します。実験の結果をもとに、人の心の働きについて一緒に考えてみませんか。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
３種類の実験について、あらかじめ調べておく必要はありません。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中に実施する実験テーマへの主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参して下さい（マウスを使用できない機種は「刺激をうまくドラッグ出来ない」などの不便が生じるため、避けた方が無難です）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・レポートの作成に文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません（手書きでレポートを作成する場合は必要ありません）。
　・実験データのダウンロードと整理、グラフ作成、統計処理等にExcelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参して下さい（実験やデータ整理に便利です）。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・紙媒体でレポートを提出する場合、学習センターにプリンターがないため自宅やコンビニ等で印刷してください。Word等でレポートを作成してからpdfファイルに変換し、メールに添付してインターネットで提出することもできます。
　・自分の実験データをダウンロードして保存するため、USBメモリを用意してください。統計解析のため実験参加者全員のデータを提供します。その際は実験参加者の氏名を削除し、個人を特定できないようにします。
　・スマートフォンやデジタルカメラがあると実験データやグラフを写真で保存できるため、レポート作成に役立ちます。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会・認定心理士資格認定委員会（編）／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）
・第２版　心理学基礎実験を学ぶ（大和田智文・鈴木公啓（編著）／北樹出版／¥2,640／ISBN=9784779307034）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689138
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**教育認知心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ヨシノ　イワオ 吉野　巌 北海道教育大学札幌校・教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 11月1日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	この授業は、【★道東経済センタービル（釧路市大町1-1-1)】で行います。

授業概要

【授業内容】
学習の場面で、私たちは様々な概念・法則性・メカニズムを理解し、記憶し、それらの知識を使って思考し、問題を解決することを求められますが、その全てに高度な認知活動が関わっています。この授業では、記憶・知識、メタ認知、問題解決などに関する認知心理学の知見から教育や学習のあり方について考えます。
本講義では、認知心理学の簡単な実験も体験してもらいながら、基本的な認知処理がどのように学習と関わっているのかを理解していきます。

【到達目標】
・記憶・知識、メタ認知、問題解決などに関する認知心理学の知見から教育や学習のあり方についてどのようなことが言えるのか理解し説明することができる。
・また、そのような理解に基づいて、自分自身が学習する状況や人に何かを教える状況でどのようにすべきか説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 短期記憶と作業記憶：学習や成績との関わり
第2回 長期記憶：記憶の種類によって学習の定着は異なるか
第3回 知識の獲得：精緻化と関連づけ
第4回 理解すること：スキーマと状況モデル
第5回 思考過程①：学習における演繹的推論と帰納的推論
第6回 思考過程②：学習や日常場面における類推
第7回 メタ認知①：自己のモニタリングとコントロール
第8回 メタ認知②：メタ認知を育成するには

【学生へのメッセージ】
関連する講義（認知心理学等）を履修したことがある場合は、復習をしておいてください。

【受講前の準備学習等】
可能なら、参考図書を読むなど、自己学習に努めて下さい。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・学習支援のツボ　認知心理学者が教室で考えたこと（佐藤浩一／北大路書房／¥2,420／ISBN=9784762828652）
・授業の心理学　認知心理学から見た教育方法論（栗山和広／福村出版／¥2,750／ISBN=9784571210402）
・教室でどう教えるかどう学ぶか　認知心理学からの教育方法論（吉田甫、栗山和広／北大路書房／¥2,563／ISBN=9784762801693）
・メタ認知で〈学ぶ力〉を高める　認知心理学が解き明かす効果的学習法（三宮真智子／北大路書房／¥1,980／ISBN=9784762830372）

【その他（特記事項)】
この科目は、2024年北海道学習センター（札幌）で行った「教育認知心理学1：基礎編」と同じ内容で、また、2023年まで行っていた「教育認知心理学」の授業内容の一部を丁寧に行うものですので、内容的にはほぼ同じです。

科目コード	2689146
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ワダ　ヒロミ 和田　博美 北海道大学名誉教授（大学院文学研究院）
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では心理学の実験計画法、基礎的な統計解析法、標準的なレポート作成法を学びます。その上で心理学の基礎的な実験を３種類行います。受講生の皆さんは実験者や実験参加者として実験を行います。原則として8回の授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 実験計画法、統計解析法、レポート作成法１
第2回 実験計画法、統計解析法、レポート作成法２
第3回 自由再生による記憶の系列位置効果１
第4回 自由再生による記憶の系列位置効果２
第5回 メンタルローテーション１
第6回 メンタルローテーション２
第7回 要求水準１
第8回 要求水準２
【学生へのメッセージ】
受講生の皆さんが実験者や実験参加者となり、基礎的な心理学実験を体験します。実験の結果をもとに、人の心の働きについて一緒に考えてみませんか。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
３種類の実験について、あらかじめ調べておく必要はありません。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中に実施する実験テーマへの主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参して下さい（画面やキーボードが小さい機種、マウスを使用できない機種は「反応時間が遅くなる」、「キーボードの押し間違いが起こる」、「刺激をうまくドラッグ出来ない」などの不便が生じるため、避けた方が無難です）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・レポートの作成に文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません（手書きでレポートを作成する場合は必要ありません）。
　・実験データのダウンロードと整理、グラフ作成、統計処理等にExcelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参して下さい（実験やデータ整理に便利です）。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・紙媒体でレポートを提出する場合、学習センターにプリンターがないため自宅やコンビニ等で印刷してください。Word等でレポートを作成してからpdfファイルに変換し、メールに添付してインターネットで提出することもできます。
　・自分の実験データをダウンロードして保存するため、USBメモリを用意してください。統計解析のため実験参加者全員のデータを提供します。その際は実験参加者の氏名を削除し、個人を特定できないようにします。
　・スマートフォンやデジタルカメラがあると実験データやグラフを写真で保存できるため、レポート作成に役立ちます。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会・認定心理士資格認定委員会（編）／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）
・第2版　心理学基礎実験を学ぶ（大和田智文・鈴木公啓（編著）／北樹出版／¥2,640／ISBN=9784779307034）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689154
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**中動態としての主体的な学び**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	モリヤ　ジュン 守屋　淳 北海道大学名誉教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 11月15日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
中動態とは、哲学者國分功一郎がその著「中動態の世界」（医学書院、2017年）で取り上げたことをきっかけとして、最近注目されるようになった概念です。「中動態」自体は能動態、受動態などと同じ文法用語ですが、國分は人間の経験のある部分は中動態として捉えた方が正確に理解できることを示しました。
この講義では、学校教育において強調されるようになった「主体的な学び」も、学習者の意図的能動的なものではなく、中動態的なもの（気がつけばその学びの世界の中にいる、思わず夢中になってしまっている）なのではないかという立場から、主体的な学びのあり方に迫っていこうと思います。

【到達目標】
・中動態という概念を用いて、主体的な学びのあり方について説明することができる。
・今日の学校教育において強調されるようになってきた「主体的な学び」たる概念の問題点について、説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 今日の学校教育と「主体的な学び」
第2回 受動的な？「主体的な学び」
第3回「中動態」の言語学的な意味
第4回 中動態と意志の問題
第5回 主体的な学びを中動態として考えてみる
第6回「主体的に学習に取り組む態度」と中動態
第7回「個別最適な学び」と中動態
第8回 コントロールできない主体的な学び

【学生へのメッセージ】
受講者同士のディスカッションなども行なう予定なので、受講者の皆さんには積極的な受講態度を期待しています。

【受講前の準備学習等】
自分自身にとって「学び」とはどういうことか、一度振り返って考えておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・中動態の世界（國分功一郎／医学書院／¥2,200／ISBN=9784260031578）
・＜責任＞の生成（國分功一郎・熊谷晋一郎／新曜社／¥2,200／ISBN=9784788516908）
・子どもを学びの主体として育てる（守屋淳・澤田稔・上地完治（編著）／ぎょうせい／¥2,640／ISBN=9784324098318）

科目コード	2689162
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ワダ　ヒロミ 和田　博美 北海道大学名誉教授（大学院文学研究院）
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 11月22日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では心理学の実験計画法、基礎的な統計解析法、標準的なレポート作成法を学びます。その上で心理学の基礎的な実験を３種類行います。受講生の皆さんは実験者や実験参加者として実験を行います。原則として8回の授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 実験計画法、統計解析法、レポート作成法１
第2回 実験計画法、統計解析法、レポート作成法２
第3回 視覚探索１
第4回 視覚探索２
第5回 鏡映描写１
第6回 鏡映描写２
第7回 ストループ効果１
第8回 ストループ効果２
【学生へのメッセージ】
受講生の皆さんが実験者や実験参加者となり、基礎的な心理学実験を体験します。実験の結果をもとに、人の心の働きについて一緒に考えてみませんか。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
３種類の実験について、あらかじめ調べておく必要はありません。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中に実施する実験テーマへの主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参して下さい（画面やキーボードが小さい機種は「反応時間が遅くなる」、「キーボードの押し間違いが起こる」などの不便が生じるため、避けた方が無難です）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・レポートの作成に文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません（手書きでレポートを作成する場合は必要ありません）。
　・実験データのダウンロードと整理、グラフ作成、統計処理等にExcelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参して下さい（実験やデータ整理に便利です）。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・紙媒体でレポートを提出する場合、学習センターにプリンターがないため自宅やコンビニ等で印刷してください。Word等でレポートを作成してからpdfファイルに変換し、メールに添付してインターネットで提出することもできます。
　・自分の実験データをダウンロードして保存するため、USBメモリを用意してください。統計解析のため実験参加者全員のデータを提供します。その際は実験参加者の氏名を削除し、個人を特定できないようにします。
　・スマートフォンやデジタルカメラがあると実験データやグラフを写真で保存できるため、レポート作成に役立ちます。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会・認定心理士資格認定委員会（編）／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）
・第2版　心理学基礎実験を学ぶ（大和田智文・鈴木公啓（編著）／北樹出版／¥2,640／ISBN=9784779307034）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
この授業では、色識別を要する実験があります。

科目コード	2689170
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**発達障害と特別支援教育**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	サイトウ　マサヨシ 齊藤　真善 北海道教育大学札幌校准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
発達障害（自閉症スペクトラム障害、学習障害）の心理特性と支援の基本を講義します。講義では、基礎的研究から明らかになっている知見の紹介、アセスメントの方法や支援のあり方などについてふれます。

【到達目標】
・自閉スペクトラム症および学習障害の主な認知特性と行動特徴を理解し、困難さの背景を考察できる。
・発達障害のアセスメントの基本的視点を理解し、支援との関連を説明できる。
・発達障害への支援の原理（環境調整・合理的配慮など）を理解し、日常生活や地域で活かす視点をもてる。
・発達障害を「能力の欠如」ではなく「特性の違い」として捉え、共生社会のあり方を考察できる。

【授業テーマ】
第1回 ASDの当事者が語る内的世界
第2回 ASDの認知特性
第3回 ASDの早期診断
第4回 ASDの早期療育
第5回 ASDの特別支援教育
第6回 ASDの自己認知支援
第7回 読み障害の診断と評価
第8回 読み障害の教育

【学生へのメッセージ】
事例を元に講義を進めますので、発達障害に関心のある方であればどなたでも受講可能ですが、本講義の内容は当事者の支援経験のある者向けに、理論的な内容も含みます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特にありません。必要な資料は、当日配布いたします。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689189
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イリエ　トモナリ 入江　智也 北翔大学教育文化学部准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、質問紙法や投影法といった代表的な心理検査について解説します。また、それらの心理検査を実際に体験し理解を深めることを目的としています。
なお、それぞれの検査実習についてレポートを作成し、提出を求めます。原則として８回の授業すべてに出席する必要があります。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理検査の成り立ちと検査倫理
第2回 検査実習（1）Big Five尺度
第3回 検査実習（2）バウムテスト
第4回 心理検査の信頼性と妥当性
第5回 心理検査の種類と役割
第6回 検査実習（3)P-Fスタディ
第7回 テスト・バッテリーについて
第8回 心理検査に関するまとめとレポート執筆指導

【学生へのメッセージ】
この実習は検査の体験的理解を重視します。被検査者の立場を体験すること、さらに心理検査の結果を通して、心理検査に対する理解を実際的、実践的に深めていただく機会になればと考えています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆、消しゴム、電卓（携帯電話の電卓機能でも可）を用意してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689197
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**子どものもめごと解決テクニック**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	36名
担当講師	マシコ　ヒロヒト 益子　洋人 北海商科大学准教授
日程 実施時間	12月26日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 12月27日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
子どもたちは頻繁にもめごとを起こします。そして、その解決を通して、自己を確立し、他者と共生するためのスキルを身につけて行きます。逆に言えば、その解決が困難であれば、自己の確立や共生のスキルの習得が不充分になるということです。そのため、子どもと関わる大人には、子どもたちのもめごとを発達支援的に仲裁するテクニックが求められているといえるでしょう。
この授業では、子どものもめごとを仲裁するための理論とスキルを、ロールプレイ等を通して実践的に学習することを目的とします。

【到達目標】
・もめごとの解決を支援する理論を理解できる。
・もめごとの解決を支援する方法を理解できる。

【授業テーマ】
第1回 もめごと解決の理論
第2回 メディエーション・スキル①
　　メディエーション・スキルの構成要素、場面を構造化するスキル、公正・中立とみられる態度をとるスキル
第3回 メディエーション・スキル②
　　当事者の話を聴くスキル
第4回 メディエーション・スキル③
　　当事者の関心や希望を理解するスキル、解決策の検討を促すスキル
第5回 ロールプレイ①
　　一般的なメディエーション
第6回 ロールプレイ②
　　動機づけに乏しい当事者へのメディエーション
第7回 ロールプレイ③
　　同席を拒む当事者へのメディエーション
第8回 ロールプレイ④
　　中立性の保持が難しいメディエーション

【学生へのメッセージ】
みなさまと、もめごと解決の学習ができることを楽しみにしています。
子どもへの関心と疑問をもって、面接授業に参加してください。
どうぞよろしくお願いいたします。

【受講前の準備学習等】
事前に教科書を読み、授業で確認したい点や、質問したい点などがあれば、質問できるようにしておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、モチベーション

【教科書】
・教師のための子どものもめごと解決テクニック（益子洋人／金子書房／¥1,980／ISBN=9784760824168）

科目コード	2689200
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**自然災害と防災・復興**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	クマノ　ミノル 熊野　稔 北海道文教大学地域未来学科教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
各種自然災害と自助・共助・公助の防災対策、防災・復興まちづくりの基本体系や手法を学習する。
自然災害と地域防災計画及び防災危機管理行政について、実生活、社会や行政での実務を把握する。
各災害と対策、災害対策基本法、防災まちづくりの体系や手法、予防対策と応急対策、避難方法、災害救助法、復旧・復興対策と被災者生活再建支援法、防災まちづくりと津波防災地域づくりに関する法についても学び、各自の防災対策の演習も行う。
【到達目標】
学生は、各種自然災害と自助・共助・公助の防災対策、防災・復興まちづくりの基本体系や手法、法体系を理解して、防災演習やレポート課題を実施提出することにより、防災対策の基本を身に着け、的確に判断できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 防災ライフと防災リテラシー入門、災害に立ち向かうために
第2回 地震と津波、台風と豪雨、河川・土石流災害とその対策
第3回 火災と消防、災害と住宅、ライフライン、災害情報、地域防災計画及び防災危機管理行政
第4回 自然災害、地域防災計画及び防災危機管理行政
　　災害対策法律関係
第5回 自助・共助・公助のまちづくり、災害への予防対策と応急対策、避難方法
第6回 地域防災計画と地区防災計画、防災・減災、復興計画とまちづくり
第7回 巨大地震への備え、災害リスクマネジメント、BCP、BCM
第8回 机上での防災計画を考える演習
【学生へのメッセージ】
ノートパソコンやスマホ持参などネット検索ができること、また鉛筆などの筆記用具を持参してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断してインターネット等で予習しておいてください。各自宅からの避難場所や避難ルートを各自予習しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、ネット環境可能なスマホやタブレット等、筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689219
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**中小企業経営論**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	リン　ソウンコク 林　松国 小樽商科大学商学部・教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
中小企業は全企業数の99%以上、従業員数の約70%を占めており、中小企業は日本経済の活力の源泉です。また、中小企業は経済的にも社会的にも大企業と異なる独自の役割を果たしています。本授業では、中小企業の発展性と問題性、中小企業の社会的分業関係、中小企業の経営戦略などの側面から中小企業について体系的に学びます。
【到達目標】
本科目の履修を通して、中小企業の本質への理解とそれに必要な理論を獲得し、また中小企業の発展性と問題性を理解し、中小企業経営の現状や課題解決に対する基本的な分析力を身につけることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 中小企業の経営特性
第2回 中小企業の発展性
第3回 中小企業の問題性（小テスト）
第4回 下請システム
第5回 下請中小企業の自立化（小テスト）
第6回 中小企業の経営戦略：その１
第7回 中小企業の経営戦略：その２
第8回 中小企業の海外進出
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験（小テストを含む）の評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・21世紀中小企業論 第４版（渡辺幸男・小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫／有斐閣アルマ／¥2,420／ISBN=9784641221956）
・複眼的中小企業論 改訂版（黒瀬直宏／同友館／¥4,950／ISBN=9784496053719）

科目コード	2689227
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**村上春樹の文芸世界**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	ナカムラ　ミハル 中村　三春 北海道大学名誉教授／放送大学客員教員
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:50 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
いまや世界的な作家となった村上春樹。しかし、表面的な人気とは裏腹に、その真価は十分に理解されていないようです。この授業では、村上春樹の文芸世界を、〈危機の文学〉〈ヴァルネラビリティ（傷つきやすさ）〉〈戦争の影〉〈物語の連環構造〉〈アメリカ文学との関係〉〈イノセンス〉などの観点から、多面的に浮き彫りにします。主要な短編小説と、多くの長編小説、さらにエッセーやインタヴューなどを取り上げ、流行作家としてよりも、むしろ文芸伝統に位置を占める本格的な世界文学として評価します。

【到達目標】
村上春樹の文芸を全体像として把握し、小説作品を具体的に読解することができるようになる。併せて、現代的な文芸理論の概要を理解し、それに即した小説の受容方法を習得できるようになる。実際に小説作品を自分なりに読解し、具体的でユニークな解釈を言葉で説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 危機の文学―『ノルウェイの森』・『神の子どもたちはみな踊る』など
第2回〈傷つきやすさ〉の変奏―『スプートニクの恋人』・『東京奇譚集』など
第3回「メタファー」と物語―『海辺のカフカ』『騎士団長殺し』など
第4回 小説の連環構造―『ねじまき鳥クロニクル』・映画「ドライブ・マイ・カー」など
第5回 村上春樹と戦争―『ねじまき鳥クロニクル』・『アフターダーク』・『騎士団長殺し』など
第6回 どちらが本体、どちらが影？―『街とその不確かな壁』の系譜
第7回「シーク＆ファインド」の行方―アメリカ文学と村上春樹
第8回 少年と少女の物語―村上春樹の小説におけるイノセンス

【学生へのメッセージ】
村上春樹の小説は、短編・長編を問わず実に巧みに作り上げられています。そこに現れた世界観・人間観や、人物と物語構築の方法を読み解くことによって、これまで見えていなかった側面が見えるようになります。受講生には、小説の読解を楽しみながら、その要諦に肉薄すべく、作品に取り組むことを求めます。

【受講前の準備学習等】
あらかじめ村上春樹の作品を読んでおいてください。ほぼすべてが各種文庫版として刊行されています。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具・ノート

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・接続する文芸学 村上春樹・小川洋子・宮崎駿（中村三春／七月社／¥3,500／ISBN=978-4-909544-22-3）
・物語主義 太宰治・森敦・村上春樹（中村三春／七月社／¥3,400／ISBN=978-4-909544-34-6）
定価は本体価格

【その他（特記事項）】
授業は、テキスト資料とスライド資料に基づき、スライドを投影して行います。

科目コード	2689235
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**日本文学とメディア技術の文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヤマダ　モモコ 山田　桃子 北海道医療大学講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
文学作品は一つの虚構世界と見ることも出来ますが、もちろん現実の歴史、社会、慣習、テクノロジー等と無関係ではなく、そうした問題をしばしば読者の前に浮上させてくれるものでもあります。本講義では、特にメディア技術という視点から、過去の文学作品を読み解いていきます。
例えば人類の歴史に多大な影響を与えた、映像（映画）というメディアの体験は、当時の文学にどう表現されているのか、あるいは戦時中にラジオと文学はどう関わったのか等、文学作品を対象として、人間とメディア技術の歴史をめぐる問題について考えてみましょう。
【到達目標】
１）過去の文学や、それと関わる歴史・文化・社会・テクノロジー等について理解を深め、その双方について説明することができる。
２）１を通して、作家の思想や文学思潮といった視点にとどまらない、多角的な視点から文学作品について考え、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス：文学とメディア技術の交錯
第2回 大正期の小説と映画：谷崎潤一郎「人面疽」 1
第3回 大正期の小説と映画：谷崎潤一郎「人面疽」 2
第4回 大正期の小説と映画：内田百閒「旅順入城式」
第5回 電話をめぐる物語
第6回 戦時中のメディアと詩
第7回 戦時中のメディアと小説：坂口安吾「真珠」
第8回 講義のまとめ
【学生へのメッセージ】
・授業で扱う文学作品は、本文資料を配布します。事前に読んでいなくても分かるよう講義する予定です。
・毎回、簡単なコメントシートを書いてもらう予定です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689243
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**アメリカ短編小説を読む**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	25名
担当講師	マツイ　ミホ 松井　美穂 札幌市立大学デザイン学部教授
日程 実施時間	12月26日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 12月27日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、20世紀アメリカ文学を代表する短編小説、とりわけモダニズム期の作家であるヘミングウェイ、フィッツジェラルド、フォークナーの作品を読みます。それぞれの作品の読解を通じて短編小説の読み方を学ぶとともに、作品の背後にあるアメリカの社会・歴史・文化的文脈について理解を深めます。これにより、文学作品を多角的に捉え、その内容をより深く探究することを目指します。
それぞれの作品について英語原文を一部を抜粋して精読し、文学作品を英語で「読む」技術を身につけることも目的とします。
【到達目標】
短編小説の基本的な読解方法を理解し、作品を歴史・社会的背景と関連づけて考察できるようになる。また、モダニズム文学の特徴を理解し、各作家が用いた語りの技法を通して何を表現しようとしたのか、的確に説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 モダニズムとは何か　1
第2回 モダニズムとは何か　2
第3回 Ernest Hemingwayの "Indian Camp"を読む
第4回 F. Scott Fitzgeraldの"Babylon Revisited"を読む
第5回 アメリカ南部文学とモダニズム
第6回 William Faulknerの"A Rose for Emily"を読む
第7回 William Faulknerの"That Evening Sun"を読む
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
アメリカ文学のみならず、アメリカ社会・文化に関心がある方も大歓迎です。とりあげる作家の作品の多くが映画化されています。それぞれの作家が描く世界の理解を深めるためにも視聴をお勧めします。
【受講前の準備学習等】
授業で扱う作品を読み、ある程度自分の解釈を考えておくとともに、関連する歴史的背景・作者に関する基礎的事項を積極的に調べ、授業内容の理解を深めるための自己学習を行ってください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具・英和辞書（形態は問いません）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689251
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**コンピュータグラフィックス基礎**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	サカモト　ユウジ 坂本　雄児 北海道大学名誉教授／放送大学客員教員
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

コンピュータグラフィックス（CG）の制作は難しそうと感じているかもしれません。本講義では簡単なCGを制作実習を行い、ハードルを下げるとともに、CGの基本の仕組みの理解することを目的とします。
【到達目標】
よりレベルの高いCGの制作には、専門的なリファレンスやマニュアルを読み解き、高度な制作手法を理解する力が求められる。本講義では、受講者が自ら学習を進め、次の段階の制作へ主体的に取り組める能力を身につけることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 コンピュータグラフィックスの概要
第2回 モデリング
第3回 CGソフトの実習１
第4回 CGソフトの実習2
第5回 マテリアル・質感の付与
第6回 リアルな表現
第7回 ミニ作品制作実習1
第8回 ミニ作品制作実習2
【学生へのメッセージ】
コンピュータグラフィックスは身の回りに溢れていますが、その仕組みはブラックボックスとして使っていることが多いと思います。座学とともに実習で体験することによって理解を深め、自分でCGを制作することへのハードルを下げるとともに、基礎知識を得ます。
【受講前の準備学習等】
・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。なお、接続は各自で行ってください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　WindowsまたはmacOS。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・筆記用具を持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689260
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**Pythonプログラミング入門**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	オオミヤ　マナブ 大宮　学 北海道大学名誉教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:15～12:45 第３時限 13:35～15:05 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター (※不測の事態発生時は閉講。)

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

Pythonは適応分野が広く、現在最も人気のあるプログラミング言語です。その文法は多岐にわたっていますが、プログラミング未経験者を想定してPythonプログラミングに必要な基礎知識をしっかり学習し、ゆくゆくは機械学習やWebアプリの開発に応用できることを目指します。
はじめてプログラミングを学習する場合でも安心して学習できるように、多くの解説と例題を用意しています。
【到達目標】
プログラミングに必要な基本的な知識をPython言語を利用して理解することができる。具体的には、変数、代入文、演算子、条件式、繰り返し、関数、オブジェクトなどの意味を理解できるようになる。さらに、それらを組み合わせて、目的の処理を行うプログラムの開発ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 開発環境とPythonの基礎
第2回 文字列と入出力
第3回 条件式と分岐
第4回 ブール型と論理演算子
第5回 繰り返し
第6回 関数の定義
第7回 オブジェクトとリスト
第8回 タプルとコレクション
【学生へのメッセージ】
Pythonプログラミングに関する基礎的な事項を理解し、Webアプリケーションおよび機械学習などの開発に応用できる知識の習得を目指します。
平易な内容について豊富な演習課題を解くことで理解を深めます。第２学期に実施する面接授業「Pythonプログラミング中級編」の受講を希望される場合、この授業を受講してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、インターネットの解説ページや解説ビデオを参考に自己学習に努めてください。
また、本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましいです）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．その他
　筆記用具が必要です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
学習した内容を確認するために、インターネットなどで調査することは有効です。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689278
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**有機化学と 身近な有機化合物**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	16名
担当講師	センボク　ヒサノリ 仙北　久典 北海道大学大学院工学研究院准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:50 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
有機化学は、医・農薬をはじめ様々な機能性分子や高分子化合物などの分野において根幹となる学問です。身の回りにはたくさんの有機化合物が存在しますが、有機化学は一般の方々にはなじみが薄いのが現状です。本授業では、身の回りにある有機化合物などを用いて有機化学を紹介するとともに、環境に配慮したグリーンケミストリーの概念と実例について紹介します。
また、ノーベル賞を受賞した鈴木カップリングの体験を通じて有機化学とグリーンケミストリーの重要性を理解するとともに、身近な高分子化合物の合成を体験します。

【到達目標】
・有機化学や身近な有機化合物・高分子化合物に興味を持つようになる。
・有機化合物・高分子化合物と普段の人間の生活との結びつき・関わり合いを理解する。
・身の回りの有機化合物や高分子化合物の構造式などが気になるようになる。
・単結合、二重結合、三重結合の違いを理解する。
・アルカン、アルケン、アルキン、アルコール、ケトン、エステルなどの化合物群を判断できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 有機化学とは？有機分子を構築する結合について学ぼう
第2回 有機化合物の官能基とその性質について学ぼう
第3回 芳香族化合物と高分子について学ぼう
第4回 薬や辛味やにおいのもととなる有機化合物を学ぼう
第5回 グリーンケミストリーを指向した工業的なものづくり
第6回【実験：ガイダンスと諸注意】ノーベル化学賞を受賞した鈴木カップリングを体験しよう
第7回【実験】身近な高分子化合物を合成しよう
第8回 全体を通して

【学生へのメッセージ】
有機化学は一般的にはあまりなじみがないかもしれませんが、人間が生活していくうえでとても重要です。その様な有機化学に触れる、有機化学を学べる貴重なチャンスです。
また、実際に有機化学実験が行える数少ない授業です。有機化学や実験に興味のある学生さんはぜひ受講してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
・この科目の内容の一部は、2017年度第２学期「身近な環境と有機化学」に重複します。その点に留意して申請してください。

科目コード	2689286
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**生物実験1： DNAを見てみよう**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	16名
担当講師	フキヤ　サトル 吹谷　智 北海道大学大学院農学研究院教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:15～12:45 第3時限 13:35～15:05 第4時限 15:20～16:50 11月15日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:15～12:45 第3時限 13:35～15:05 第4時限 15:20～16:05
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
生物の遺伝情報を担っているDNAに関する基礎的な実験を行いながら、DNAと生命の本質に関する理解を深めることが本授業の狙いです。まず大腸菌のプラスミドDNAを取り出し、電気泳動でDNAの観察を行います。そのあと取り出したDNAが実際に働くか、再度大腸菌に導入して、その機能を確認します。さらに自分の口腔細胞からDNAを取り出して、PCRという方法で、あなたがお酒に強いか弱いかをDNAレベルで調べる実験を行います。

【到達目標】
受講者がDNAの構造と機能を理解し、遺伝子によって生物の表現型や性質が形作られることを理解できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 実験講義：DNAとは？
第2回 実習１：DNA実験に使う器具および機器の使い方
第3回 実習２：大腸菌からのプラスミドDNAの抽出
第4回 実習３：プラスミドDNAによる大腸菌の形質転換
第5回 実験講義：アガロースゲル電気泳動とPCRの原理
第6回 実習４：ほおの細胞からのDNA抽出
第7回 実習５：PCRによるお酒の強さの判別
第8回 実験結果のまとめと考察／小テスト

【学生へのメッセージ】
恐らくDNAを扱うのがはじめての方が多いと想定して実験を組み立てているので、全く予備知識がなくても心配せずに参加してください。DNAは何か別世界と思っている方も、自分のDNAを見ることで身近に感じるとともに、バイオの基本にふれてみましょう。

【受講前の準備学習等】
情報が手に入る範囲で、DNAとは何か、何をしているのか、などのDNAについての基本的な情報を学習しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は学習状況等及び授業時間中の小テストの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・DNAとはなんだろう「ほぼ正確」に遺伝情報をコピーする巧妙なからくり（ブルーバックス）新書（武村政春／講談社／¥1,100／ISBN=4065368405）
・DVD&図解　見てわかるDNAのしくみ　新書（JT生命誌研究館（著）、工藤光子（著）、中村桂子（著）／講談社／¥2,680／ISBN=4062575825）

【その他（特記事項）】
過去に同じ科目名の面接授業で単位修得済みの方は、登録申請できません。 また、2010年度第２学期開講の「生物実験１：組換えDNAの基礎」を履修し単位修得済の方も、登録申請できません。
参加資格は、20歳以上で、応募者自身の個人遺伝情報にかかわる実験であることを了解した上で参加する旨の同意書に署名できることです。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2689294
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**暮らしと健康をはかる化学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	タニ　ヒロフミ 谷　博文 北海道大学大学院工学研究院・准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:50 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター （※不測の事態発生時は閉講。）

授業概要

【授業内容】
私たちは日々の暮らしの中で、「はかる（計る・測る・量る）」ことによって判断し、行動しています。「はかる」のは時間や長さ、温度、重さに限らず、相手の真意を「推しはかる」といった場面も含まれます。こうした「はかる」行為は、健康や安全、快適さを保つうえで欠かせないものであり、その多くに化学の知見が活かされています。
本講義では、身近な「はかる」を出発点に、体調や食品、環境の測定における化学の役割と仕組みをわかりやすく学びます。「はかる」化学である分析化学の基礎をふまえ、暮らしの中の科学的なものの見方を身につけることを目指します。

【到達目標】
・暮らしの中にある多様な「はかる」行為に気づくことができる。
・健康、食品、環境などの測定における化学の役割を説明できるようになる。
・分析化学の基本的な考え方をふまえて、暮らしを化学の視点で捉えられるようになる。

【授業テーマ】
第1回 暮らしと「はかる」の接点
第2回 食品と味をはかる
第3回 水と空気をはかる
第4回 健康をはかる1
第5回 健康をはかる2
第6回 暮らしの中の「はかる」再発見
第7回 分析化学技術の進歩と応用
第8回 まとめとふりかえり

【学生へのメッセージ】
私たちの生活に関連したテーマをわかりやすく紹介していきます。化学の知識の有無は問いませんので気軽に受講してください。受講者数にもよりますが、皆さんと対話しながら授業を進めていく予定です。

【受講前の準備学習等】
各授業テーマについて事前配布資料で予習をしてください。事前課題を課す場合があります。また、新聞やニュース等で（直接・間接を問わず）「はかる」ことに関係する最近の話題について注意を払い、これを記録するとともに、専門書やインターネット等でさらに深く調べてください。そのほか、シラバスの内容から判断して「はかる」ことに関する自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特にありません。

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2689308
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**ワインの科学**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	18名
担当講師	ソネ　テルオ 曾根　輝雄 北海道大学大学院農学研究院教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
ワインは、人類史上最も古くから楽しまれてきたアルコール飲料の一つです。本面接授業では、ワインを含めたアルコール飲料の製法について概説すると共に、ワインの特異性、特に化学的な側面と応用微生物学的な側面について講義をし、微生物学的、化学的な実験を通してワインの科学的理解を深めます。
【到達目標】
アルコール飲料の製法を学び、ワインの特異性、特に化学的な側面と応用微生物学的な側面について、実験を通して理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 座学：アルコール飲料の発酵学
第2回 座学：ワインの化学と微生物学1
第3回 アルコール発酵の微生物学実験：酵母の顕微鏡観察と増殖実験
第4回 ワインの化学実験：ブドウ果汁のpH、酸度、糖度を調べてみよう
第5回 座学：ワインの化学と微生物学2
第6回 ワインの微生物学実験：乳酸菌の顕微鏡観察
第7回 ワインの化学実験：アルコール度数の分析
第8回 ワインの化学実験：ワインの酸度の分析と官能評価
【学生へのメッセージ】
アルコール飲料がどのように出来るのか、科学的な視点から考えてみましょう。特にワインを題材として、そこに潜む化学、微生物学を理解することで、より深くワインその他のお酒を正しく楽しむことが出来るようになるはずです。
【受講前の準備学習等】
様々なアルコール飲料の原料やその製法について、インターネット等で調べてみてください。
酵母と乳酸菌の違いについても調べてみてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、動きやすい服装（白衣はこちらで用意します）.
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・新ワイン学（戸塚昭（編集幹事）（監修）、東條一元（編集幹事）（監修）／ガイアブックス／¥3,740／ISBN=9784866540078）
・北海道のワイナリー50　作り手たちを訪ねて（阿部さおり、阿部眞久／北海道新聞社／¥1,800／ISBN=9784867210826）

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。
この科目は所属コースのコース科目に該当します。
ワインの官能評価をします。20歳以上の方の受講をお勧めします。また、自家用車での参加はご遠慮ください。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2689316
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**地震の科学と防災減災**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	100名
担当講師	タカハシ　ヒロアキ 髙橋　浩晃 北海道大学大学院理学研究院教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:50 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:15～12:45 第３時限　13:35～15:05 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	北海道学習センター

授業概要

【授業内容】
北海道は地震活動が活発で、揺れや津波の被害を受けています。地震災害の軽減には、地震現象を理解し、被害の原因を解明し、防災対策を社会制度の中に位置づけることが必要です。地震の発生原因や地震活動の特徴などを学ぶとともに、地震が引き起こす強い揺れや津波発生のメカニズムを理解します。北海道の活火山にも触れます。地震や津波被害の実相を知り、現在行われている対策とそれを支える法制度を学びます。地震とその防災対策を体系的に学ぶことで、北海道で発生が切迫する超巨大地震と津波の災害軽減を考えます。
【到達目標】
地震活動の特徴や地震が発生する原因を理解できる。
被害を引き起こす強い揺れや津波の原因や特徴を理解できる。
北海道の地震や津波の被害想定や対策について理解できる。
地震防災対策制度について理解できるとともに、具体的な対策立案を行えるようになる。
【授業テーマ】
第1回 地震活動とその特徴
第2回 地震の発生メカニズム
第3回 地震の揺れの特徴と被害
第4回 津波の発生と被害
第5回 北海道の地震と津波
第6回 地震津波の法制度と防災対策
第7回 災害と社会
第8回 北海道の火山
【学生へのメッセージ】
地震や津波は低頻度ですが発生すると大規模な災害を引き起こします。北海道では超巨大地震津波の発生が切迫しています。北海道の地震津波の災害軽減に向けて社会として何が必要かを考えてみましょう。
本授業で使用する映像には「一部刺激的な場面」が含まれます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
過去の地震や津波、それらが引き起こした災害の特徴について調べ、被害軽減に必要な方策について考えておくとよいでしょう。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。

科目コード	2689324
学習センター	北海道学習センター
学習センターコード	01A
クラスコード	K
科目名	**道南からみる交流史と文化遺産**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	50名
担当講師	タシロ　アキコ 田代　亜紀子 北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院准教授 タニモト　アキヒサ 谷本　晃久 北海道大学大学院文学研究院教授 ナカムラ　タクミ 中村　琢巳 東北工業大学建築学部教授 ヒライ　タケフミ 平井　健文 北海道教育大学教育学部函館校講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:50 11月29日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:15～12:45 第3時限　13:35～15:05 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	この授業は、【★サン・リフレ函館（函館市大森町2-14)】で行います。

授業概要

【授業内容】
本科目では、北海道の道南地域を中心に、縄文、アイヌ史、港市、建築などのキーワードを通して、道南の歴史と文化遺産から、地域間の交流を考えます。講義では、歴史学、建築学、社会学、文化遺産研究のそれぞれの視点から、道南からみる交流をとらえます。
【到達目標】
北海道と道南地域の歴史を理解し、道南を中心とした歴史と交流を例を用いて説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 世界遺産としての縄文遺跡群の位置づけ（田代）
第2回 歴史的建造物の調査や価値評価の方法（中村）
第3回 大工棟梁・職人からみた北海道・東北の建築文化交流（中村）
第4回「道南」の歴史の捉え方：交流史から考える（谷本）
第5回「道南」のアイヌ史へのアプローチ：「恵曾谷日誌」をよむ（谷本）
第6回 五稜郭をめぐる交流史と「本質的価値」（平井）
第7回「境界の港町」としての函館（平井）
第8回 ある商人からみる函館の近代/科目総論（田代）
【学生へのメッセージ】
本講義では、北海道の歴史と現在を学びながら、北海道の道南という地域からみる交流を考えていきます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項)】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。

科目コード	2689332
学習センター	北海道学習センター（旭川）
学習センターコード	01S
クラスコード	Q
科目名	**カタカナ英語と英語音声の構造**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	カタギリ　ノリアキ 片桐　徳昭 北海道教育大学旭川校教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	旭川サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
日常で何気なく使っているカタカナ英語を足場として、英語の音について理解を掘り下げます。英語音声学の基礎知識について学び、実際にアルファベットや英単語・英語会話の使用を想定して、カタカナ英語からの脱却を目指すための基本を理解し、演習を行います。
【到達目標】
受講者はカタカナ（英）語を足場として、ローマ字と英（単）語標記の違いを理解できるようになる。その後、英単語（アルファベット文字）の表記と発音の関係、英語の単語に含まれる母音や子音などの音素やそれらの発音方法などを学び、さらに複数の単語が続く場合に起こる連結・脱落・同化などの音変化減少を理解し、自らも発音できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 英語とアルファベット、カタカナ、ローマ字、英語と日本語の書き方の相違
第2回 母音と子音（1）
第3回 母音と子音（2）
第4回 音の脱落
第5回 音の同化
第6回 カタカナ英語の振り返り
第7回 会話練習と聞き取り
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
英語の音声は発生方法（広義で「発音の仕方」）が日本語とかなり違います。好奇心をもって理屈を学び、羞恥心を捨てて、積極的に自ら発音してみる学習姿勢を望みます。
【受講前の準備学習等】
日常何気なく使用したり、メディア（TV、新聞、ネット、SNS）などで使用されているカタカナ語（できれば英語由来の）をノートに記録しておいて、講義にご持参ください。受講者間で共有したいと思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、辞書、筆記用具
ノート型パソコンorタブレット型端末等インターネットにつながるデバイス、なければスマートフォンでの代用も可能とします（ただし、スマートフォンだと画面が小さく不便に感じるかもしれません。）。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・英語音声学への扉 - 発音とリスニングを中心に - [改訂版]（今井由美子/井上球美子ら７名／英宝社／¥2,640／ISBN=9784269630147）
2020年改定、DVD+CD付き。
2010年の初版は2,420円（ISBN: 9784269630130）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2689340
学習センター	北海道学習センター（旭川）
学習センターコード	01S
クラスコード	Q
科目名	**生活に役立つ栄養学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	セウラ　タカヒロ 瀬浦　崇博 北海道教育大学旭川校准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	旭川サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
人々が健康で幸福な生活を送るためには、栄養学の知識が必須です。本講義では、日常の食生活に役立つ栄養学をテーマに、栄養素のはたらきや、栄養と健康のかかわり、さらに食品の機能性について学び、食に関する基礎知識を習得することを目指します。
【到達目標】
食品・栄養について理解を深め、説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 小・中・高校の家庭科での食の学びを振り返る
第2回 炭水化物・たんぱく質のはたらき
第3回 脂質のはたらき
第4回 味覚の実験
第5回 ビタミン・ミネラルのはたらき
第6回 食品の表示について
第7回 食事調査をして自分の栄養素摂取量を知ろう！
第8回 栄養の常識＆非常識・授業のまとめ
【学生へのメッセージ】
化学・生物学といった理系科目の知識はほとんど必要ありません。第３回の授業では、食品の官能評価を行ったり、第７回の授業では、演習なども行います。栄養や食に関して興味のある方は受講してみてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
第７回の授業では、インターネットを利用して、自身の食事内容を診断します。ノート型パソコンあるいはスマートフォンなどインターネットに繋がるデバイスをご準備ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689359
学習センター	北海道学習センター（旭川）
学習センターコード	01S
クラスコード	Q
科目名	**心理学統計法**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	タカハシ　マサハル 高橋　雅治 旭川医科大学名誉教授／ 放送大学客員教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40
実施会場	旭川サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
心理学を学ぶためには、心理統計学の基礎知識が必要である。だが、心理統計学では数学的な説明が多用されるためか、苦手意識を持つ受講生は多い。そこで、今回の授業では、心理統計学的な課題を手計算により解く授業を行う。これにより、心理学的な研究に対して心理統計学を正しく適用するための知識を身につけることを目指す。
【到達目標】
・尺度、平均、分散、標準偏差、相関係数などの記述統計を説明することができる。
・t検定、ノンパラ検定、分散分析などの推測統計を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 基本的な演算
第2回 記述統計学の基礎
第3回 平均、分散、標準偏差とは何か
第4回 連関係数、相関係数とは何か
第5回 推測統計学の基礎
第6回 t検定とは何か
第7回 ノンパラ検定とは何か
第8回 分散分析とは何か
【学生へのメッセージ】
・メモリー機能（M+, M-, MR）付きの使いやすい電卓を各自用意してください。
【受講前の準備学習等】
・統計学に関する用語（ｔ検定・有意水準・帰無仮説など）を、インターネット等で調べておいてください。
・シラバスの内容から判断して予習に努めてください。
・授業で学修した内容について復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓（M+、M-、MRなどのメモリー機能の付いているもの）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146
学習センター	北海道学習センター（旭川）
学習センターコード	01S
クラスコード	Q
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	タカハシ　マサハル 高橋　雅治 旭川医科大学名誉教授／ 放送大学客員教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	旭川サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
この授業では、心理学のさまざまな研究分野からいくつかの基本的なテーマを選定し、それぞれのテーマについて基礎的な実験実習を行います。履修者は、実験者や被験者として実験に参加することで、研究法、データ整理、考察等の基礎を学びます。なお、全ての実験課題についてレポートを提出し、原則として8回の授業すべてに出席する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 実験研究の目的
第2回 データ集計と統計的検定
第3回 逆転眼鏡1
第4回 逆転眼鏡2
第5回 記憶範囲
第6回 大きさの錯視
第7回 集団極性化
第8回 レポートの書き方
【学生へのメッセージ】
心理学についての放送授業をあらかじめ受講していることが望まれますが、必須ではありません。心理学の知識の有無にかかわらず、実習への積極的な参加を希望します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓、定規
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
認定心理士の資格取得を目指す方は実験課題の重複に気をつけてください。

科目コード	2689014
学習センター	青森学習センター
学習センターコード	02A
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	10名
担当講師	サクラダ　ヤスシ 櫻田　安志 弘前大学教育学部教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	青森学習センター

授業概要

【授業内容】
これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境及びオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、ウェブページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【到達目標】
パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
第2回 文書作成とPDF保存
第3回 Webとメールの活用
第4回 セキュリティ
第5回 システムWAKABA・自己学習サイト
第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス
第7回 オンライン授業の実践
第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）

【学生へのメッセージ】
基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】
「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配付する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。

【受講者が当日用意するもの】
・USBメモリ（市販されている一番安価な物で結構です。）
・学生証（授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。）

【教科書】
・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　授業当日に配付します。

【参考書】
・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　ダウンロード方法は授業で説明します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
（履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。

科目コード	2689367
学習センター	青森学習センター
学習センターコード	02A
クラスコード	K
科目名	**芸術は人生に必要な夢、魂の救済**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	25名
担当講師	イワイ　ヤスノリ 岩井　康頼 弘前大学名誉教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【★青森県観光物産館アスパム（青森市安方1丁目1番40号)】で行います。

授業概要

【授業内容】
1960年代以降の高度経済成長期のかげで、日本の原風景が根こそぎ削られ、失われました。人々は「便利で幸せな生活」に憧れ、夢見、一生懸命働き、生き、いいこともいっぱいあったと同時にいろんなことを失なった時代です。当時、日本は「一億総中流」と言われました。しかし、今は富裕層と多くの貧困層に中間層が侵食されてきているようにみえます。人口減少が加速し、急激な少子高齢化、地域や経済の活力が低下する危機感に溢れています。明日に生きる未来に向けて「日々の暮らし」から戦後の北東北の風土と文化を手がかりに考察します。
【到達目標】
日本の高度経済成長期の転換期、激動の時代、生産性や効率性を求め発展し、その代償として多くの大事なものまで失い、捨ててきた。これから、我々にとって未来を生きるには、何が必要なのか？、どんな「夢」が必要なのか？を分かるようになる。
【授業テーマ】
第1回「美」のある日常－本当の豊かさとは－「主観で選ぶ日本の美」
第2回「美」は「日々の暮らし」－『暮しの手帖』と長谷川町子『サザエさん』－
第3回「あそび」が人間に「文化」をもたらした－「あそび」の本質－
第4回「津軽三味線」と津軽の「うた」の魅力－東北の風土と文化－
第5回「絵」の誕生－人はなぜ絵を描くのか－「人間精神の起源」
第6回「舞踏」－土方巽・大野一雄、東北という風土性と反芸術－「魂の救済」
第7回「写真」近代から取り残された風景－昭和の記録－
第8回「日常の衣・食・住もアートである」－芸術は人生に必要な夢－
【学生へのメッセージ】
芸術には正解はありません。芸術は「生産性」「効率性」を求めません。
芸術はいつの時代にあっても、人間の「夢」を確かめ「魂の救済」を担うものと考えています。
生産性よりも「多様性」を保障することが芸術の立場です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
資料は随時こちらで配布します。
授業の内容を書き留めるためのノートや筆記用具を準備してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2689375
学習センター	青森学習センター
学習センターコード	02A
クラスコード	K
科目名	**中国思想の源流**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	210
定員	30名
担当講師	ヤマダ　フミオ 山田　史生 前弘前大学教育学部教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【★青森県観光物産館アスパム（青森市安方1丁目1番40号)】で行います。

授業概要

【授業内容】
中国の古代思想の源流をさぐります。儒家思想の源流として、『論語』の思想について解説します。「仁」「学」の概念について、ていねいに説明します。道家思想の源流として、『老子』の思想を解説します。「道」の概念について、ていねいに説明します。儒家および道家の思想を骨董品のようにあつかうのではなく、現代社会にあって生きるうえで豊かな示唆を与えてくれるものとして吟味します。前提とする知識はまったく要りません。人生論を味わうようなつもりで気楽に受講してください。
【到達目標】
中国的なものの見方について理解を深め、みずからの生き方にそれを活かすことができるようになる。漢文の読み方を学ぶことによって、あわせて日本語の特質について知ることができる。
【授業テーマ】
第1回『論語』にみえる「仁」の概念について
第2回『論語』にみえる「学」の概念について
第3回 孔子の教えの核心をさぐる
第4回『老子』にみえる「道」の概念について
第5回『老子』の第40章を深掘りする
第6回 老子の教えの核心をさぐる
第7回『荘子』斉物論篇の「万物斉同」の思想について
第8回 孔子・老子・荘子の思想が教えてくれるもの
【学生へのメッセージ】
特別な予備知識はなにも要りません。みなさんに楽しく受講してもらえるよう、なるべく平易に語ることを心掛けます。『論語』『老子』『荘子』については、テキストを準備する必要はありません。こちらで用意したプリントを配布します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業の内容を書き留めるためのノートや筆記用具を準備してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2689383
学習センター	青森学習センター
学習センターコード	02A
クラスコード	K
科目名	**地域包括ケアシステムとACP**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	キタジマ　ユウ 北嶋　結 弘前大学大学院保健学研究科助教
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	青森学習センター

授業概要

【授業内容】
2025年（令和7年）を目途に、地域包括ケアシステムの構築を実現していくために、様々な地域で取り組みが行われていました。しかし、地域は変わり続けていますので、システム構築も継続して取り組んでいく必要があります。合わせて、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の推進が求められています。この２つはどのような関係があるのでしょう。この授業では、地域包括ケアシステムの理解とともに、ACPの推進はなぜ必要なのか、推進するための方法など、演習を通しながら学んでいきます。

【到達目標】
・地域包括ケアシステムの概要を説明することができる。
・アドバンス・ケア・プランニングについて説明できる。
・その人を自分ごととして考えることができる。

【授業テーマ】
第1回 地域包括ケアシステムとは
第2回「最期まで生ききる」を支える地域
第3回 地域まるごと包括ケアに向けてできること
第4回 医療機関からつなぐ入退院支援
第5回 在宅療養の場からつなぐこと
第6回 ACPを考える
第7回 その人を自分ごととして考えてみよう
第8回 学びの振り返り、まとめ

【学生へのメッセージ】
授業ではグループワークを取り入れながら進めていきます。日頃の経験を通して理解が深まるよう、参加者同士で意見交換する時間を設けていきたいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689391
学習センター	青森学習センター
学習センターコード	02A
クラスコード	K
科目名	**青森の食品機能学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	マエダ　ハヤト 前多　隼人 弘前大学グローバルWell-being総合研究所教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	青森学習センター

授業概要

【授業内容】
青森県はりんご、ごぼう、カシスなど生産量が多い食材がたくさんあります。これらの食材には病気の予防や改善に役立つ優れた機能性があることが明らかになってきました。青森県は平均寿命が全国最下位であり、生活習慣病の患者割合も高い地域です。食品の機能性を正しく理解し食生活を改善することで、この問題を克服してゆける可能性があります。本講義では県産食材の機能性について学びます。また食材の機能性を生かした付加価値の高い加工食品の開発事例について紹介し、地元食材を生かした地域産業の活性化の方法について考えます。

【到達目標】
青森県で生産される食材にはどのようなものがあり、身体の健康の維持位に役立つどのような機能性成分が含まれるか理解する。また食材に含まれる機能性成分がどのような作用機序で健康維持に役立つか、説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 青森と農林水産物
第2回 りんごの成分と健康機能性
第3回 海藻の成分と健康機能性
第4回 魚の成分と健康機能性
第5回 肉の成分と健康機能性
第6回 ごぼう、きくいもの成分と健康機能性
第7回 カシス、ブルーベリーの成分と健康機能性
第8回 機能性を生かした加工食品開発

【学生へのメッセージ】
本講義では一部、高校の生物や化学の用語が出てきますが、文系の方にもなるべくわかりやすく解説をします。
食品や健康に興味のある方に受講して頂きたいです。

【受講前の準備学習等】
青森県や東北地方の農水産物をインターネットなどで調べておいてください。
また、青い森の食材研究会のホームページ（https://foods.hirosaki-forum.jp/）には本講義で扱う食材に含まれる栄養素などの情報が記載されています。あらかじめ閲覧し、事前学習をすることで理解が深まります。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・栄養科学イラストレイテッド　食品機能学（深津（佐々木）佳世子　編／羊土社／¥3,300／ISBN=9784758113748）

科目コード	2689405
学習センター	青森学習センター
学習センターコード	02A
クラスコード	K
科目名	**ストレスの心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	タカハシ　ケイコ 高橋　恵子 弘前大学保健管理センター講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	青森学習センター

授業概要

【授業内容】
ストレスは、私たちの心身の健康と深い関連があります。本授業では日常みられるストレス反応と、心と体のつながりについて理解します。心身相関の気づきを促す様々な体験型ワークを取り入れながら、ストレスに関する自己洞察と相互理解を深めます。

【到達目標】
・ストレスと健康の関係について、基本的な概念を用い、具体例を挙げて説明できる。
・自身の日常生活におけるストレス要因や心身の反応に気づき、文章等で記述・表現できる。
・自身にとって適切なストレス対処やセルフケアのあり方を見いだし、その習得過程を説明できる。

【授業テーマ】
第1回 ストレスの理解
第2回 ストレス反応と心身相関
第3回 体からのアプローチ（1）姿勢と呼吸
第4回 体からのアプローチ（2）筋弛緩法および自律訓練法
第5回 心からのアプローチ（1）エゴグラム演習（交流分析）
第6回 心からのアプローチ（2）自我の構造分析（交流分析）
第7回 人生の基本的構え、禁止令と認知の歪み
第8回 理解からの共感、対話と傾聴、ふりかえり

【学生へのメッセージ】
本授業では、個人およびペアワークを通して、心と体の声に丁寧に耳を傾けながら自己洞察と相互理解を深めます。体験的理解を重視しますので、各種ワークには積極的に取り組み、理解を深めていきましょう。受講にあたっては十分な睡眠をとり、食事や入浴など体調を整えたうえでご参加ください。

【受講前の準備学習等】
事前・事後学習では、日常の生活習慣や自身のストレスと健康を振り返りながら、日常生活の中での気づきを深めましょう。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・ミニ付箋（50枚程度）
・色鉛筆
・水筒/ペットボトル
・筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・交流分析入門（桂戴作、杉田峰康、白井幸子／チーム医療／¥1,650／ISBN=9784885090042）
・自律訓練法の実際：心身の健康のために（佐々木雄二／創元社／¥1,870／ISBN=9784422110523）
・人生ドラマの自己分析（杉田峰康／創元社／¥1,485／ISBN=9784422110264）
販売は電子版のみです。放送大学附属図書館に所蔵されています。

科目コード	2689162
学習センター	青森学習センター
学習センターコード	02A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	クシビキ　ナツホ 櫛引　夏歩 弘前大学大学院保健学研究科助教
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	青森学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験2種を行います。テーマは「鏡映描写」と「触２点閾の測定」です。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。
受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、２つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験の概説、レポートの書き方
第2回 実験1「鏡映描写」の実施
第3回 実験1「鏡映描写」の解説、データ分析、結果の書き方
第4回 実験1「鏡映描写」の結果の考察、レポートの書き方
第5回 実験2「触２点閾の測定」の実施
第6回 実験2「触２点閾の測定」の解説、データ分析、結果の書き方
第7回 実験2「触２点閾の測定」の結果の考察、レポートの書き方
第8回 実験の計画立案方法、レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
受講生の皆さんには、実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。皆さんのペースに合わせ、じっくり授業を進めます。不明な点は何でも、どんなことでも、気軽にご質問ください。
【受講前の準備学習等】
皆さんの学習をサポートする統計ツールを使用するため、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。特に統計に関する用語（t検定、有意水準、帰無仮説、要因、水準など）を事前に調べておくと学習がスムーズです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Wordが必要です。
　・Excelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありませんが、できる限り最新のものが望ましいです。
　・レポートはWordやExcelで作成し、メールで提出していただきます。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689413
学習センター	青森学習センター
学習センターコード	02A
クラスコード	K
科目名	**伝統的工芸品と青森県の工芸品**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	イシカワ　ヨシロウ 石川　善朗 前放送大学青森学習センター所長
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【★青森県観光物産館アスパム（青森市安方1丁目1番40号)】で行います。

授業概要

【授業内容】
皆さんは伝統的工芸品と伝統工芸品の違いをご存じでしょうか？実は所管する官庁が二つあるのです。伝統的工芸品は経済産業省が、美術的伝統工芸品は主に文部科学省が所管しています。伝統的工芸品はある程度量産することが前提ですが、伝統工芸品は美術工芸品と言われる一点だけの制作もあります。また、その認定も国であったり、県単位の認定であったりします。これらのことを整理し、県認定や国認定の違いなどを明確化して工芸品の知識を深め、青森県を中心に各県の様子などの理解を深めます。
【到達目標】
全国に存在する工芸品のその種類と技術的背景や特色などを、風土的特徴などを加味しながら理解し、それぞれの特徴を的確に判断できるようになる。特に青森県の工芸品については全国の伝統的工芸品との比較を通して論じることができること。
【授業テーマ】
第1回 全国の主な工芸品の種類と技術について1
第2回 全国の主な工芸品の種類と技術について2
第3回 機械化が進む前は最先端産業であった工芸品
第4回 国指定の伝統的工芸品と各県指定の伝統工芸品との違い
第5回 青森県の国指定の伝統的工芸品1
第6回 青森県の国指定の伝統的工芸品2
第7回 青森県の県指定の伝統工芸品1
第8回 青森県の県指定の伝統工芸品2
【学生へのメッセージ】
このデジタル化の時代において、最もアナログ的手法で制作、生産される伝統工芸品や伝統的工芸品について考察します。日本古来の手法で生産されてきた工芸品は日用品から美術品まであり、これまであらゆる原料を工夫して制作してきました。各自の身近なものを含めて、改めてその成り立ちや、材料の工夫、技術の開発など日本人が何を生み出してきたか学修し直してください。
【受講前の準備学習等】
事前学習として、工芸品に関する書籍は各種出版されているので、各自興味がありそうなものを読んでおくようにしてください。
事後学習として、授業で学修した内容をよく検討し、自分が興味を持った内容については書籍、インターネットなどを活用して復習を行うようにしてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・伝検公式テキスト（日本伝統文化検定協会　木田拓也／時事通信社／¥3,300／ISBN=9784788719804）
必ず必要ではありませんが、あれば大変参考になります。授業の後さらに研鑽し検定試験を受けてみてください。

【その他（特記事項)】
各種デジタル機器をお持ちの学生はPCやスマートフォンを活用し、授業中でも疑問に思った事柄や単語を検索してみてください。授業の邪魔にならなければかまいません。

科目コード	2689421
学習センター	青森学習センター（八戸）
学習センターコード	02S
クラスコード	Q
科目名	**中国文化から学ぶ やさしい中国語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	25名
担当講師	ヨウ　レイエイ 楊　麗栄 八戸学院大学地域経営学部准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	八戸サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
本授業では、中国文化を題材として、初級レベルの中国語表現を学びます。食文化、茶文化、服飾文化、生活習慣、伝統スポーツ、流行文化、言語と文字など多様なテーマを扱い、文化理解と言語学習を一体化させます。授業は座学と体験活動またはグループディスカッションを組み合わせて行い、実際の文化背景を踏まえながら、日常生活で使えるやさしい中国語表現の運用力を養います。発話機会を重視した参加型授業となります。
【到達目標】
・中国文化の基礎知識を理解するとともに、日常生活場面における基礎的な中国語表現を運用できるようになる。
・文化背景と言語表現の関係を理解し、簡単な中国語で自分の考えや感想を伝えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 中国の食文化から学ぶやさしい中国語
第2回 中国の茶文化から学ぶやさしい中国語
第3回 中国の服飾文化から学ぶやさしい中国語
第4回 中国人の生活習慣・対人関係から学ぶやさしい中国語
第5回 中国の伝統スポーツから学ぶやさしい中国語
第6回 中国の流行文化から学ぶやさしい中国語
第7回 中国の言語と文字から学ぶやさしい中国語
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
積極的な態度で授業に参加してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・動きやすい服（２日目に必要）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
２日目は体験活動を行います。呼吸に合わせ、ゆっくりとした動作で行う中国の八段錦を紹介します。動きやすい服装でお越しください。

科目コード	2689430
学習センター	青森学習センター（八戸）
学習センターコード	02S
クラスコード	Q
科目名	**認知症の人への 対応の基本**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	キリアケ　ミホコ 切明　美保子 八戸学院大学健康医療学部准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	八戸サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
認知症は加齢に伴い増加しており、誰もがなりうる可能性があり、また家族や身近な人が認知症になることを含め、私たちにとって身近なものになっています。認知症の人が安心してよりよく生きていくことができるよう、周囲の人のサポートが求められています。この授業では認知症の人への理解を深めるとともに、認知症の人とのコミュニケーション方法や対応する上での基本的な姿勢等を学びます。認知症の人の特徴を理解してコミュニケーションや対応ができる知識を深めていければと思います。
【到達目標】
認知症の人の理解を深め、認知症の人とのコミュニケーションやかかわりの基本的姿勢について、説明できる。
【授業テーマ】
第1回 長寿社会と認知症
第2回 認知症とは
第3回 認知症の症状
第4回 認知症の人のコミュニケーションの特徴
第5回 認知症の人の思いと基本的な対応
第6回 生活の中でのコミュニケーション・対応を考える
第7回 特徴的な症状への対応を考える
第8回 学びの振り返り、まとめ
【学生へのメッセージ】
授業の中では、グループになって意見交換したり、発表する時間を設けたいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689448
学習センター	青森学習センター（八戸）
学習センターコード	02S
クラスコード	Q
科目名	**理論と実践の心理学概論**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	イマカワ　ユキ 今川　ゆき 八戸学院大学健康医療学部助教
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	八戸サテライトスペース

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

「心理学」は、専門的で難しい学問だとイメージされがちですが、私たちは何気ない日常生活の中で多くの心理学に触れています。
本講義では、心理学と関連する日常生活のさまざまな事柄について説明し、理論的な理解を目指します。さらに、心理学的な知識を日常の中で活用していくことを目指し、ワークなどを通して実践的な体験を行います。
【到達目標】
・日常生活の中で生じるさまざまな現象について、心理学的視点から説明できるようになる。
・生活の中で実践的に用いることができる心理学の知識を身につける。
【授業テーマ】
第1回 心理学とは
第2回 心の仕組み：感覚と知覚
第3回 心の仕組み：記憶
第4回 心の仕組み：学習
第5回 個人の心：パーソナリティ
第6回 関わりの中の心：社会的認知
第7回 関わりの中の心：社会的影響
第8回 心の支援：カウンセリング技法
【学生へのメッセージ】
授業内で、Googleフォーム等を用いた簡易な心理学実験や受講生同士でワークに取り組んでもらうことがありますので、積極的に参加することが望まれます。
【受講前の準備学習等】
・本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
・日常生活の中で心理学が関わると考えられるさまざまな現象について、幅広く考えてきてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　種類は問いません。
　インターネットに接続可能なノートPC/スマートフォン/タブレット端末を持参してください。
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
3．ソフトのインストール
　レポート作成のために、Word等のソフトがインストールされていることが望ましいです。
　ソフトのバージョン指定はありません。
4．その他
　筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689456
学習センター	青森学習センター（八戸）
学習センターコード	02S
クラスコード	Q
科目名	**身近になりつつあるロボット**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	フジオカ　ヨシチカ 藤岡　与周 八戸工業大学工学部教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	八戸サテライトスペース

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

少子高齢化の急速な進展による様々な分野での人材不足解消手法の一つとして、近年はロボット技術の実用化が活発化しています。本講義では、教科書にまとめられている様々なロボットの事例紹介やインターネット上の事例検索を通じて、ロボットユーザの視点から今後どのようなロボット技術が発展していきそうなのか、あるいはどのようなロボット技術が今後求められていくのかについて理解を深めます。
【到達目標】
・産業用ロボットのみならず、近年は様々な形態のロボットが開発され身近なものになりつつある状況を説明できる。
・ロボットを構成する基本的な工学分野である、機械工学（機械系）、電子工学（電気系）、制御工学（情報・知能系）それぞれの役割を説明できる。
【授業テーマ】
第1回 ロボットとは？
第2回 第１次産業を支えるロボット
第3回 第２次産業を支えるロボット
第4回 第３次産業を支えるロボット
第5回 人・モノ・情報を運ぶ無人機とモビリティ
第6回 人間に近づくロボットの身体
第7回 進化するロボット
第8回 ロボットの知覚・制御・駆動
【学生へのメッセージ】
本講義では、工学以外に興味を持つ学生でも容易に学べるように、できるだけ平易な説明を心がける予定です。
【受講前の準備学習等】
教科書を事前に読んで予習しておいてください。
本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましいです）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ネットで検索するためのブラウザ（種類は問いません）
　・動画サイトの動画を再生する機能（種類は問いません）
　教科書、ノートパソコン、筆記用具を用意してください。
　教科書は紙の書籍でも電子書籍でも可。
　本書積の会員特典（読者特典）を予めダウンロードしておいてください。（第8回で教科書として使用）
　ノートパソコンには、ネットで検索するためのブラウザや、動画サイトの動画を再生する機能が求められます。タブレット端末やスマートフォンでも同様のことができる方は、ノートパソコンの代わりにそれらを用意しても構いません。
【教科書】
・図解まるわかり ロボットのしくみ（三津村直貴／翔泳社／¥2,068／ISBN=9784798180533）
　紙の書籍の代わりに電子書籍（ISBN=9784798180540）でも可。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689464
学習センター	青森学習センター（八戸）
学習センターコード	02S
クラスコード	Q
科目名	**社会と産業を支える 流体の世界**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	フナザキ　ケンイチ 船﨑　健一 八戸工業大学学長
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	八戸サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
空気や水のように流れる性質をもつ物質を「流体」といいます。流体は地球上に住む生物にとって不可な物質ですが、「空気のような存在」「湯水のように溢れる」という言葉からも分かるように、普段は意識されることの少ない物体でもあります。そのこともあり、その流体が人間の日常生活はもとより生産活動や輸送系にも大きく関係していることはあまり知られていないようです。今回の授業では、流体の性質からその産業利用までを多面的にお伝えし、流体の重要性への理解を深めていただきます。

【到達目標】
まず、流体とはどのような特徴や性質の物体であるのかを学び、その特性がどのような背景から生じ、その特性を制御する手法の存在を理解するとともに、それの発展応用まで議論できるようになる。
また、流体の産業等への応用例を学び、その原理についても大まかに説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 流体の特徴と性質（その不思議な特性のメカニズム）
第2回 流体の物理学（基本的用語と保存則）
第3回 生物と流体（生物はどう流体を用いているのか？）
第4回 気象現象と流体（気象現象は流体と熱が作り出す）
第5回 流体の産業応用（発電における流体の役割）
第6回 流体の産業応用（輸送系における流体の役割）
第7回 流体のその他の応用例（スポーツは流体力学が支配する）
第8回 流体研究の最前線（コンピュータが拓く産業応用）

【学生へのメッセージ】
流体や流体力学は普段学ぶ機会の少ない分野ですが、身の周りの現象に深く関係するとともに、日常生活や産業面でも重要な分野です。難しい数学などは使わず、平易に説明してまいりますので、安心してご聴講下さい。

【受講前の準備学習等】
力学の基本（力のつり合い、運動方程式、エネルギー保存則など）をしっかりと復習しておいて下さい。また、予め身の回りで流体が関係していそうな現象に関心を持つようにして下さい。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・流れの科学（木村竜治／東海大学出版社／¥1,320／ISBN=9784486008835）

科目コード	2689472
学習センター	青森学習センター（八戸）
学習センターコード	02S
クラスコード	Q
科目名	**自然と建築の歴史**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	クロサカ　タカヒロ 黒坂　貴裕 八戸工業大学工学部教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	この授業は、【★八戸工業大学（八戸市大字妙字大開88-1)】で行います。

授業概要

【授業内容】
日本建築の始まりは縄文時代です。縄文人自ら森や草原を歩いて建材を調達し、自らの手で住居を建築しました。この授業では建築の原点に立ち返り、受講生が大学構内の林を歩いて材料を採集し、建物（模型）を建築（製作）します。製作にあたっては、各地の遺跡にある竪穴住居の復元のための手掛かりや、自然環境と建築の関わりを解説します。建築の目線で見ると、自然を見る目が変わるかもしれません。
【到達目標】
身の回りの建築について、資源問題を意識しながら、自分の意見をまとめることが出来る。
【授業テーマ】
第1回 日本の建築と自然の歴史
第2回 日本各地の遺跡と復元建物
第3回 建物復元の手掛かり
第4回 建築材料の採集（屋外実習）
第5回 建築材料の加工（実習）
第6回 加工材料の組立（実習）
第7回 仕上げ工程（実習）
第8回 成果品についての報告
【学生へのメッセージ】
建築に関する予備知識・模型製作のスキルは必要ありません。リンゴの皮むき程度の器用さがあると望ましいです。縄文人のつもりで家（模型）を建てます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
三内丸山遺跡や御所野遺跡など、復元された竪穴住居や高床式倉庫が身近にあれば仕組みを観察しておくとよいです。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
定規、筆記用具を用意してください。模型持ち帰り用の大きめの袋、剪定バサミや使い慣れた小さい工作用ナイフ（刃渡り6センチ以下）があれば用意することをお勧めします。
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・日本のたてもの　～自然素材を活かす伝統の技と知恵～（日本芸術文化振興会／青幻舎／¥3,080／ISBN=4861528216）
・森と木と建築の日本史（海野聡／岩波新書／¥990／ISBN=4004319269）

【その他（特記事項)】
模型製作のために刃物を使用します。怪我に備えて「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2689480
学習センター	青森学習センター（八戸）
学習センターコード	02S
クラスコード	Q
科目名	**是川遺跡の縄文考古学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ヨコヤマ　ヒロタカ 横山　寛剛 八戸市教育委員会主査兼学芸員 スギヤマ　ヨウスケ 杉山　陽亮 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館副参事 コクボ　タクヤ 小久保　拓也 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館副参事
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限 10:15～11:45 第２時限 11:50～13:20 第３時限 13:55～15:25 第４時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第１時限 10:15～11:45 第２時限 11:50～13:20 第３時限 13:55～15:25 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【★八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（八戸市大字是川字横山1)】で行います。

授業概要

【授業内容】
是川遺跡は日本列島の縄文文化を代表する遺跡です。古くは明治期から知られ、大正期には発掘が行われています。出土した美術工芸品のような土器や土偶、漆器、木製品は、当時から研究者の注目を集め、是川遺跡とその出土品に関する研究は、日本考古学の進展に深く関わってきました。授業では、是川遺跡の調査研究の成果を通じ、遺跡・出土品見学や縄文土器作りをまじえながら、縄文時代の考古学研究について理解を深めます。
【到達目標】
縄文時代の概要と是川遺跡を正しく説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 日本考古学における研究方法の広がり（杉山）
第2回 縄文土器作り（小久保）
第3回 是川遺跡の立地と環境（杉山・横山）
第4回 縄文時代の漆文化（小久保）
第5回 動物考古学からみた縄文時代のくらし（杉山）
第6回 是川遺跡出土品からわかる縄文工芸（杉山・横山）
第7回 晩期縄文文化と是川遺跡の社会（横山）
第8回 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」（小久保）
【学生へのメッセージ】
是川遺跡を通じて、考古学や世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を知ってもらうとともに、縄文時代の文化や社会について理解を深めてほしいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は試験レポート時間の45分を用いてレポートにより行います。

【受講者が当日用意するもの】
昼食（館内カフェは混雑回避のため利用不可）、筆記用具（鉛筆必須）、動きやすい汚れてもよい服、防寒具、縄文土器作り実習材料費（300円）、学生教育研究災害傷害保険の加入
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
バスの運行時間に合わせるため、この授業は２日間とも、第１時限10:15～11:45、第２時限11:50～13:20、第３時限13:55～15:25、第４時限15:30～17:00で実施します。
※バスの運行時間が変更された場合は、当館への到着時刻に合わせて、第1時限の開始時刻を変更することがあります。
第２回「縄文土器作り」では、材料費300円を当日徴収します。作品（高さ10cm程度）は持ち帰りとなります。
第3回「是川遺跡の立地と環境」は是川遺跡に徒歩で向かうため、当日の気象情報を考慮の上、防寒対策をして下さい。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2689499
学習センター	青森学習センター（八戸）
学習センターコード	02S
クラスコード	Q
科目名	**画像生成AIのしくみ**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	アサイ　キクオ 浅井　紀久夫 放送大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	八戸サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
画像生成AIの技術的仕組みを体系的に解説します。画像生成AIは2020年以降爆発的な進化を遂げ、単なるツールの枠組みを超え、クリエイティブ産業やビジネスプロセスを根本から変えつつあります。この講義は理論と応用とから構成されます。理論部では画像を生成するメカニズムを導入します。応用部では社会実装に向けた技術の高度化を説明し、動画生成への展開や実務への統合、そして著作権とリスクまでを網羅します。画像生成AIの技術と応用を通してAIとの共生を考えます。
【到達目標】
・画像生成AIの技術的進化の流れを理解し、「なぜ絵を描けるのか」を技術的な視点から説明できる。
・イメージに近い画像を生成するために必要な指示やパラメータ調整について説明できる。
・著作権やフェイク画像のリスクを把握した上で、生成AIの活用への可能性を展望できる。
【授業テーマ】
第1回 画像生成AI概論
第2回 拡散モデルの仕組み
第3回 プロンプト・エンジニアリングの基礎
第4回 生成画像の制御と修正
第5回 一貫性の保持と追加学習
第6回 動画生成と3Dへの展開
第7回 活用事例
第8回 倫理・著作権・法規制と未来
【学生へのメッセージ】
生成AIを利用するだけではなく、その仕組みを理解しましょう。
【受講前の準備学習等】
画像生成AIの基礎知識と活用事例について、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689502
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**初めて学ぶ中国語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	50名
担当講師	スキタ　トモヒコ 鋤田　智彦 岩手大学人文社会科学部教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では発音・文法・文字・語彙などの中国語の基礎を学び、簡単な中国語を話し、聞き、読み書きができるようになることを目指します。対面授業ならではということで、発音、会話練習を多めに行います。
【到達目標】
・中国語の発音の仕組みについて、ピンインを通し理解できるようになる。
・中国語の文法について、大きな枠組みを理解できるようになる。
・中国語の発音を聞いて、また、文を読んで内容を理解できるようになる。
・中国語で自分の意思を口頭や簡単な文で伝えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 中国語とはどのような言葉か
第2回 中国語の発音
第3回 中国語での表現（あいさつ、自己紹介）
第4回 中国語での表現（動詞を使った表現）
第5回 中国語での表現（形容詞を使った表現）
第6回 中国語での表現（言いたいことの表現）
第7回 中国の文学を中国語で読む
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
授業では目で文字を見るばかりではなく、大きい声ではっきりと発音をすることを心がけましょう。
【受講前の準備学習等】
中国語、あるいは中国のどういうことについて興味があるのか、頭の中で簡単に考えておいてください。また、その他シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
スマートフォン、タブレット等を利用した学習法も紹介するので、これらをお持ちの方は持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
当日の進度によっては授業内容を変更することもあります。

科目コード	2689510
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**地域社会における健康支援**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	イワブチ　ミツコ 岩渕　光子 岩手医科大学看護学部教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
人は病気になり健康を損なうと、家族、経済、就労など、さまざまな要因が生活に大きな影響を及ぼします。本講義では、健康に影響を与える要因について理解を深めるとともに、健康を改善・促進するための考え方や方法を学びます。さらに、地域社会のしくみと人々の健康や暮らしとの関係性を捉え、多様な場で展開されている健康支援活動への理解を深めていきます。そして、地域包括ケアの視点から、すべての人の生活と健康を支えるために必要な関係者・関係機関との連携や協働のあり方について、皆さんとともに考えていきたいと思います。
【到達目標】
・地域社会と人々の健康・暮らしの関連性について説明することができる。
・健康の改善・促進に向けて、自身の生活を振り返ることができる。
・地域の健康課題に関心を持ち、課題解決に向けた方策を考えることができる。
【授業テーマ】
第1回 健康に影響を与える要因
第2回 健康の改善と促進
第3回 地域と生活と健康
第4回 岩手県の健康課題
第5回 子どもを対象とした健康支援活動
第6回 大人を対象とした健康支援活動
第7回 地域における健康危機への対応と予防活動
第8回 地域包括ケアと共生社会
【学生へのメッセージ】
健康とは何でしょうか。また、健康を左右する要因にはどのようなものがあるのでしょうか。地域で暮らすさまざまな人々の姿を思い浮かべながら、考えてみてください。
【受講前の準備学習等】
・お住まいの市町村のホームページや広報誌をご覧いただき、関心のある健康増進活動について事前に調べておいてください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・授業で学修した内容を活用して復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2689529	**授業概要**	**【授業内容】** こどもが健やかに育っていくために必要な地域社会の環境について、教育・福祉・文化の領域から横断的に捉え、社会構造とそこに込められる理念について学びます。そして、国連子どもの権利条約やこども基本法の理念についての理解を深めながら、「こどもの主体的参画」に即した「学校外におけるこどもの居場所」について、実現に向けた課題や展望について考察していきます。 **【到達目標】** こどもの成育環境を教育・福祉・文化の領域から横断的に捉えることができるようになる。 国連子どもの権利条約やこども基本法の理念について的確に理解し、「こどもの主体的参画」に即した学校外におけるこどもの居場所について、自分の考えを述べることができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ガイダンス・こども観の変遷と多様な「育」 第2回 さまざまな困難を抱えたこどもたちへの支援 第3回 こどもの権利条約・こども基本法について 第4回 こどもの学校外教育 第5回 こどもにとっての「あそび」 第6回 こどもの主体的参画とは 第7回 こどもの主体的参画の具体例 第8回 まとめ・こどもの主体的参画とこどもの居場所 **【学生へのメッセージ】** この授業では、講義の内容をただ覚えるのではなく、講義の内容を「自分自身の問題」として問い直すことを強く求めます。 **【受講前の準備学習等】** ・こどもの居場所について文献やインターネットで事前に調べておいてください。 ・国連子どもの権利条約やこども基本法の概要を文献やインターネットで事前に調べておいてください。 ・授業で学修した内容について整理し、理解を深めていくようにしてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	岩手学習センター		
学習センターコード	03A		
クラスコード	K		
科目名	**こどもの放課後の居場所**		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	220		
定員	50名		
担当講師	フカサク　タクロウ 深作　拓郎 岩手大学教育学部准教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	岩手学習センター		**【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・地域で遊ぶ、地域で育つ子どもたち（深作拓郎、他編／学文社／¥2,090／ISBN=9784762022968） ・子ども組織の教育学（増山均／青木書店／¥2,200／ISBN=9784250860041） 中古本がインターネットサイトから入手できるほか、公立図書館からも貸借できます。 ・大学生が本気で考える子どもの放課後（深作拓郎・岸本麻依／学文社／¥1,870／ISBN=9784762027536） ・遊びが学びに欠かせないわけ（ピーターグレイ著／吉田新一郎訳／築地書館／¥2,640／ISBN=9784806715559）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2689537	**授業概要**	**【授業内容】** 17世紀から18世紀にかけてのフランスのバロックとロココの美術史をテーマとします。まず、17世紀のバロック様式と絶対王政下の美術政策を取り上げ、古典主義美術と教育制度がいかにして確立されていったかを解説します。この時期にフランスはヨーロッパの大国となり、文化においても中心地となって周辺諸国に影響力を誇るようになります。18世紀になって社会の変化にともなって美術趣味も変容してゆき、華麗で軽快なロココ美術が展開してゆくさまを学びます。 各回、スライド画像を用いて代表的な作品と芸術家、あるいは社会・文化的背景をとりあげて解説します。 **【到達目標】** 近世フランスの美術作品を鑑賞するために必要な知識を得るとともに、社会・政治・文化的な背景を踏まえて、旧体制期の美術作品の基礎的な分析・考察ができるようになる。西洋の歴史や文化に対する理解を深めて作品鑑賞に生かし、鑑賞の楽しさを知ることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 バロックとは 第2回 ニコラ・プッサンと古典主義 第3回 ルイ14世統治下の美術政策とアカデミー 第4回 ロココとは 第5回 ジャン＝アントワーヌ・ヴァトーと雅宴画 第6回 フランソワ・ブーシェとオノレ・フラゴナール 第7回 ジャン＝シメオン・シャルダンの静物画と風俗画 第8回 18世紀フランス文化―サロンをめぐって **【学生へのメッセージ】** 美術作品は、感性だけをたよりにすれば楽しめると思われるかも知れませんが、西洋の神話や宗教、歴史、生活習慣、また図像学の基礎知識を身につけることで、より良く作品を鑑賞できるようになり、西洋の文化的背景への理解も深まるでしょう。 **【受講前の準備学習等】** 事前に、西洋美術史の概説書（ここに挙げた参考書をはじめ、概略的なもので良い）を読み、17世紀から18世紀までの大まかな美術史の流れを理解しておくことが望ましいです。また、事後学習として、配布資料や自分でまとめたノート等をもとに、授業で学習した内容の復習を行い、理解を深めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	岩手学習センター		
学習センターコード	03A		
クラスコード	K		
科目名	**西洋近世美術史入門**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	50名		
担当講師	フナオカ　ミホコ 船岡　美穂子 放送大学教養学部准教授		
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	岩手学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、ノート（講義中は、講師が説明した内容を、自分なりにノートにまとめましょう）。 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・増補新装カラー版西洋美術史（高階秀爾（監修）／美術出版社／¥2,090／ISBN=9784568400649） ・フランス近世の美術（大野芳材／国立印刷局／／ISBN=9784172112105） 現在在庫切れのため、古書をご入手いただくか、図書館等にて参照が可能です。 ・西洋美術の歴史　17-18世紀：バロックからロココへ、華麗なる展開（大野芳材、中村俊春、宮下規久朗、望月典子／中央公論新社／¥4,180／ISBN=9784124035964） **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2689545
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**老年医学の基礎知識**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	アカサカ　ヒロシ 赤坂　憲 岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
高齢者では、複数の疾患を抱えていたり、多数の薬剤を内服していたり、病気以外の原因によって日常生活に支障をきたしているケースがあります。そのため、臓器別に細分化された医学ではなく、総合的に、包括的に対象者をとらえて考える「老年医学」の考え方は重要です。本講義では、超高齢社会のわが国において、医療関係者に限らず、広く役に立つと考えられる老年医学の基礎知識について学びます。
【到達目標】
高齢者の医療や生活に関係する医学的知識を身につけ、それをもとにモデルケース（講義の中で示します）に対して、どのように考えて対処するべきかを論じることができる。
【授業テーマ】
第1回 はじめに：何歳から高齢者か
第2回 マルチモビリティ（複数疾患の併存）とポリファーマシー（多剤併用状態）
第3回 老年症候群とその評価の方法（高齢者総合機能評価）
第4回 フレイルとサルコペニア
第5回 生活習慣病（高血圧、心臓病、糖尿病、腎臓病）
第6回 認知症
第7回 身体機能と疾患をふまえた治療方針の決定
第8回 まとめ
【受講前の準備学習等】
公益財団法人長寿科学振興財団による「健康長寿ネット」（https://www.tyojyu.or.jp/net/index.html）のページの中から、ご自身で興味のあるテーマについて、読んでください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・老年医学系統講義テキスト（日本老年医学会／西村書店／¥4,950／ISBN=9784890134304）
・改訂版　健康長寿診療ハンドブック（日本老年医学会／株式会社メジカルビュー社／¥1,100／ISBN=9784758304955）

科目コード	2689553
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**生活と看護**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ツチダ　サチコ 土田　幸子 岩手保健医療大学看護学部教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
自分らしい人生をおくるためには、大切なことは何でしょうか？身体の全機能は、その人の生きてきた年数分、休まず活動しています。そのため、年齢が増すごとに、年々病気のリスクが高まることになります。さらに、感染症の発症も増加しています。自らの力で生活を営み続け、楽しいと思える日常を送っていただくために、これまでの生活を振り返り、健康維持について考えていきます。
【到達目標】
・生活習慣病につながる不適切な健康習慣について説明できる。
・自分らしい生き方について再考することができる。
【授業テーマ】
第1回 健康とは、健康であるということとは
第2回 年齢と身体機能の変化
第3回 生活習慣と病気の関係１
第4回 生活習慣と病気の関係２
第5回 健康を保つための看護（感染予防対策の必要性）１
第6回 健康を保つための看護（感染予防対策：実技）２
第7回 身体の不調のみかた（身体面・栄養面）１
第8回 身体の不調のみかた（心理面）２
【学生へのメッセージ】
一斉授業を中心に行いますが、実技を取り入れ、ご自身の生活習慣を見つめる機会になれるようにしたいと考えています。そのために、事前学習に取り組んで授業に臨んでいただきたいです。
【受講前の準備学習等】
①ご自身の日々の生活での過ごし方について朝食から就寝までを時間を追って書き出してください。次のポイント「食事」「運動・活動」「睡眠・休息」「排泄」「清潔」などを加えてください。
②平日の１日を選び、その日の朝食から就寝までの献立を書き出してください。摂取量がわかるようでしたら、記載してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689561
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**公衆衛生学概説**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	シモダ　ハルキ 下田　陽樹 岩手医科大学医学部助教
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
人々の健康の保持・増進、寿命の延長、疾病の予防を目的として、保健・医療・福祉に関する活動を行い、社会資源の整備と活用を図る公衆衛生について、その概論と各論、主たる統計と疫学の手法を学ぶことで、基礎的・全般的な知識と方法論を習得します。
【到達目標】
・人々の健康に影響するさまざまな要因について説明できる。
・主要疾患の動向について説明できる。
・社会における公衆衛生の主要な活動分野・活動内容について説明できる。
・集団の健康事象を把握・評価するための疫学統計学の概念・手法について理解し、データを解釈できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 健康の概念と公衆衛生学、衛生行政と地域保健
第2回 人口統計と保健統計
第3回 疫学
第4回 各ライフステージにおける保健
第5回 感染症、食品衛生、国民栄養
第6回 環境保健、社会保障と社会福祉
第7回 精神保健と障害者保健、産業保健
第8回 国際保健
【学生へのメッセージ】
本講義では公衆衛生について、概論、方法論、分野別の各論の構成で紹介します。事前知識の必要ない講義内容を予定していますが、スムーズな理解のため、下記等を参考にある程度の準備をしておいてもらえればと思います。
【受講前の準備学習等】
指定の教科書等を活用し、公衆衛生全般、特に統計と疫学について自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
指定の教科書、筆記用具
【教科書】
・よくわかる専門基礎講座 公衆衛生（第16版）（松木秀明／金原出版株式会社／¥2,970／ISBN=9784307702492）

科目コード	2689570
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**みんなの健康をまもる：公衆衛生**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	タクサリ　エリ 田鎖　愛理 岩手医科大学医学部総合診療医学講座講師／全学教育推進機構教学IRセンター副センター長
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
みんなの健康をまもる「公衆衛生」に関して俯瞰的に学びます。Winslowの定義によると「公衆衛生とは、生活環境衛生の整備、感染症の予防、個人衛生に関する衛生教育、疾病の早期診断と治療のための医療・看護サービスの組織化、および地域のすべての人々に健康保持に必要な生活水準を保証する社会機構の整備を目的とした地域社会の組織的努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的健康と能率の増進を図る科学であり技術である。」とされています。難しいようですが身近な問題から考えていきましょう。
【到達目標】
健康や公衆衛生に関する概要、根拠に基づく保健医療の重要性、疾病予防の対象と方法、関連する制度や法規について理解し、これらの重要性を説明できる。
【授業テーマ】
第1回 序論・保健統計・疫学の概要
第2回 疾病予防と健康管理、精神保健
第3回 様々な疾病の予防
第4回 環境保健、国際保健
第5回 地域保健、保健医療福祉の制度と法規
第6回 母子保健、学校保健
第7回 産業保健、高齢者の保健・医療・介護
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
専門用語が若干ありますが、出来る限り分かりやすく説明するよう心がけます。最後は、この講義で学んだ内容について特に興味・関心のある内容についてレポートを作成して頂きます。
【受講前の準備学習等】
教科書に事前に目を通して、情報を収集してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、筆記用具
【教科書】
・シンプル衛生公衆衛生学 2026（監修　辻一郎／南江堂／¥3,300／ISBN=9784524274246）

科目コード	2689146
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	19名
担当講師	タチバナ　リョウ 立花　良 岩手大学人文社会科学部准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは､原則として８回の授業すべてに出席し､3つの実験すべてについてレポートを作成・提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス：心理学における実験とは
第2回 実験Ⅰ：記憶範囲の実施と解説
第3回 実験Ⅱ：記憶の系列位置効果の実施と解説
第4回 データの分析・統計解析とレポートの書き方
第5回 心理学実験についての解説、心理学のレポートの書き方について
第6回 実験Ⅲ：メンタルローテーションの実施
第7回 実験Ⅲ：メンタルローテーションの解説
第8回 データの分析・統計解析とレポートの書き方、全体のまとめ
【受講前の準備学習等】
・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
・準備物や特記事項をよく確認願います。基本的なPC操作についても、あらかじめ確認してくることが望ましいです。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣､｢心理学研究法('20)｣､｢心理学統計法('21)｣を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
・ノートパソコンを持参してください。（タブレットやスマートフォンは不可です。）
２．OSの指定
・WindowsまたはmacOS
３．ソフトのインストール
・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
４．その他
・マウスを持参してください。
・Word2024が必要です。
・Excel2024が必要です。
・ソフトのバーションは可能な限り、新しいものにしてください。
・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。場合によっては、メールなどの提出方法に変更することもあります。
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689588
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**情報化社会と大学教育**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	ユアン　フジエ 苑　復傑 放送大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
インターネットの普及、デジタル技術の進展、AI技術の発展によって、21世紀の社会が大きく変わりました。社会が変われば、大学教育も変わります。大学が直面する課題を、歴史的かつグローバルな文脈のなかで捉え、国際比較の視点から、日本とアメリカ、中国の社会と大学、三か国の比較をしながら、遠隔高等教育の制度、現状、改革課題を解説し、大学の「教育力」を考えます。
【到達目標】
デジタル技術、AI技術の発展が大学教育の内容と方法にどのような変化と可能性をもたらしてきたかについて、日本やアメリカ、中国の社会経済の変化と大学の変化を踏まえ、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 デジタル技術や政治・経済・社会の変貌と大学教育
第2回 数字で見るアメリカの社会と大学の変貌
第3回 数字で見る日本の社会と大学の変貌
第4回 数字で見る中国の社会と大学の変貌
第5回 アメリカの大学教育とICT活用
第6回 日本の大学教育とICT活用
第7回 中国の大学教育とICT活用
第8回 情報化社会と大学教育の課題
【学生へのメッセージ】
新聞・雑誌・書物など大学教育とAI技術に関連する記事になるべく目を通してください。高等教育改革と国際競争のなかで、高等教育の国際化、遠隔教育の進展が日米中のそれぞれの社会にとって、どのような意味があるかを考えます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
自分が読んだ、授業との関連書籍または論文・新聞記事をどれでもよいが、1部用意して、持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・大学教育の再構築ー学生を成長させる大学へ（金子元久／玉川大学出版部／¥4,180／ISBN=9784472404641）
・雑誌　『IDE　現代の高等教育』（月刊）関心のある1冊（IDE大学協会　／IDE大学協会事務局／¥1,250）

科目コード	2689120
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	19名
担当講師	スズキ　マモル 鈴木　護 岩手大学人文社会科学部准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基本的研究法を実験・実習形式で学びます。２人１組になり実験者と被験者両方の立場になって、記憶、学習、知覚領域の基礎的な実験を行います。予定している実験は、心理尺度、対人魅力、目撃者証言の３つです。それぞれの実験の結果を整理し、解析し、さらに考察を加えて実験レポートの作成を試みます。実際に実験を経験するなかで、心理学における実験計画のたてかた、研究手続きや手法、データ処理のしかた、レポートの書き方などを総合的に学習します。
また、受講生の皆さんは、原則として８コマの授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
・心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
・実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス：心理学における実験とは
第2回 実験１：心理尺度
第3回 実験２：対人魅力
第4回 データの分析とレポート執筆指導
第5回 心理学実験についての解説、心理学のレポートの書き方について
第6回 実験３：目撃者証言
第7回 データの分析とレポート執筆指導
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
心理学の教育カリキュラムの中核をなしているのが心理学実験の授業です。基礎的な実験を楽しみながら、心理学の科学的アプローチの一端を体験的に理解していただければと思います。
【受講前の準備学習等】
PCを利用した実習が中心であり、プレゼンテーションソフト、文書作成ソフト、表計算ソフトの基本操作を身につけておいてください（PC使用方法については、支援できません）。
またレポートについても、PCでの作成となります。
受講の際は、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
・ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
２．OSの指定
・Windowsが必要です。
３．ソフトのインストール
・ブラウザを使用しますが種類は問いません。
・文書作成ソフトが必要です。Word形式ファイルの読み込み・書き込みが可能なソフトをご用意ください。
・表計算ソフトが必要です。Excel形式ファイルの読み込み・書き込みが可能なソフトをご用意ください。
・プレゼンテーションソフトが必要です。PowePoint形式ファイルの読み込み・書き込みが可能なソフトをご用意ください。
・配布資料はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。
４．その他
・トラブル防止のためMicrosoft 365やOffice2021以上を推奨します。Windows11が必要です。
・マウスの使用を推奨します。
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
色識別を要する実験課題があります。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689596	**授業概要**	**【授業内容】** 特別支援教育の実践について概説します。 具体的には近年関心が高まっている小中学校等における特別支援教育と、伝統的で独自の教育課程を有する特別支援学校における実践に焦点化します。前者は主に発達障害、後者は主に知的障害の児童生徒を想定しています。 その上で実践を支えるための教育制度の理解、学習者の発達と適応の理解、教育的ニーズの理解、さらにそれらに基づく支援の実際、支援者としての教員像について事例を交えて論じます。 なお、本授業では教育に携わる否かを問わず、特別支援教育に関心がある受講者を広く想定しています。 **【到達目標】** 小中学校等における特別支援教育と、伝統的で独自の教育課程を有する特別支援学校における実践について、その背景となる教育制度、学習者の発達と適応、教育的ニーズ、それらに基づく支援の概要や要点について説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 特別支援教育の制度と対象 第2回 障害の理解１（国際生活機能分類を観点として） 第3回 障害の理解２（発達と適応を観点として） 第4回 障害の理解３（発達障害と知的障害を観点として） 第5回 特別支援教育の実践１（発達障害の特性に応じた支援） 第6回 特別支援教育の実践２（知的障害の特性に応じた支援） 第7回 特別支援教育の実践３（連携による支援） 第8回 特別支援教育の実践に関するディスカッション **【学生へのメッセージ】** 特別支援教育、障害、発達、適応、連携というキーワードを、私たちの日常生活における体験に重ねて理解することをめざします。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断し、自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	岩手学習センター		
学習センターコード	03A		
クラスコード	K		
科目名	**特別支援教育の実践**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ササキ　ゼン 佐々木　全 岩手大学教育学研究科准教授		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	岩手学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689600	**授業概要**	**【授業内容】** 地方創生・地域創生が今日の日本社会の大きな課題の一つとなっています。わたくしたちの暮らしの基盤となる地域経済の現状と課題について基本的な理解を深めるために、「地域内経済循環」や「内発的発展」の考え方を紹介します。そのうえで今日日本の各地で取り組みが進められている、「地域づくり」や「地域活性化」の事例を取り上げながら、地域の自立的発展や持続可能性について考えていきます。岩手県での取り組み事例にも触れますが、島根県海士町や長野県小布施町の事例検討を取り入れて考察を深めます。 **【到達目標】** 地域のつながりづくり、地域の持続可能性にかかわる条件を理解して、行政（市町村）、地域組織（NPOや団体）、地域住民の役割を説明することができる。また地方主権や住民自治の観点から地域づくりに必要となる自分なりの視点を明確に示すことができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 人口減少社会と地域創生、地方創生について　①東京一極集中と地方 第2回 人口減少社会と地域創生、地方創生について　②地元経済を創りなおすための「地域内経済循環」 第3回 事例１：「地域内経済循環」を構築するための海士町の取組み 第4回 海士町の取組みと移住・定住政策との関係について（グループディスカッションを含む） 第5回 事例２：長野県小布施町の「修景」事業およびコミュニティ・ガーデンの取り組み 第6回 事例３：北上市における「きたかみ朝市」による中心市街地の活性化取り組み 第7回 地域における「食」と「農」の取り組み、有機給食導入の動向とその意義について 第8回 岩手県での「コミタス事業」をヒントに地域のつながりづくりを検討する **【学生へのメッセージ】** 地方の主人公は地域住民です。みなさんの地域の課題とはどのようなことか、またどのように向き合えばよいのか考えていきましょう。 **【受講前の準備学習等】** 「地方創生」政策のもとにこの10年余りで取られてきた取り組みについてインターネットで調べておいてください。 また、まちづくりや地域づくり、地域活性化を目指した物産開発やイベント実施など、日ごろの報道や新聞地方欄記事に触れるようにしておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	岩手学習センター		
学習センターコード	03A		
クラスコード	K		
科目名	**地域づくりと地域経済**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	50名		
担当講師	クイタ　トシユキ 杭田　俊之 岩手大学人文社会科学部教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	岩手学習センター		**【教科書】** 授業当日に補助教材を配付します。 **【参考書】** ・地元経済を創りなおす　― 分析・診断・対策（岩波新書）（枝廣淳子／岩波書店／¥968／ISBN=9784004317043） ・地域主権という希望 欧州から杉並へ、恐れぬ自治体の挑戦（岸本聡子／大月書店／¥1,760／ISBN=9784272211289）

科目コード	2689618
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**読みなおす児童文学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	トダヤマ　ミドリ 戸田山　みどり 八戸工業高等専門学校名誉教授／ 八戸工業大学非常勤講師
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
日本や海外の、よく知られた絵本や児童文学の作品をとりあげて、新たな視点で読みなおします。文学理論などを参考に、分析的に読んでみましょう。児童文学や絵本というジャンルの特徴や、それを大人が読むときの注意点、これからの社会における役割などについても考えていきたいと思います。
【到達目標】
受講生の皆さんがこれまでに読んできた作品に対して、より深く理解し、新たな発見をすることができるようになる。また、受講生同士でディスカッションをすることで、さまざまな立場から多様な読み方が可能であることや、それを互いに知らせ合うことで、読み方の視野を広げることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：児童文学の歴史概略と絵本・児童文学の定義
第2回 文学作品の読み方1：精読の実践とディスカッション
第3回 文学作品の読み方2：「ものがたり」の構造分析
第4回 文学作品の読み方3：切り口を探す（文学批評理論入門）
第5回 児童文学とビジネス：映像化・グッズ・テーマパーク
第6回 児童文学への期待：最近の作品の傾向を考える
第7回 グループ・ディスカッションと発表資料の作成
第8回 発表と振り返り
【学生へのメッセージ】
ふだん仕事として子どもたちに本を手渡す方であっても、また、個人的に児童文学と呼ばれるジャンルの作品を読むのが好きという方であっても、今までとはひと味違った読み方に挑戦しましょう。
【受講前の準備学習等】
以下の作品を読んでおいてください。読んだ版の書誌情報をとっておきましょう。ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』、ビアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』、A. A. ミルン『クマのプーさん』、宮沢賢治『銀河鉄道の夜』、トーベ・ヤンソン『たのしいムーミン一家』、J. K. ローリング『ハリー・ポッターと賢者の石』。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内の課題提出と発表によって行います。

【受講者が当日用意するもの】
最後の発表で紹介したい絵本や児童文学作品（準備学習で指定した以外のもの）の書籍の現物。筆記具。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『批評の教室 ――チョウのように読み、ハチのように書く』（北村紗衣／筑摩書房／¥902／ISBN=9784480074256）
・絵本とは何か――起源から表現の可能性まで（松本 猛／岩波書店／¥2,750／ISBN=9784000223195）

科目コード	2689626
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**〈アート化〉とは何か**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	キムラ　ナオヒロ 木村　直弘 岩手大学人文社会科学部教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
Artification＝〈アート化〉という言葉を御存知でしょうか。それは21世紀初頭、動詞artify（飾る、美化する、人工的にする、芸術に変える、生活を豊かにする、の意）から派生・造語された術語で、非芸術的な対象・行為・状況が、芸術的なものとして認識・扱われるようになるプロセス（およびその結果）を指し、芸術あるいはアートの境界がどのように形成され、変化し、制度化されるかを考える際の重要な概念です。この授業では、多様なジャンルにおける〈アート化〉の事例を紹介しながら、現代における〈アート〉の氾濫について考察していきます。
【到達目標】
何でもアートになる時代にあって、〈アート化〉Artificationという概念について理解し、なぜ現代にアートが氾濫しているのかについて説明できる。
【授業テーマ】
第1回 アートはいつ〈アート〉になるのか？
第2回〈アート化〉の諸相1：音楽批評と〈アート化〉
第3回〈アート化〉の諸相2：日本美術と〈アート化〉
第4回〈アート化〉の諸相3：映画祭と〈アート化〉
第5回〈アート化〉の諸相4：日本美術と〈アート化〉
第6回〈アート化〉の諸相5：アート・プロジェクトと〈アート化〉
第7回〈アート化〉の諸相6：社会実践と〈アート化〉
第8回 まとめ：〈アート化〉とは何か
【受講前の準備学習等】
毎回事前に教科書の該当する章を読んでおいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書
【教科書】
・アートはいつ〈アート〉になるのか：〈アート化〉とは何か（小松田儀貞（編著）／水曜社／¥2,970／ISBN=9784880655895）

科目コード	2689634
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**離散数学**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	トミエ　マサヤ 冨江　雅也 盛岡大学文学部准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
グラフ理論の初歩について解説します。まず初めにグラフの定義について紹介し、次数列および握手補題について解説します。それから一筆書きについてグラフの立場から見ていきます。またグラフ彩色問題、ハミルトン路問題について概観して、最後に平面グラフの話題を扱います。特に地図の塗り分けとの関連について眺めて５色問題を証明します。
【到達目標】
・グラフの握手補題について説明することができるようになる。
・グラフの彩色について説明することができるようになる。
・ハミルトン路問題について説明できるようになる。
・平面グラフの諸性質について説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 グラフの基礎的な言語を理解し握手補題を理解する
第2回 一筆書きについてグラフの立場から理解する
第3回 グラフ彩色について解説し、ある種のグラフ操作が本質的であることをみる
第4回 グラフ彩色の手法について紹介し、さらに一般的な側面として彩色多項式を導入する
第5回 ハミルトン路問題について解説する
第6回 平面グラフについて基礎的な事柄を扱う
第7回 オイラーの定理を紹介する
第8回 ５色問題を証明する
【学生へのメッセージ】
グラフの基礎について紹介します。自分であれこれ図を書くと理解が深まります。
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・自分であれこれ具体例を考えるように努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
紙と鉛筆、もしくはペン
【教科書】
・点と線の数学 ～グラフ理論と４色問題～（瀬山士郎／技術評論社／¥1,958／ISBN=9784297105105）

科目コード	2689642
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	**被服材料と プラスチックの科学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	アマキ　ケイコ 天木　桂子 岩手大学教育学部教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月15日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岩手学習センター

授業概要

【授業内容】
日常生活の様々な場面で登場し、利用している繊維製品を対象に、その材料について学びます。繊維の原材料は何か、どこから得ているのか、それぞれどんな特徴を持っているのか、こうした性質を効果的に利用するにはどうしたらよいかなどを科学の視点から解説し、主に天然繊維と合成繊維を比較します。また、合成繊維は形を変えたプラスチックでもあり、生活の中にあふれているプラスチックの特徴や開発の歴史、利用するにあたっての環境への影響など、総合的な視点から被服材料としての繊維を学びながら、豊かな衣生活について考えるとともに、衣産業が抱える深刻な環境負荷問題を考えます。
【到達目標】
様々な繊維の特徴を理解するとともに、こうした特徴を踏まえながら日常生活の様々な場面で適切な材料（衣服）を選択できる能力を身につけることができる。また、衣がもたらす様々な環境負荷を理解するとともに、将来的にはどのようなものを選び、どう利用していくべきなのかを主体的に考え、自分自身の衣生活に反映させる習慣を身につけることができる。
【授業テーマ】
第1回 繊維の定義と種類・・・鎖状高分子の種類による分類
第2回 セルロース系繊維の種類と特徴（1）・・・天然のセルロース系繊維（綿、麻）について
第3回 セルロース系繊維の種類と特徴（2）・・・化学繊維としてのセルロース系繊維について
第4回 タンパク質系繊維の種類と特徴（1）・・・天然のタンパク質系繊維（毛、絹）について
第5回 タンパク質系繊維の種類と特徴（2）・・・化学繊維としてのタンパク質系繊維について
第6回 合成繊維とプラスチックの種類と特徴（1）・・・三大合成繊維について
第7回 合成繊維とプラスチックの種類と特徴（2）・・・その他の合成繊維について
第8回 衣生活や衣産業がもたらす深刻な環境負荷を考える
【学生へのメッセージ】
毎日身に着けている衣服（被服）を科学的視点から考えます。また、主たる被服材料である繊維にはさまざまな種類があり、それぞれに特徴があります。そうした特徴を学ぶことで、今後衣服（繊維製品）を購入する際の新たな視点を持ってもらえればと期待しています。また、繊維産業が抱える膨大な環境負荷は、きっと皆さんに大きなインパクトを与えることでしょう。こうした現実を前に私たちは衣服とどう付き合っていくべきなのかを考えるきっかけになればと思います。
【受講前の準備学習等】
日常着用している衣服や今身に着けている衣服がどんな繊維でできているのか、既製服の場合はタグに書かれている「組成表示」を見て繊維名を確認しておきましょう。授業の内容をより身近に感じることができると思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは、『今回の授業で印象に残ったことを自由に記述してください。また、学習したことを参考にしながら自身の衣生活は今後どうしていくべきかについて考えることがあれば記述してください。』
です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689650	**授業概要**	**【授業内容】** アメリカの歴史や文化を題材にして英語を学びます。講師による講義が中心となりますが、配付される英語の資料ならびに講義に関する受講生からの質問などを一緒に考える機会も持つ予定です。 **【到達目標】** 配付される英語資料を読み、講師の解説を聞きながら、アメリカの歴史・文化について理解し、自分なりの説明をすることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 建国から南北戦争まで 第2回 産業化と移民 第3回 第一次世界大戦と繁栄の1920年代 第4回 大恐慌と第二次世界大戦 第5回 冷戦体制 第6回 混乱の1960年代・1970年代 第7回 1980年代以降のアメリカ 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 言語学習にはその言語の知識・運用だけでなく、その言語が使われる地域の歴史や文化に対する知識・理解を持つことが重要です。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	宮城学習センター		
学習センターコード	04A		
クラスコード	K		
科目名	**英語で学ぶ アメリカの歴史と文化**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	25名		
担当講師	タケバヤシ　シュウイチ 竹林　修一 東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授		**【受講者が当日用意するもの】** 辞書（英和辞典）。電子辞書、ネット辞書でも構いません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	宮城学習センター		**【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2689669
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**シンプルで楽しい 日常英会話**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	20名
担当講師	ロン　キャンベル 宮城教育大学非常勤講師
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン等持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この２日間のコースでは、日常生活で役立つ英会話を楽しく学びます。映画、食事、旅行、社交の場など、身近なテーマを使って、実際に使える英語をロールプレイやアクティビティを交えながら練習します。リラックスした雰囲気の中で、自信を持って話せるようになることを目指します。
【到達目標】
学生は、日常の話題（生活習慣、映画、外食、旅行、音楽など）について、2～3分の簡単な会話ができる自信とスキルを身につける。
学生は、スモールトークや簡単な質問に適切に応答できる。
学生は、レストランや店での注文や質問など、実生活で使う基本的な英語表現を使えるようになる。
【授業テーマ】
第1回 はじめまして！自己紹介とアイスブレイク
第2回 映画や音楽やテレビについて話そう
第3回 旅行英語 – 道を尋ねる・助けを求める
第4回 レストランで注文する・食べ物について話す
第5回 スモールトーク – ちょっとした会話を楽しむ
第6回 買い物英語 – 値段を聞く・商品を探す
第7回 毎日どんなことをしてる？ – 毎日の習慣や計画について話す
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
このクラスでは、英語を「使う」ことを目的としています。旅行や日常生活で役立つ表現を、楽しみながら学びましょう！間違いを恐れず、積極的に会話にチャレンジしてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
授業活動の参加および短いオンラインテストによって評価します。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
1. 持参する端末
　種類は問いません。(Wi-Fi対応のスマートフォンか、ノートか、タブレット（オンライン教材や小テスト用))
2. OSの指定
　種類は問いません。(Windows、macOS、ChromeOS等)
3. ソフトのインストール
　ブラウザ（Edge、Chrome、Safari、Firefoxなど）を使います。
4. その他
　ソフトのバージョン指定はありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますので、ご注意ください。

科目コード	2689677
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**会話で学ぶ中国語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	25名
担当講師	ヤオ　ヤオ 姚　尭 東北大学高度教養教育・学生支援機構講師
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は、中国語の発音・基本文型・簡単な日常会話の習得を目指します。
まず中国語の発音表記法を学び、声調・母音・子音及び音節の発声練習を行います。次に、簡単な中国語単語・文型と日常生活で頻出する表現を覚え、自分や身近な話題について簡単なやり取りができるように練習します。また、授業を通して中国の文化や社会事情に触れ、異文化理解を深めていきます。授業ではペアワークなどを取り入れ、楽しく実践的に学べる場を提供します。さらに、音声や動画を活用し、リスニング力の向上も図ります。

【到達目標】
1．中国語の発音、入門レベルの単語と文型を習得することができる。
2．身近な話題について簡単な会話ができる。
3．中国の社会や文化への関心を育むことができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス：中国語について知っておこう
第2回 発音編１：中国語は“歌う言語”？　声調の役割を体感する
第3回 発音編２：日本語にない音をどう出すか？　中国語の調音感覚
第4回 発音編３：聞く・まねる・通じる：会話の中で身につける中国語の音とリズム
第5回 会話編１：私は日本人です。あなたはどちらのご出身ですか？
第6回 会話編２：私は中国語を学びます。中国語は難しいですか？
第7回 会話編３：今日は4月1日です。私は家で仕事します。
第8回 会話編４：発音と意味をつなぐ会話練習

【学生へのメッセージ】
気楽な気持ちで新しい言語に触れてみましょう。間違えても大丈夫！楽しみながら声に出し、少しずつ慣れていくことが大切です。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
受講前に、中国語の動画などを少し見て、どんな響きやリズムの言語かを感じてみてください。
また、中国や中国語について、「少し気になること」「知ってみたいこと」を一つ考えておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び口述試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書を用意しておいてください。

【教科書】
・勉強するほど面白くなる　はじめての中国語（李　菲／新星出版社／¥1,650／ISBN=9784405012714）

【参考書】
・中国語は楽しい―華語から世界を眺める―（新井一二三／筑摩書房／¥924／ISBN=9784480073891）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2689685
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**英文読解のポイント（初級編）**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	20名
担当講師	アベ　ヒロミ 阿部　裕美 東北文教大学人間科学部教授
日程 実施時間	12月26日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月27日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、米作家アーネスト・ヘミングウェイの短編「清潔で明るい場所」（A Clean, Well-Lighted Place,1933）の原文を読みながら文法知識を学ぶとともに、文学作品らしい言葉の働きを意識した英文の読解を目指します。きわめて簡潔な文章ですが、登場人物の心情はもちろんのこと、「老い」や移民問題などの社会的な課題にも注目しながら、分析と考察に基づく立体的な読解を試みます。

【到達目標】
・平易な英語を正確に読み取ることができるようになる。
・含意のある英文表現の「意味合い」を理解することができるようになる。
・物語の中から現代にも通じる社会課題に関連付けた読みができるようになる。
・物語の解釈を通じて、多様な解釈を見出すことができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 英文解釈に必要な要素を理解する
第2回 直訳と英文読解の違いを知る
第3回 作品を読む①　表現手法に注目して英文を読む
第4回 作品を読む②　読解のポイントを理解する
第5回 作品を読む③　作品のメッセージを読み込む
第6回 作品を分析する①　「老い」の問題を読み込む
第7回 作品を分析する②　移民問題を読み込む
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
短時間でまとまった分量の英文を読むことになりますが、ぜひ「読み進める楽しみ」を実感してください。
物語には現代的な問題も含まれていますので、ぜひ「今」に引き付けながら英文を読んでみてください。

【受講前の準備学習等】
・原文を入手のうえ、解読しにくい箇所や理解しにくい場面などを事前に確認しておいてください。
　また、現代にも通じる社会的な問題が読み取れる箇所についても確認しておいてください。
・原文入手可能サイト：Internet Archive（https://archive.org/stream/BM282003hemingway/BM28_2003_hemingway_djvu.txt）

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・英語辞書
・原文の印刷版

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・『ヘミングウェイ短篇集 』（ちくま文庫 へ 11-1）（アーネスト・ヘミングウェイ／筑摩書房／¥1,034／ISBN=9784480426840）
・『勝者に報酬はない・キリマンジャロの雪: ヘミングウェイ全短編〈2〉』（アーネスト ヘミングウェイ（著）、高見 浩（翻訳）／新潮社／¥880／ISBN=9784102100110）
・『ヘミングウェイで学ぶ英文法 2 』（倉林秀男、今村楯夫／アスク／¥2,200／ISBN=978486639049）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2689693
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**「生きる」を支える地域医療**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	カトウ　ユミ 加藤　由美 東北文化学園大学経営法学部教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちが最後まで自分らしく生き切るためには、地域医療による下支えが不可欠です。この科目の目的は、地域医療の提供の基本的仕組みを理解し、それを自分らしい生き方に役立たせることです。最初の授業でACP（アドバンス・ケア・プランニング）体験のグループワークを行い、最後の授業で価値観の明確化に関するグループワークを行う意図は、地域医療システムに関する知識を自身の生き方に活かす一助とすることです。授業では、ACP、医療保険、診療報酬、国民医療費、医療機能の分化・分担と連携の各側面から、地域医療システムの体系的理解を図ります。

【到達目標】
・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の概念を理解し、自身の生き方に役立てることができる。
・地域医療システムに関する基礎知識（医療保険、診療報酬、国民医療費、医療機能、地域医療提供体制等）を理解し、地域社会における自身の生き方に役立てることができる。

【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション／最初のグループワーク（もしバナゲームによるACP体験）
第2回 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）
第3回 医療保険と診療報酬の仕組み
第4回 国民医療費の動向
第5回 多様な切り口で捉える医療機能（1）
第6回 多様な切り口で捉える医療機能（2）
第7回 地域医療システム～医療機能の分化・分担と連携
第8回 地域社会で最後まで自分らしく生き切るために～グループワーク②（価値観の明確化）

【学生へのメッセージ】
この科目での学びが、皆さんの自分らしい生き方に少しでも役立てば幸いです。

【受講前の準備学習等】
厚生労働省の下記サイトを参照し、準備学習をしておいてください。
「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）してみませんか？」
https://www.mhlw.go.jp/stf/web_magazine/closeup/23.html

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
授業でグループワーク（2回）を行います。

科目コード	2689707
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**栄養と健康**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	オオクボ　タケシ 大久保　剛 仙台白百合女子大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
糖質、タンパク質、脂質など、各栄養素を学ぶ機会はあるかと思います。しかし、ヒトは、同じ食事内容でも、どんな時にどんな状態で食べるかによって、その影響・効果が異なることがあります。特に食品の二次機能と言われるものの影響することが解明されつつあります。食事の各成分は、我々の体を構築する建築資材となり、単なるエネルギー源となるだけではありません。更に、最近の研究では、食事と睡眠、食事と認知機能など食事による生理機能との関連性も明らかにされつつあります。このように境界領域の栄養学を中心に講義していきます。

【到達目標】
我々の体にとって各栄養素がどのような役割を果たし、食材を食べることの真の意味と重要性を理解できるようになる。また、現在、新たに進められている研究を紹介し、将来に必要となる栄養学、食品学の世界を意識できるようになる。そして、日常生活において何を食べるかを意識して考えるようになる。

【授業テーマ】
第1回 なぜ食べるのか？　ウンチは一体何者なのか？
第2回 栄養学概説（炭水化物、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、食物繊維について）
第3回 食品の二次機能について
第4回 妊婦・乳幼児における栄養（食事）の重要性～DOHaD研究について知る～
第5回 高齢者における栄養（食事）の重要性
第6回 新しい栄養学１（睡眠と栄養と生活習慣病の関係について）
第7回 新しい栄養学２（時計栄養学：いつ？何を？食べたらいいのか？）
第8回 食品の機能性（機能性表示食品によるセルフメディケーション）

【学生へのメッセージ】
何を食べるのか日々の食事の時に意識して欲しいと思います。食事（栄養のバランス）を意識することでセルフメディケーションに役立ちます。健康寿命と寿命の差を縮めるための「栄養と健康」の関係を知って欲しいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
また、シラバスの内容から気になるキーワードを調べてみてください。そして、その意味を検証してみてください。また、「栄養」について気になることは質問してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689715
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**比較栄養学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	サトウ　カン 佐藤　幹 東北大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
動物にとって食物（飼料）の摂取は生命維持のために必須です。動物は摂取した各種栄養素を消化、吸収した後、細胞レベルでそれらを利用します。一方で、生命活動で生じた不要物は排泄されます。この反応は、環境要因によっても大きな影響を受けます。これらの過程は、動物種によって異なり、各動物の摂取する食物（飼料）に依存します。本講義では栄養に関わる化学・生化学・生理学反応を個体・組織・細胞・遺伝子レベルで理解し、各種動物の生命活動における栄養とその生化学反応の重要性・意義を学びます。
【到達目標】
生命科学の観点から、動物が摂取する栄養素の吸収機構、体内利用、化学的性質、代謝・生理を理解し、各種の動物にとって適切な栄養について比較生化学的に考えることができる。
【授業テーマ】
第1回 概論および各種動物の飼料
第2回 消化管の構造と機能（1）
第3回 消化管の構造と機能（2）
第4回 エネルギー代謝（1）
第5回 エネルギー代謝（2）
第6回 草食動物の栄養代謝特徴
第7回 鳥類の栄養代謝特徴
第8回 雑食動物（特にブタ）の栄養代謝特徴
【学生へのメッセージ】
皆さんが接している動物（ペットなど）、あるいは食料として利用している動物（産業動物）の栄養学を科学的な観点から解説します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
解糖系、TCA回路、電子伝達鎖などATP合成に関する基礎的な生物学的知識を持っていると講義の理解が深まります。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
資料はPDFで配付しますので、それを受け取れる準備をしていてください。
【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

科目コード	2689723
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**食品成分と健康維持**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	シラカワ　ヒトシ 白川　仁 東北大学大学院農学研究科教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちが日々摂取している食品に含まれる成分の基本的な役割を理解することは、健康維持のための知識を得るというだけではなく、生活習慣病を標的とした新しい機能性食品の開発においても重要な知見となります。本講義では主要な食品成分（糖質、脂質、たんぱく質）の消化・吸収と吸収後の役割について学びます。また、微量食品成分であるビタミンの作用を理解して、健康維持の機構について学びます。さらに、発酵食品に含まれる微生物由来成分をいくつか学び、発酵食品の健康機能性を理解します。
【到達目標】
・我々が摂取している食品を構成している主要な成分とその機能を説明できる。
・食品に含まれる微量成分（ビタミンなど）による健康維持の機構について説明することができる。
・発酵食品に含まれる微生物由来の成分がもつ健康機能性ついて、いくつか例を挙げて説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 食品に含まれる成分の概略
第2回 糖質・たんぱく質・脂質の消化・吸収と機能（その1）
第3回 糖質・たんぱく質・脂質の消化・吸収と機能（その2）
第4回 水溶性ビタミンの機能（その1）
第5回 水溶性ビタミンの機能（その2）
第6回 脂溶性ビタミンの機能
第7回 発酵食品に含まれる微生物由来の成分と健康機能（その1）
第8回 発酵食品に含まれる微生物由来の成分と健康機能（その2）
【受講前の準備学習等】
・受講前にシラバスの内容から判断して、参考書などを利用して各自自己学習に努めてください。
・講義で配付した資料を活用して復習を行い、課題レポートを作成することによって理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・基礎栄養学（駒井三千夫、正木恭介編／アイ・ケイコーポレーション／¥2,640／ISBN=9784874923733）

科目コード	2689120		**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 はじめに（授業の概要の説明、レポートの書き方について、心理学実験について） 第2回 ミュラー・リヤー錯視（実験概要の説明と実験実施） 第3回 ミュラー・リヤー錯視（データ整理） 第4回 ミュラー・リヤー錯視（レポート執筆指導） 第5回 情報伝達（実験概要の説明・実験実施・データ整理・レポート執筆指導） 第6回 概念学習（実験概要の説明・実験の実施・データ整理） 第7回 概念学習（レポート執筆指導） 第8回 まとめと発展的学習に向けて **【学生へのメッセージ】** この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会となればと考えています。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	宮城学習センター		
学習センターコード	04A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験1**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	カワチ　ヨウスケ 河地　庸介 東北大学大学院文学研究科准教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	宮城学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 ２．OSの指定 Windows、もしくはmacOS。 ３．ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Microsoft Word（サポート期限の切れていないバージョン）が必要です。 ・Microsoft Excel（サポート期限の切れていないバージョン）が必要です。 ＊一部Web版のExcelでは使用できない機能を授業内で用いることがありますので、デスクトップ版のExcelをご準備ください。 ４．その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でのレポート提出を希望する場合は、学習センターにはプリンタが設置されていないため、自宅またはコンビニ等であらかじめ印刷のうえご提出ください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会 認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312） **【その他（特記事項）】** 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
		授業概要	

科目コード	2689731
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	HK
科目名	**学びと教育の歴史**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	ヤクワ　トモヒロ 八鍬　友広 放送大学特任教授／宮城学習センター所長
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。

日本における文字の教育の歴史についての講義です。文字は人間の能力を拡張するうえでなくてはならない道具です。とくに人間の認知能力を助ける道具として、文字は現在も最強の道具となっています。このような文字が日本のなかでどのように普及してきたのかということについて講義します。文字の習得のためには教育と学習が必要となりますが、日本においてどのような教育と学習が行われてきたのかについてもお話ししたいと思います。

【到達目標】

日本における文字の読み書き、およびその教育についての歴史を理解し、その特質を説明することができる。

【授業テーマ】

第1回 学びと教育
第2回 識字と人間
第3回 日本における文字
第4回 往来物の世界
第5回 寺子屋の世界
第6回 識字の歴史的展開
第7回 ノートと鉛筆と学校
第8回「教室」というテクノロジー

【学生へのメッセージ】

講義のなかでは、江戸時代の日本の識字率は世界一だった、などということが言われることもありますが、それが本当なのかについてもお話ししたいと思います。学びの歴史を学ぶことで、人間と学びの関係をより深く考察していただければと期待しています。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

ノートや筆記用具

【教科書】

教科書は使用しません。

【参考書】

・読み書きの日本史（八鍬友広（著）／岩波新書／¥1,166／ISBN=9784004319788）

科目コード	2689731	**授業概要**	**【授業内容】** **--------------------------------** **この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。** **科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。** **HK　→　学習センター** **HL　→　自宅等（Zoom）** **本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項を記載しています。** **【受講前の準備学習】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を必ずご確認ください。** **※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。** **--------------------------------** 日本における文字の教育の歴史についての講義です。文字は人間の能力を拡張するうえでなくてはならない道具です。とくに人間の認知能力を助ける道具として、文字は現在も最強の道具となっています。このような文字が日本のなかでどのように普及してきたのかということについて講義します。文字の習得のためには教育と学習が必要となりますが、日本においてどのような教育と学習が行われてきたのかについてもお話ししたいと思います。 **【到達目標】** 日本における文字の読み書き、およびその教育についての歴史を理解し、その特質を説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 学びと教育 第2回 識字と人間 第3回 日本における文字 第4回 往来物の世界 第5回 寺子屋の世界 第6回 識字の歴史的展開 第7回 ノートと鉛筆と学校 第8回「教室」というテクノロジー **【学生へのメッセージ】** 講義のなかでは、江戸時代の日本の識字率は世界一だった、などということが言われることもありますが、それが本当なのかについてもお話ししたいと思います。学びの歴史を学ぶことで、人間と学びの関係をより深く考察していただければと期待しています。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。 Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	宮城学習センター		
学習センターコード	04A		
クラスコード	HL		
科目名	**学びと教育の歴史**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	ヤクワ　トモヒロ 八鍬　友広 放送大学特任教授／宮城学習センター所長		
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	この授業は、【自宅等（Zoom）】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** ノートや筆記用具 マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・読み書きの日本史（八鍬友広（著）／岩波新書／¥1,166／ISBN=9784004319788） **【その他（特記事項）】** Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。なお、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに１時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、４～５時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。なお、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。 なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689146
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヤマカワ　イツキ 山川　樹 東北文化学園大学現代社会学部准教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

科学としての心理学は、「私がそう思うから」というような直感や主観に基づく議論とは異なり、データに基づいた実証が重視されます。そして、その実証手法の一つには実験があります。この授業では、心理学の２つの実験研究を取り上げて、その前提となる知識と、実験的手法を用いた実証とその報告の仕方について、一連の手続きを基礎的に学びます。受講生の皆さんは､原則として8回の授業すべてに出席し､すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス（心理学における実験と報告書）
第2回 印象形成（中心特性の働き）
第3回 印象形成（中心特性の働き）
第4回 印象形成（中心特性の働き）
第5回 自由再生による記憶の系列位置効果
第6回 自由再生による記憶の系列位置効果
第7回 自由再生による記憶の系列位置効果
第8回 全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。
実験刺激の作成や結果の集計にはプレゼンテーション支援ソフト（Microsoft PowerPoint）や表計算ソフト（Microsoft Excel）を使用します。またレポートの執筆にはワープロソフト（Microsoft Word）を使用します。各ソフトの使用経験が全くなくても分かるように説明しますが、ある程度使い慣れていた方が望ましいです。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
必須ではありませんが余裕があれば以下のソフトの操作方法を確認しておいてください。Microsoft PowerPoint：スライドの新規作成、文字の挿入などの基本操作、Microsoft Excel：図の作成、罫線を引く、平均値や標準偏差を関数を用いて求める、Microsoft Word：Excelで作成した図表を貼り付ける、キーボードを使って文字入力がスムーズにできる等。
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　このほかに、文書作成ソフトとしてWord、表計算ソフトとしてExcel、プレゼンテーション支援ソフトとしてPowerPointを必要としています。Wordはレポート作成での利用を、Excelはデータの整理や統計的分析での利用を、PowerPointは実験刺激の作成を想定しています。Office365（オンライン）やタブレット版でも対応可能ですが、基本的な説明はPC用のデスクトップ版に基づいて行います。
４．その他
　マウスの使用を推奨します。
　ソフトのバージョン指定はありません。
　レポートは基本的にWordファイルで提出してもらいます。なんらかの事情により紙媒体でのレポート提出を希望する場合、学習センターにプリンタはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	マサメ　ケン 真覚　健 仙台青葉学院大学教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査は、パーソナリティや個人の諸特性を測定するために用いられます。この授業では、心理検査の概要について概説を行った上で、実際に心理検査を体験します。原則として８回の授業にすべて出席する必要があります。４つの心理検査実習、それぞれについて、体験した心理検査で理解したことをレポート（目的、方法、結果、考察から成る）にまとめていただきます。実際に心理検査を体験することで、心理検査についての理解を深め、合わせて、自己理解を深めます。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理検査の歴史と種類
第2回 質問紙法・投影法・作業検査法
第3回 信頼性と妥当性
第4回 心理検査実習１　特性的自己効力感尺度
第5回 心理検査実習２　バウムテスト、エゴグラム
第6回 心理検査実習３　YG性格検査
第7回 検査の解釈とテストバッテリー
第8回 心理検査における倫理

【学生へのメッセージ】
この実習は、検査者や被検査者体験を重視します。心理検査を実施する立場と実施される立場の両方を体験し、心理検査についての体験的理解を深めていただく機会になればと考えています。
心理検査について、問題意識を持ち、積極的な態度で受講してください。
「パーソナリティ（性格）」について、事前に調べておくと実習の理解がしやすいと思います。

【受講前の準備学習等】
「パーソナリティの特性論」と統計学の「正規分布」について受講前に学習しておいてください。その他は、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 ('24)」、「心理学研究法 ('20)」、「心理学統計法 ('21)」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、レポートにより行います。レポートの作成方法については、授業内で説明します。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、HBの鉛筆1本、電卓（スマートフォンアプリ等でも可）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ユウキ　ヒロヤ 結城　裕也 仙台白百合女子大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

科学としての心理学は、「私がそう思うから」というような直感や主観に基づく議論とは異なり、データに基づいた実証が重視されます。そして、その実証手法の一つには実験があります。この授業では、心理学の３つの実験研究を取り上げて、その前提となる知識と、実験的手法を用いた実証とその報告の仕方について、一連の手続きを基礎的に学びます。受講生の皆さんは､原則として8回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス（心理学における実験と報告書）
第2回 印象形成実験
第3回 印象形成実験まとめ
第4回 要求水準に関する実験
第5回 要求水準に関する実験まとめ
第6回 錯誤相関実験
第7回 錯誤相関実験まとめ
第8回 全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
授業内の実験ではPC（マウス等を利用しての操作が必要）を用います。全ての実験課題について、レポートの提出が求められます。
この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし､実習課題について､あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法('21)｣を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・PowerPointが必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンタはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	シバタ　ヒロシ 柴田　寛 東北文化学園大学医療福祉学部教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring　Your　Own　Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における実験的研究を3つ取り上げます。すべての実験に参加していただき、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、仮説設定、実験の方法、データ整理、考察のまとめ方について学びます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 レポートの書き方、鏡映描写①：実験実施
第2回 鏡映描写②：データ整理、レポート執筆指導
第3回 鏡映描写③：レポート執筆指導
第4回 視覚探索①：実験実施、データ整理
第5回 視覚探索②：データ整理、レポート執筆指導
第6回 視覚探索③：レポート執筆指導
第7回 ストループ効果①（文字の意味と文字の色との干渉効果）：実験実施、データ整理
第8回 ストループ効果②：レポート執筆指導、まとめ
【学生へのメッセージ】
この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。統計的仮説検定（特にｔ検定、分散分析）を、インターネット等で調べておいてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法（'21)｣を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等)。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ)、Google Chrome（クローム)、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス)、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Wordが必要です。
　・Excelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョンの指定はありません。
　・紙媒体でレポートを提出される方は、学習センターにプリンタはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。メール添付での提出も可能です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2689740
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**商業の歴史**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	サイトウ　ヨシユキ 斎藤　善之 東北学院大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
歴史のなかで、商業の担い手である商人、商業の場である店や市場、商法や商いの慣行は、いつどのように誕生したのでしょうか。この講義では商業の誕生を原始から中世までの歴史にたどり、商業の本質と商人の原点について考察します。
【到達目標】
歴史において商人・店・市場・商法や商慣行などが、いつどのように誕生しその後中世までどのように発達を遂げていくかを理解し説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 商業以前の社会　旧石器時代（グレートジャーニー）
第2回 交換のめばえ　新石器時代（定住生活の始まり）
第3回 交換の始まり　農耕と文明　弥生時代（農耕の始まり）
第4回 市場の誕生　古代（平城京の市）
第5回 貨幣の誕生　古代（皇朝十二銭）
第6回 店舗の出現　中世（のれんと看板の歴史）
第7回 徳政と楽市　戦国時代（徳政と楽市）
第8回 商業神の世界（七福神とは）
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
また、各授業の（キーワード）について、事前に調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・仙台・江戸学叢書42　仙台城下への肴の道（斎藤善之／大崎八幡宮／¥600）

科目コード	2689758
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**日本経済入門**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	310
定員	25名
担当講師	タカウラ　ヤスナリ 高浦　康有 東北大学大学院経済学研究科准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
現代の日本経済について基本的な知識を得ることをめざします。私たちの暮らしに直結する経済システムを理解することで、生活者として賢く生きる知恵を身につけ、市民として望ましい政策を行う政治を選択する力を養いたいと思います。また複雑な経済のメカニズムを読み解く「経済学」の面白さにふれ、知的好奇心を高めてもらうこともねらいとします。
【到達目標】
日本経済についてマクロ経済指標を用いて概要を理解できる。財政・金融政策のしくみ、株式や為替のメカニズムについて基本的な理解ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 日本経済の概況
第2回 GDPと経済成長率
第3回 財政政策と金融政策
第4回 金融のしくみ（銀行の機能と役割、間接金融と直接金融、日銀の機能）
第5回 株式のしくみ①（株式制度、株式市場と株価指標）
第6回 株式のしくみ②（株価形成のモデル、株式会社の財務分析）
第7回 世界経済とのつながり（外国為替のしくみ、変動相場制と貿易不均衡）
第8回 まとめとディスカッション
【学生へのメッセージ】
難しい数式は出てきません。とくに予備知識がなくても理解できるレベルです。ただし続々とインプットされる多くの知識を自分なりに整理する力は求められるかと思います。
【受講前の準備学習等】
新聞記事の経済面について、分かる範囲で意識的に目を通してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆またはシャープペンシル（試験用）。試験時の教科書、授業資料、電卓等の持ち込み可（PCやスマートフォン等の通信デバイスは生成AIの利用を防ぐ観点から試験時の持ち込み不可）。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・今までで一番やさしい経済の教科書　最新版（木暮太一／ダイヤモンド社／¥1,430／ISBN=9784478064948）
2015年版を記載していますが、最新版が講義前に出版された場合は切り替えていただいて結構です。

科目コード	2689766	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、災害への対応について見ていくなかで、われわれの暮らす社会のあり方を考えていきたいと思います。近年、日本全国で大規模災害が頻発しており、被災者の生活再建や被災地の復興、さらに今後起こるとされている災害への備えとして防災・減災に向けた取り組みが求められています。そのこと自体は必要なことですが、その対応の仕方が新たな問題を生み出していることも事実です。そのためこの授業では、過去に生じた災害とそれへの対応を見ていくことから、われわれの社会のあり方を見つめ直したいと思います。 **【到達目標】** ・災害社会学に関する基本的な知識を理解することができる。 ・過去の災害とそれへの社会の対応を理解することができる。 ・過去の災害対応から、われわれが生きる社会の課題を見つめ直すことができる。 **【授業テーマ】** 第1回 災害社会学の基礎知識 第2回 避難行動と移動 第3回 防災と共助 第4回 災害とボランティア 第5回 被災者の生活再建 第6回 被災地の復興 第7回 都市社会と災害 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 授業中においてはディスカッションなども行います。積極的に参加していただければと思います。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して、新聞記事やインターネットの記事など情報を入手してください。 学修した内容に関しては、授業中に紹介した参考文献などをもとにさらに理解を深める努力をしてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	宮城学習センター		
学習センターコード	04A		
クラスコード	K		
科目名	**災害と社会**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	タカキ　リョウスケ 高木　竜輔 尚絅学院大学教授		
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00		
実施会場	宮城学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 各回の授業資料(ハンドアウト)は基本的に配付します。筆記用具をもとにメモをとってください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689774
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**人生100年時代のキャリア形成**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	オガタ　ミキ 小形　美樹 仙台白百合女子大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
人生100年時代において自身のキャリアを考えていこうとすると、人生の段階ごとの課題、社会動向や価値観の多様化、支援の仕組みなど、多様な視点や知識が必要なことに気づきます。この授業では、ライフコースの概念、社会経済環境の変化、雇用システム、個人のライフスタイル、社会参加、最近話題となっているリスキリングなどについて検討し、長寿社会におけるキャリアデザインについて考えていきます。
【到達目標】
①キャリアデザインの概念を理解し、キャリア教育やキャリア形成支援の必要性について説明することができる。
②人生100年時代におけるライフコースの概念、社会経済状況や雇用システムの変化、社会参加の意味などについて説明することができる。
③長寿社会における自分自身の将来のあるべき姿をイメージし、その姿に到達するための計画を立てることができる。
④自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や職業について説明できる。
⑤さまざまな職業について知り、仕事をする世界、社会を取り巻く環境を理解できる。
【授業テーマ】
第1回 主要なキャリア理論
第2回 ライフコースー人生の段階と段階ごとの課題
第3回 職業キャリアー雇用システムと働き方
第4回 家族生活とキャリア
第5回 キャリアと学びーリスキリングや社会参加
第6回 人生100年時代のライフキャリア
第7回 人生100年時代のキャリアの質
第8回 人生100年時代のキャリア戦略
【学生へのメッセージ】
受講生の理解度や興味等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがあります。これまで、そして、これからの自分のキャリアについて積極的に考えたい学生の受講を期待します。
【受講前の準備学習等】
グループワークやディスカッションも取り入れます。ご自身のキャリアについて、簡単に話せるように準備をしておいてください。お差し支えのない範囲で構いません。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日目に、のりとはさみをお持ちください。
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この授業では、担当教員が作成するスライドやプリントなどを資料として配付します。参考文献は必要に応じて紹介します。

科目コード	2689782
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**現代社会における NPO・NGO**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	オカダ　アヤ 岡田　彩 東北大学大学院情報科学研究科教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
ニュースで良く耳にする「ボランティア」や「非営利組織（NPO）」「非政府組織（NGO）」は、私たちが暮らす社会や日々の生活において、どのような意義を持つ存在として理解できるのでしょうか。本授業では、ご自身の経験や身近な活動の例を手掛かりに、理論の力を借りながら、この問いを考察していきます。これまで「当たり前」と捉えてきた前提や実践を、新たな観点から捉え直すことを目指します。
【到達目標】
・現代社会におけるボランティアとNPO・NGOの意義を、理論的な知見に基づき説明できるようになる。
・自身とボランティアやNPO・NGOとの関わりを、批判的に考察できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 はじめに　ーご自身の経験や身近な例を考える
第2回 ボランティア行動を説明する４つの理論
第3回 動機の語彙論から考えるボランティア行動
第4回 NPO・NGOとは？
第5回 政府・市場の失敗を補うNPO・NGO
第6回 Frumkinが提起する４つの役割から見たNPO・NGO
第7回 社会課題の捉え方を提起するNPO・NGO
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
事前の知識は必要ありません。授業内で行うアクティビティへの積極的な参加を期待します。
【受講前の準備学習等】
ボランティアやNPO・NGOについて、ご自身の経験や身近な例を意識的にふりかえってみてください。
【成績評価の方法】
成績評価はワークシートにより行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・NPOとは何か　～災害ボランティア、地域の居場所から気候変動対策まで（宮垣元／中央公論新社／¥1,078／ISBN=9784121028099）

【その他（特記事項）】
スライドを資料として印刷して配付します。

科目コード	2689790
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**消費者と法**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	クリバラ　ユキコ 栗原　由紀子 尚絅学院大学総合人間科学系社会部門教授
日程 実施時間	12月26日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月27日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、消費者・生活者である私たちの日常生活に、法律がどのように関わるのかを理解した上で、消費者契約法、特定商取引法といった消費者取引に対応するために制定された各種特別法と、一般法たる民法が消費者問題にどのように適用されるのかということを学び、問題解決に向けて考察していく能力を身につけることを目的とします。
【到達目標】
・消費者問題がどのような問題で、なぜ消費者問題が発生するのか理解できる。
・消費者契約法、特定商取引法、製造物責任法、割賦販売法等の消費者問題に対応するために制定された各種特別法について、その法の目的、制度趣旨、基本原則、要件・効果等、法律の基本知識を身につけることができる。
【授業テーマ】
第1回 消費者問題と消費者法
第2回 消費者の安全確保と製造物責任
第3回 消費者契約の問題（1）不当な勧誘と消費者契約法
第4回 消費者契約の問題（2）不当な契約条項と消費者契約法
第5回 特定商取引（1）不招請勧誘（訪問販売等）とマルチ商法・内職モニター商法
第6回 特定商取引（2）通信販売・デジタル取引
第7回 クレジット契約と割賦販売法
第8回 事例問題の演習と検討（まとめと今後の展望）
【学生へのメッセージ】
法律学習の経験がない方にも理解できるよう配慮して授業を進めます。日常生活に潜むさまざまなトラブルについて法的にどのように解決できるかを考えていきたいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・基本講義　消費者法　第6版（中田邦博、鹿野菜穂子（編）／日本評論社／¥3,300／ISBN=9784535528680）

科目コード	2689804	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、現代の哲学、倫理学の知見をもとにして、ものごとを捉える際の基本的な二つの仕方について説明します。ものごとは「外側から捉えること」と「内側から捉えること」が可能であり、これら二つの捉え方は、様々な学問の原点に位置するのみならず、わたしたちの日常生活においても重要な役割を果たしています。こうしたことを踏まえて、本講義では、倫理の原点すなわち「なすべきこと」や「生きる意味」について大本から考えるための、基本的な思考の態度を得ることを目指します。 **【到達目標】** 物事の把握の仕方には基本的に二種類あることを理解し、それをもとに、「善」とはなにか、そして「悪」とはなにか等を考える際の、最も基本的な思考の枠組み（あるいは道具）を得ることができるようになる。ヴィクトール・フランクルのいう「生きる意味」をもとにして、「どのように生きるべきか」ということについて主体的に考えることができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 外側から捉えること、内側から捉えること 第2回 外側から捉えること、内側から捉えること 第3回 外側から捉えること、内側から捉えること 第4回 存在と所有 第5回 存在と所有 第6回 思考の枠組み 第7回 思考の枠組み 第8回 まとめ ―V.フランクルの思想を軸に― **【学生へのメッセージ】** 授業は概論的なものですので哲学や倫理学の知識がなくても理解できます。受講に際しては「自ら考えること」を念頭に置くようにしてください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価はレポートの評点により行います。
学習センター	宮城学習センター		
学習センターコード	04A		
クラスコード	K		
科目名	**倫理原論**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	トシマ　キヨシ 戸島　貴代志 東北大学名誉教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	宮城学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・ほんとうのことば（戸島貴代志／東北大学出版会／¥2,750／ISBN=9784861633553）

科目コード	2689812	**授業概要**	**【授業内容】** 昔は「教養」のために西洋の古典文学（例えばシェイクスピアとかドストエフスキーとか）を翻訳で読むということがありましたが、今はそういう習慣もすたれました。しかし逆に、全くゼロの地点から先入見なしに読んでみると、古典と呼ばれる作品から意外な面白さを発見することもあります。この授業では、幾つか有名な作品を取り上げながら、西洋文学のおおまかな歴史的変遷をたどり、その文化的意味や魅力について考えてゆきます。関連する映像も取り上げ、物語自体に親しみを持っていただくよう工夫するつもりです。 **【到達目標】** 古代から現代にいたる西洋文学の歴史の概要を学び、幾つかの作品の内容に触れることを通じて、古典的な文学の持つ魅力の一端を感じ取ると同時に、文学が各時代の社会において果たしていた文化的役割やそこに描かれる人間観や価値意識の変遷について、おおまかな歴史的見取り図を描くことができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 文学とは何か、西洋文学史の概要 第2回『オイディプス王』と古代ギリシア文明 第3回 中世から近世にいたる歴史と文学 第4回『ハムレット』と各国文化の形成 第5回 近代社会の発展と「小説」の成立 第6回『高慢と偏見』から19世紀リアリズムへ 第7回 20世紀文学とその時代 第8回 ディスカッションとまとめ **【学生へのメッセージ】** 文学は知識や教養のためにではなく、なによりも楽しみのために読むものです。なにか面白い世界がそこに開けているかもしれないという期待（わくわく）をもって本の前に立てるかどうかが鍵です。 **【受講前の準備学習等】** 授業の初日に短いレポートを宿題にし、二日目の最後にこれをもとにディスカッションを行う予定です。ご自分で関心のある西洋文学の作品を事前に読んでおき、その作品についての感想・分析をレポートに書いていただくといいでしょう。小説・戯曲・詩などジャンルは問いません。短い作品で結構です。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	宮城学習センター		
学習センターコード	04A		
クラスコード	K		
科目名	**西洋文学へのいざない**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	モリモト　コウイチ 森本　浩一 東北大学教養教育院総長特命教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	宮城学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・世界文学の古典を読む（放送大学教材）（村松真理子・横山安由美／放送大学教育振興会／¥3,850／ISBN=9784595321887） ・ヨーロッパ文学の読み方――近代篇（放送大学教材）（沼野充義・野崎歓／放送大学教育振興会／¥2,640／ISBN=9784595319280） いずれも、購入の必要はありません。図書室などで探してみてください。具体的な作品にそくして文学の読み方を教える優れた内容ですが、初心者には少し難しいかもしれません。この授業は、こうした教材への準備段階のものと考えていただくといいでしょう。

科目コード	2689820
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**現代倫理学の基礎**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	ムラヤマ　タツヤ 村山　達也 東北大学教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
「何が善いことで、何が悪いことなのか」「善悪など人それぞれではないのか」「幸福とは何か」「道徳と幸福にはどんな関係があるのか」……。こうした、人間の生き方の価値をめぐって生じるさまざまな問題について、できるかぎり明確に、理論的に答えようとするのが倫理学です。この講義では、現代倫理学の基礎知識や、そこで用いられる基礎的な思考法について学びます。
なお、現代の倫理学に特化しますので、倫理学史的な側面については必要な範囲で触れるにとどまります。また、理論的な問題に特化しますので、いわゆる応用倫理学の問題はほとんど扱いません。

【到達目標】
(1) 現代倫理学の基礎知識（基本的な問題と主要な回答、ならびに重要な反論）を身につける。
(2) 倫理学が用いる方法についての基礎知識を身につける。
(3) 倫理学的な問題設定や考え方が自分でもできるようになる。

【授業テーマ】
第1回 導入：道徳的相対主義の検討―善悪は人それぞれなのか
第2回「何が善いことか」への答え１：義務論
第3回「何が善いことか」への答え２：功利主義
第4回 受講者からの質問への応答
第5回「何が善いことか」への答え３：徳倫理学
第6回 幸福とは何か
第7回 受講者からの質問への応答
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
第一回、第二回、第三回、第五回、第六回授業の最後にアンケートで質問を募り、授業理解に資するものを選んで、第四回、第七回授業で、質問者や他の参加者とやりとりしつつ答えます。

【受講前の準備学習等】
事前配付資料その１を繰り返し読み、倫理学の話題に親しんでおいてください。さらに進んだ事前学習を希望される場合は事前配付資料その２をお読みください（やや進んだ内容なので、受講後の復習に用いるくらいがちょうどよいかもしれません）。ただし、講義は予備知識を前提としませんので、事前配付資料を難しく感じられたとしても受講に問題はありません。なお、どちらの資料でも、動物愛護や工場畜産の是非が検討対象となっています。残酷な描写などはありませんが、論争的な話題ではありますので、念のために注記しておきます。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・動物からの倫理学入門（伊勢田哲治（著）／名古屋大学出版会／¥3,080／ISBN=9784815805999）
・これからの「正義」の話をしよう（マイケル・サンデル（著）／早川書房（ハヤカワ・ノンフィクション文庫）／¥1,386／ISBN=9784150503765）
・幸福とは何か（森村進（著）／筑摩書房（ちくまプリマー新書）／¥1,034／ISBN=9784480683298）

【その他（特記事項）】
書き込み式の講義プリントを用意します。PDFで配付も可能ですが、最後の試験では印刷した講義プリントのみを持ち込み可としますので、授業内容はプリントに手書きで記入されることをお勧めします。

科目コード	2689839
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**藤原清衡と文学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	サクラ　ヨシヤス 佐倉　由泰 東北大学大学院文学研究科教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
中尊寺、毛越寺等でよく知られる平泉文化を築いた奥州藤原氏の人々、特に初代の清衡に注目し、『陸奥話記』、『後三年記』、『吾妻鏡』所載「寺塔已下注文」、「中尊寺供養願文」等を読んで、それぞれの記述の内容と、文学的特質、文化的意義を考えます。漢文、古文で書かれた原文をできるだけわかりやすく丁寧に読み解くなかで、平泉文化の奥深さに触れることをめざします。
【到達目標】
文学表現を丁寧に捉えて、記述内容や、時代相、筆者の思考を幅広く深く理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 前九年合戦が起こる前の奥羽
第2回 藤原経清と前九年合戦―『陸奥話記』の記述から―
第3回 藤原清衡と後三年合戦―『後三年記』の記述から―
第4回 藤原清衡と説話・往生伝―『古事談』、『十訓抄』、『三外往生記』の記述から―
第5回 藤原清衡と『吾妻鏡』所載「寺塔已下注文」（1）
第6回 藤原清衡と『吾妻鏡』所載「寺塔已下注文」（2）
第7回 藤原清衡と「中尊寺供養願文」（1）
第8回 藤原清衡と「中尊寺供養願文」（2）
【学生へのメッセージ】
藤原清衡をめぐるさまざまな記述を文学作品として読み解くなかで授業を進めます。奥州藤原氏にかかわる歴史と文化への強い関心を持って臨んでもらえると、授業の内容についての理解がいっそう深まると思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容も参考にして関係する書籍等を読むことを通して、奥羽の安倍氏、清原氏、藤原氏にかかわる、前九年合戦、後三年合戦、文治五年奥州合戦や、平泉文化についての知識を事前に蓄えて授業に臨んでください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
授業全体で、合計4 回、授業の内容に関して考えたことを書いて提出してもらいます。その第4回目は、10月29日（日）の第4時限の授業に続いて、まとめのレポートとして記述していただきます。他の3回は、それぞれ15分程度の時間を設ける中で、授業内容についてのコメントとして書いてもらいます。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・人文社会科学講演シリーズⅣ　東北人の自画像（三浦秀一 編／東北大学出版会／¥1,650／ISBN=9784861631313）
本書に収められている４編の論考のうち、佐倉由泰「藤原清衡と文学」（41–85ページ）が授業の内容にかかわります。機会がありましたら、適宜御覧ください。

科目コード	2689847
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**「偽史」からみる東北論**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	カワウチ　アツシ 川内　淳史 東北大学災害科学国際研究所准教授／放送大学宮城学習センター客員准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、東北をめぐる「偽史」言説を歴史学の方法で読み解きます。まず「偽史」の概念と〈偽史的想像力〉という分析視角を提示し、近代日本における東北表象の成立を確認します。そのうえで、竹内文書・「キリストの墓」・東日流外三郡誌といった具体的な偽史・偽書を、それを生み出した時代の社会的・心理的文脈のなかに位置づけ、戦前から現代にいたる変容を追います。在野知識人・郷土史家・地域社会が偽史とどう向き合ってきたかにも目を向けながら、偽史はなぜ繰り返し生まれ受け入れられるのかを問い、歴史学の本質と現代的意義を考えます。
【到達目標】
〈偽史的想像力〉という概念を用いて、偽史が生成・受容される社会的メカニズムを説明できるようになる。各時代の具体的事例を比較・分析しながら、東北をめぐる歴史言説の変容を体系的に論じる力を身につける。また、偽史を単に排除すべき「嘘」としてではなく、歴史と社会の関係を照らし出す分析対象として捉える視点を獲得する。
【授業テーマ】
第1回 偽史とはなにか―〈偽史的想像力〉という分析視角
第2回 異境としての東北―偽史が生まれる土壌
第3回 辺境から原境へ―竹内文書と「深日本」としての東北
第4回 画家が創造した聖地―「キリストの墓」の誕生と変容
第5回 郷土史と偽史のはざまで―戦前東北のニギハヤヒ伝承
第6回「もう一つの日本」の形成―戦後東北史観と偽史の転換
第7回 失われたアラハバキ王国―東日流外三郡誌事件の真相と虚構
第8回 偽史という鏡―東北史の想像力と現代社会
【学生へのメッセージ】
偽史を「嘘の歴史」と笑い飛ばす前に、なぜその物語が人々を惹きつけたのかを考えてみてください。偽史を読むことは、歴史が社会の中でどのような役割を果たしてきたかを問い直すことであり、現代を生きる私たち自身を見つめ直すことでもあります。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2689855
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**幕末維新と東北**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	クリハラ　シンイチロウ 栗原　伸一郎 東北大学専門研究員
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
幕末維新期の人物・藩・事件は、歴史の教科書はもちろん、しばしば各種メディアでも取り上げられています。しかし、会津藩以外で、現在の東北地方の藩が取り上げられることは、必ずしも多くありません。この授業では、東北（当時は奥羽と呼ばれていました）の諸藩、特に仙台藩や米沢藩に注目しながら、藩の特徴や幕末期の政治過程、戊辰戦争などについて検討します。また、その際、「史料」の重要性についても考えてみたいと思います。
【到達目標】
①現在の通説を踏まえ、幕末維新期の政治過程や藩の特徴について理解し、説明することができる。
②地域の視点・視座に基づいて、幕末維新政治史を考察することができる。
【授業テーマ】
第1回 講義の概要
第2回 大名家の家格
第3回 仙台藩の自己認識
第4回 政治変動と公議①
第5回 政治変動と公議②
第6回 奥羽越列藩同盟
第7回 幕末維新政治史と史料
第8回 東北史から見る戊辰戦争
【学生へのメッセージ】
歴史の醍醐味は、さまざまな解釈ができることです。教科書やドラマに登場しない東北の姿を追っていきましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。博物館の展示を観覧する、高校の歴史の教科書を再読する、一般向け歴史書やインターネット等で調べてみる、などして、幕末維新と東北について考えてみると良いでしょう。事前に何らかの知識やイメージがあると、授業での学びも多くなります。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。レポートの課題は、第1回目の講義の際に発表します。なお、レポートは返却しません。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。毎時間、プリントを配付します。
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・東北史講義【近世・近現代篇】（東北大学日本史研究室（編）／筑摩書房／¥968／ISBN=9784480075222）
・幕末維新史への招待　全国諸藩編（町田 明広（編）／山川出版社／¥1,980／ISBN=9784634152533）
・日本近世の歴史〈6〉明治維新（青山 忠正（著）／吉川弘文館／¥3,080／ISBN=9784642064347）
・仙台市史　通史編5　近世3／仙台市史　通史編6　近代1（仙台市史編さん委員会（編）／仙台市／¥3,143）
書店では購入できないため、図書館等で御覧ください。

科目コード	2689863
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**機械学習のアルゴリズム**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	310
定員	25名
担当講師	スズキ　アキラ 鈴木　顕 東北大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
機械学習は世界的に着目されており、既存のライブラリ等を使用すれば誰でも簡単に機械学習ができるようになりました。では、そのライブラリの中では実際にどのような計算が行われているのでしょうか？本授業では、機械学習をより良く利用する上で重要な、いくつかのアルゴリズムを学びます。
【到達目標】
・機械学習にできることの限界を説明できる。
・機械学習の結果を適切に解釈・評価できる。
・典型的なアルゴリズムの原理を説明できる。
【授業テーマ】
第1回 機械学習とアルゴリズム
第2回 分類
第3回 回帰
第4回 クラスタリング
第5回 自然言語処理
第6回 検証
第7回 深層学習
第8回 強化学習
【学生へのメッセージ】
数学・プログラミングの知識は必要ありません。
【受講前の準備学習等】
教科書を読んで予習をしてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
レポートを電子的に提出したい場合はノートパソコンやスマートフォン等を持参してください。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
【教科書】
・機械学習アルゴリズム（鈴木顕／共立出版／¥2,860／ISBN=9784320125179）

科目コード	2689871
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**素数は「いくつ」あるか**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	サトウ　アツシ 佐藤　篤 東北学院大学情報学部准教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
素数の定義や性質について復習した後、素数の「分布」について解説します。素数が無数に多く存在することは容易に示せますが、素数の現れ方にはこれといった規則性は見られず、与えられた範囲における素数の個数を正確に求めることは極めて困難です。しかしながら、素数の個数の漸近的な振る舞いについては「素数定理」というものが知られています。講義では、素数定理そのものの証明は述べませんが、チェビシェフによる「誤差」つきの定理を初等的に証明します。

【到達目標】
・整数が一意的に素因数分解されることの根拠を説明できるようになる。
・素数が無数に多く存在することの根拠を説明できるようになる。
・素数の分布と対数関数の関係を説明できるようになる。
・素数定理の内容を説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 素数と素因数分解
第2回 自然対数と調和級数
第3回 素数は無数にある
第4回 特殊な形の素数
第5回 素数は「どのくらい」たくさんあるか
第6回 π（x）と x/log x の比較 Ⅰ
第7回 π（x）と x/log x の比較 Ⅱ
第8回 そして素数定理へ

【学生へのメッセージ】
素数の性質については、中学校や高等学校で学んだ経験があることと思います。しかし、それらが成り立つ「根拠」については習っていないのではないでしょうか。講義では、歴代の数学者による多彩な証明（＝アイデア）をお楽しみください。

【受講前の準備学習等】
・素数の定義や性質について、これまでに習ったことを復習しておいてください。
・指数・対数の定義や基本的な性質について復習しておくことをお勧めします。
・二項係数の定義や基本的な性質について復習しておくことをお勧めします。
・「素数定理」について、インターネット等を利用して調べておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689880
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	K
科目名	**専門知としての科学と現代社会**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	25名
担当講師	ハラ　サク 原　塑 東北大学大学院文学研究科准教授 ウチダ　マリカ 内田　麻理香 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構科学技術インタープリター養成部門特任准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	宮城学習センター

授業概要

【授業内容】
科学的知識は現代社会を運営する上で不可欠ですが、それを正しく理解し、適切に活用するためには専門的技量を必要とします。その意味で、科学はだれにでも簡単に扱えるものではありません。他方で、現代の民主主義社会において、すべての人が、程度の差こそあれ、社会の運営に参加しています。この授業では、科学を現代社会の中でどのように活用すればよいかを考えます。

【到達目標】
現代社会において科学技術と一般の人々が持っている多様な関わりを理解し、それに基づいて、信頼できる科学の専門家を見分け、日常生活の中科学を適切に利用し、楽しむことができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション（原）
第2回 学術会議と軍事研究（原）
第3回 科学と文化（内田）
第4回 日常生活と科学（内田）
第5回 震災後の科学コミュニケーション（原）
第6回 コロナ禍と公共性（原）
第7回 欠如モデル（内田）
第8回 まとめ（内田）

【学生へのメッセージ】
特に前提知識を必要とする授業ではありません。気楽にご参加ください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・科学との正しい付き合い方（内田麻理香／ディスカヴァー・トゥエンティワン／¥1,320／ISBN=9784887597938）
電子書籍（Kindle）のバージョンが存在します。

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。

科目コード	2689014
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	9名
担当講師	ササキ　ヨシヒロ 佐々木　芳宏 秋田大学情報データ科学部准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:50 12月13日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【到達目標】
パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
第2回 文書作成とPDF保存
第3回 Webとメールの活用
第4回 セキュリティ
第5回 システムWAKABA・自己学習サイト
第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス
第7回 オンライン授業の実践
第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）

【学生へのメッセージ】
基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】
「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリ　（※市販されている一番安価な物で結構です。）
学生証　（授業内でログイン操作を伴う実習がありますので、必ずお持ちください。）

【教科書】
・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
授業当日に配付します。

【参考書】
・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF/ダウンロード方法は授業で説明します。／放送大学／¥0）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
（履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。

科目コード	2689898
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**朝鮮語初歩：ハングルの読み書き**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	24名
担当講師	タカムラ　リョウヘイ 髙村　竜平 秋田大学教育文化学部准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
韓国語（朝鮮語）の初歩の授業として、ハングル文字の読み方と書き方、および基礎的な発音変化と簡単な文章をまなびます。発音をマスターし、最後の時間には簡単な文章であいさつと自己紹介ができるようになることをめざします。

【到達目標】
・ハングル文字を書き、基本的な発音の変化まで含めて、読むことができる。
・簡単なあいさつをすることができる。

【授業テーマ】
第1回 ハングルとはどんな文字か、基本母音の書き方と読み方
第2回 複合母音の書き方と読み方
第3回 基本子音の書き方と読み方（1）
第4回 基本子音の書き方と読み方（2）
第5回 激音・濃音の書き方と読み方
第6回 パッチムのしくみと読み方
第7回 発音の変化
第8回 簡単な文章で自己紹介をする

【学生へのメッセージ】
韓国語は文法的に日本語との共通点が多く、また漢字語もひんぱんに使用されます。今後韓国語学習を続けるためにも、また韓国旅行や韓国ドラマをみるためにも「読んで書く」ことができればかなりのアドバンテージになることが期待できます。

【受講前の準備学習等】
日常生活の中で韓国語やハングル文字に触れる機会も増えてきました。ハングル文字の画像や掲載事例を集め、写真にして整理してください。授業の中で随時報告してもらいます。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書
筆記用具

【教科書】
・音と文字がつながる　はじめてのハングルレッスン（イ・ダヒ／アルク／¥1,540／ISBN=9784757440777）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2689901
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**子供の社会参加のための疾患理解**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	48名
担当講師	キモト　ミノル 木元　稔 秋田大学大学院医学系研究科助教
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
障害がある子どもの社会参加を促すためには、周りの人々が病気や障害について理解するだけでなく、“子ども”についての理解を深めることが重要です。子どもが遊びを通し楽しみを見つけ、友達と過ごすような、子どもにとって当たり前の社会参加を促すためには、子どもの家族を支援をすることも必要です。本講義は、子どもの理学療法の対象となっている代表的な疾患と介入方法について解説することを通し、小児リハビリテーションについての理解を深めることを目的とします。

【到達目標】
・子どものリハビリテーションについて、代表的な疾患な疾患とその理学療法を説明するができる。

【授業テーマ】
第1回 療育
第2回 脳性麻痺児のための理学療法
第3回 低出生体重児のための理学療法
第4回 重症心身障害児のための理学療法
第5回 ダウン症候群児のための理学療法
第6回 筋ジストフィー症児のための理学療法
第7回 発達障害児のための理学療法
第8回 療育におけるトピックス

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・小児理学療法学（藪中 良彦（編集）、木元 稔（編集）、坂本 仁（編集）／メジカルビュー社／¥5,280／ISBN=9784758320078）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2689910
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**日本絵画入門 ー狩野派を軸にー**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	サカモト　ヒデトシ 坂本　英駿 秋田大学教育文化学部助教
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
日本絵画に興味はあるけれど、学ぶ「きっかけ」がない人も多いと思います。この授業は、日本絵画について講義と実践（実技）の両方から学ぶ入門編であり、初心者向けの授業です。日本絵画の大きな流れを、狩野派を軸に、時代の流れに沿って学びます。理論的な面から日本絵画について学んだ後は、古の絵師の筆法を紹介し、同じように「筆」を持ち、「硯」で「墨」を磨り、「和紙」に描く事を体験してもらいます。また、授業内では伝統的な古典技法（裏彩色、箔を用いた技法、垂らし込み、など）に関する実験サンプルを手に取って見てもらったり、画材（和紙、顔料、筆、墨、など）も紹介します。

【到達目標】
・日本絵画の大きな流れを学ぶと共に、日本絵画の伝統的な技法（主に筆法）を体験して、理論と実践の両方を通して理解を深める。
・理論では、時代毎の日本絵画の特徴について時代背景をふまえて説明する事ができるようになる。
・実践では、伝統的な技法を学び、その技法に基づいた表現を行う事ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 日本絵画の流れ（1 大和絵の隆盛と狩野派の誕生）
第2回 日本絵画の流れ（2 戦国時代の狩野派と他派）
第3回 日本絵画の流れ（3 江戸狩野派と江戸絵画）
第4回 日本絵画の流れ（4 近代日本画へ、「日本画」の誕生）
第5回 日本絵画の実践（日本絵画の技法とその実践）
第6回 日本絵画の実践（日本絵画の技法とその実践）
第7回 日本絵画の実践（日本絵画の技法とその実践）
第8回 日本絵画の流れ（最後に 現代日本画と秋田の絵画、まとめ）

【学生へのメッセージ】
日本絵画史の知識や実践（実技）の経験がなくても安心してご参加下さい。筆の持ち方から描き方まで丁寧にサポート致します。多くの絵師や作品を紹介するので、日本絵画における自身のお気に入りを見つけてみて下さい。

【受講前の準備学習等】
ご自身が日本絵画の何に興味があるのかを考えておいてください。美術館に行ったり、画集を見るなど、日頃から意識する機会を増やしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
（1）筆記用具、（2）ノート、メモ帳など（当日は、内容をまとめたプリントを配布します。そちらにメモしてもらっても結構です。）、（3）空のペットボトル（2日目、筆を洗う為に水を入れて使用します。）、（4）2日目の実践では、主に「墨」を使用します。汚れても良い服装で参加して下さい。（エプロンなどを準備して頂いても結構です。）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
本授業は、授業者と受講者とで対話をしながら進めていきます。2日目の実践で使用する画材はこちらで準備しますが、空のペットボトルを持参して下さい。実践で描いたものは、各自でお持ち帰り下さい。
後日提出のレポートは、wordのデータでも良いですし、wordのデータをプリントアウトしたものでも良いですし、手書きのものでも結構です。（レポート提出については、当日にあらためて周知します。テーマ、提出期限、等。）

科目コード	2689928	授業概要	【授業内容】 食と健康に関する情報は増加の一途を辿っていますが、これらを科学的知識に基づいて自ら考えて理解・評価することが求められています。本授業では、食品に含まれる栄養素や成分の働きを理解することを通して、栄養学を体系的に理解することを目的とします。さらに、様々な生活習慣病を予防し健康増進を目指すには、食生活をどのように栄養学的に分析すればよいのかを考察していきます。 【到達目標】 ・栄養学の基本的考え方とエネルギー ・各栄養素の摂取基準を理解する。 ・栄養素の代謝を理解するための生化学の基礎を身につける。 ・五大栄養素の機能を分子レベルで説明できる。 ・食生活と生活習慣病との関わりなど、食と健康に関する最近の問題点を指摘・説明できる。 【授業テーマ】 第1回 栄養学の基礎となる考え方：食事摂取基準と食品成分表 第2回 炭水化物・糖質の栄養学 第3回 タンパク質の栄養学 第4回 脂質の栄養学：必須脂肪酸バランス 第5回 脂質の栄養学：コレステロール 第6回 ビタミンの栄養学 第7回 ミネラルの栄養学 第8回 食生活の栄養学的理解に向けて 【学生へのメッセージ】 栄養学とは、食物中の成分の体内での働きを理解し、健康増進に役立てる学問です。そのため、高校の化学や生物の知識を基礎として活用します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	秋田学習センター		
学習センターコード	05A		
クラスコード	K		
科目名	**健康増進のための栄養学**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	イケモト　アツシ 池本　敦 秋田大学教育文化学部教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	秋田学習センター		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・田地 陽一（基礎栄養学 第5版／羊土社／¥3,190／ISBN=4758113777） ・奥山 治美（油の正しい選び方・摂り方―最新 油脂と健康の科学／農山漁村文化協会／¥2,090／ISBN=4540072455）

科目コード	2689936	授業概要	【授業内容】 私たちのカラダは私たちが食べたものから作られています。本授業では、健康を支える食生活について、食品学、栄養学、食品衛生学、調理学などの視点から、科学的根拠（エビデンス）に基づいて理解することを目的としています。現代社会においては、氾濫する多様な食と健康に関する情報を、主体的かつ批判的に受け止め、正しい情報を取捨選択し、適切に活用するための情報リテラシーを身に付けることが求められています。本授業を通して、日常の食選択を科学的に考える視点を養うことを目指します。 【到達目標】 ・食品成分や栄養素について、その役割を説明できるようになる。 ・食品表示や保健機能食品を科学的根拠に基づいて適切に判断できるようになる。 ・食の安全性を確保することの重要性を正しく理解できるようになる。 ・自身の食生活を科学的視点から見直すことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 健康と食を科学的に考えるとは何か 第2回 食品の構成成分とその働き（一次機能） 第3回 食品の構成成分とその働き（二次機能） 第4回 食品の構成成分とその働き（三次機能） 第5回 食品表示を科学的に読み解く 第6回 食品安全の科学―生物的・化学的危害とリスク評価 第7回 生活習慣病と食事の関係 第8回 健康を支える食生活を科学的視点から見直す 【学生へのメッセージ】 世の中には健康や食の情報があふれ、科学的根拠が十分でないものも少なくありません。本科目では、食生活を科学的に学び、情報に振り回されない考え方を身につけ、日々の食選択や健康づくりに役立てることを目指します。 【受講前の準備学習等】 日頃の食生活や健康・食に関する情報に関心を持って受講してください。それらを意識することで、授業内容の理解が深まります。授業後は、日常の食生活や健康・食に関する情報と関連付けて整理してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	秋田学習センター		
学習センターコード	05A		
クラスコード	K		
科目名	**健康を支える食生活論**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	クマガイ　マサノリ 熊谷　昌則 聖霊女子短期大学教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	秋田学習センター		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 教科書は使用しません。

科目コード	2689944
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**がんと共に歩む、心理社会的支援**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	アカガワ　ユウコ 赤川　祐子 秋田大学大学院医学系研究科講師
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
日本人の2人に1人が生涯でがんに罹患するといわれています。もし自分や家族、周囲の人ががんになったら、どのように向き合い、支えることができるでしょうか。本科目では、がんの基礎知識や医療の基本を学ぶとともに、本人や家族の心理、仕事や社会保障、意思決定支援について理解を深めます。講義と事例検討を通して、日常にも活かせる心理・社会的支援のあり方を共に考えたいと思います。
【到達目標】
・がんの基礎知識およびがんと心理・社会的支援について理解できる。
・事例を通して、がんと共に生きる人々への心理・社会的支援のあり方を具体的に検討できる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション：　がんとは？　基礎知識と疫学
第2回 がん医療の基本（検査、副作用の理解、チーム医療など）
第3回 がんと心理（本人）
第4回 がんと心理（家族）
第5回 がんと仕事、社会保障など
第6回 がんと意思決定
第7回 がんと社会（支援制度、地域づくり）
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
本科目では講義だけでなく、事例検討や話し合いの時間も設けます。皆様のご経験や価値観も共有しながら、がんと共に生きる人々への心理・社会的支援について一緒に考えていきましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から、自己学習や情報収集に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689952
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**睡眠とメンタルヘルス**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	310
定員	48名
担当講師	アヤベ　ナオコ 綾部　直子 秋田大学教育文化学部講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
日本人は世界の中でも睡眠時間が最も短い国の一つとして知られています。みなさんは日ごろ、よい眠りがとれているでしょうか。本授業では、睡眠とメンタルヘルスに関する基礎的知識や、睡眠習慣の整え方について、理論と実践の両面から学びます。授業内では、不眠症の支援で用いられているカウンセリング（不眠症に対する認知行動療法）の考え方についても体験的に学びます。睡眠や心の健康に関心のある方であれば、どなたでも受講できます。前提知識は不要ですが、授業には簡単なロールプレイなどの参加型の学習を含みます。
【到達目標】
・睡眠の仕組みや睡眠に関する諸問題の基礎を理解し、こころの不調との関連を説明することができる。
・よい睡眠のための生活習慣や睡眠衛生について、日常生活を見直すポイントを挙げることができる。
・睡眠問題に対する認知行動療法の基本的な考え方を理解し、支援の考え方の枠組みを説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 睡眠のメカニズム
第2回 睡眠と生体リズム
第3回 睡眠を取り巻く問題
第4回 睡眠障害と精神疾患
第5回 睡眠と生活習慣・睡眠衛生
第6回 不眠症に対する認知行動療法①
第7回 不眠症に対する認知行動療法②
第8回 演習・まとめ
【学生へのメッセージ】
ご自身の睡眠習慣や日常生活を振り返りながら、睡眠について一緒に考えましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	22名
担当講師	ナカノ　ヨシキ 中野　良樹 秋田大学教育文化学部教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的実験（自由再生による記憶の系列位置効果、メンタルローテーション）を行います。それらの実験に、実験者及び被験者として参加し、その結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。学生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、行った実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
・心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
・実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験とは
第2回 自由再生による記憶の系列位置効果の実験
第3回 自由再生による記憶の系列位置効果のまとめ
第4回 心理学実験レポートの書き方と系列位置効果のレポート作成
第5回 メンタルローテーション―実験の実施
第6回 メンタルローテーション―データの集計
第7回 心理学における結果の表現と統計処理
第8回 全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
この授業では、自らが実験者や被験者となり心理学実験を進めていきます。実験やデータ処理はパソコン上で行われることもあり、基本的なパソコン操作（キーボード操作、マウス操作等）の技能が必要です。また、ワープロソフトや表計算ソフトを使用した、分析やレポートの作成も行いますので、これらのソフトの操作がひととおりできることが必要です。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
また、OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び提出されたレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコン又はタブレットを持参してください（スマートフォンは不可）。
２．OSの指定
　Windowsが必須です。
３．ソフトのインストール
　WordおよびExcelが必要です。
４．必要に応じてUSBメモリなども用意してください。また、マウスの使用を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・実験とテスト＝心理学の基礎（実習編）（心理学実験指導研究会／培風館／¥3,190／ISBN=9784563055455）

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689960
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**不登校とひきこもり支援**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	ヨン　ロザリン ヨン　ロザリン 秋田大学大学院医学系研究科助教
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:50 11月15日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、不登校およびひきこもりをめぐる概念の整理と、その背景にある発達的・心理的・社会的要因について検討します。両者の共通点と相違点を確認しながら、思春期の課題、精神疾患との関連、家族関係や地域社会の影響について多面的に理解を深めます。さらに、居場所支援や訪問支援などの具体的実践事例を取り上げ、支援の意義と課題を考察します。講義と受講生による発表を通じて、理論と実践を往還しながら理解を深めます。

【到達目標】
・不登校およびひきこもりの背景要因（発達・精神疾患・家族・社会的要因など）を整理し、それぞれの概念の違いや連続性を説明できるようになる。
・居場所支援や訪問支援などの具体的実践を踏まえ、支援の意義と課題について自らの考えを論理的に述べることができる。

【授業テーマ】
第1回 ひきこもり・不登校とは何か：定義と誤解
第2回 思春期という発達段階と不登校
第3回 精神疾患と不登校・ひきこもりの関連
第4回 思春期と精神疾患の混同が生む問題
第5回 地域社会における支援の役割
第6回 居場所（ibasho）介入の実際：ふらっとの事例
第7回 不登校・ひきこもり支援に「正解」はあるか
第8回 受講生発表：学びの整理と応用

【学生へのメッセージ】
不登校・ひきこもりを一面的に捉えず、多様な視点から検討します。安心して発言できる環境を大切にしますので、互いの意見を尊重しながら主体的に参加してください。

【受講前の準備学習等】
不登校およびひきこもりの定義や背景要因について、行政資料や文献、新聞報道等を用いて事前に調べ、基本的な用語（不登校、ひきこもり、発達障害、居場所支援など）を整理しておいてください。また、自身の関心や疑問点をまとめ、発表に向けて論点を構想してください。授業後は配付資料を見直し、発表内容を振り返って理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業後半に実施する口頭発表により行います。発表では、不登校・ひきこもりの概念や背景要因、支援実践について、授業内容を踏まえて整理し、自らの考えを論理的に説明できているかを評価します。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具および配付資料を整理できるファイル等を持参してください。口頭発表を予定しているため、事前に準備した発表メモや資料がある場合は持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・ひきこもりの理解と支援――孤立する個人・家族をいかにサポートするか（高塚雄介（著, 編集）／遠見書房／¥2,860／ISBN=4866161191）

【その他（特記事項）】
授業後半に口頭発表を予定しています。発表は理解を深める学習活動の一環です。互いの意見を尊重しながら学び合う姿勢を大切にしてください。

科目コード	2689979
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**秋田の伝統工芸を科学する**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	アダチ　コウジ 足立　幸司 秋田県立大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月29日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
秋田の伝統工芸には、長い年月の中で培われた知恵と技術が蓄積されています。本講義では、桶樽、曲げわっぱ、樺細工、川連漆器などを取り上げ、「なぜ木材は曲がるのか」「なぜ木桶は漏れにくいのか」「なぜ樺皮や漆は丈夫なのか」といった問いを手がかりに、その背景にある材料特性や構造上の仕組みを解説します。曲げ木の体験や組子細工づくりなどの演習も交えながら、木材の力学特性や接着・接合のメカニズムについて具体的に学びます。あわせて、秋田の森林資源や地域産業の現状にも触れ、伝統工芸が今後果たしうる役割について考察します。

【到達目標】
・伝統工芸の加工原理について、木材の力学特性や接着・接合の仕組みとの関係を具体例に基づいて説明できるようになる。
・森林資源や木工技術の変遷を時代背景や地域社会の状況と関連づけて整理し、伝統工芸の特徴を歴史的・文化的文脈の中で説明できるようになる。
・資源の持続的利用や地域産業の現状を踏まえ、伝統工芸が今後創出し得る価値について、自らの考えを論理的に述べることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 伝統工芸と地域資源―森と人をつなぐものづくり
第2回 木はなぜ曲がるのか―曲げわっぱの力学
第3回 木桶はなぜ漏れないのか―桶樽の仕組み（酒樽・ウィスキー樽）
第4回 木を活かす技術の進化―伝統工具からデジタル加工まで
第5回 樺細工の材料学―樹皮という機能材料
第6回 漆の科学―川連漆器にみる漆工の技術と進化
第7回 伝統工芸の現在と未来―持続可能性と産業の展望
第8回 秋田の伝統工芸はどこへ向かうか

【学生へのメッセージ】
本講義では、曲げ木や組子細工の体験を行い、木に触れながら伝統工芸の仕組みを学びます。木くずが付着することがありますので、汚れてもよい動きやすい服装でご参加ください。

【受講前の準備学習等】
■事前学習
秋田の代表的な伝統工芸（曲げわっぱ、桶樽、樺細工、川連漆器）について、製品の用途や特徴をインターネットや書籍等で調べておいてください。
■事後学習
授業で扱った各工芸の加工原理や材料特性について、配布資料や演習内容をもとに整理し、自分の言葉で説明できるよう復習してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・筆記用具
・汚れてもよい動きやすい服装（曲げ木や組子細工の体験を行います）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・木材学―基礎編（日本木材学会／海青社／¥2,600／ISBN=9784860994051）
木材科学を体系的にまとめた専門書である。本講義の内容をさらに深めたい受講者の参考となるが、数式や専門的記述も多い。
・木材学―応用編（日本木材学会／海青社／¥2,400／ISBN=9784860994068）
木材科学を体系的にまとめた専門書である。本講義の内容をさらに深めたい受講者の参考となるが、数式や専門的記述も多い。

科目コード	2689987	**授業概要**	**【授業内容】** エネルギーと人類社会の関係も含めて、我々の生活に不可欠なエネルギー問題から見た国際関係の有り様を明らかにします。とくに、エネルギーを巡り国家間が競い、そして対立する要因を理解し、その対立を緩和させる可能性について考えます。 **【到達目標】** この授業は、複雑化する国際関係をエネルギー問題を通して理解することを目的としている。新興国の台頭、ウクライナ危機のような国家間対立、気候変動問題などがエネルギー問題に及ぼす影響を理解し、また、その理解を通じて現在の国際関係の有り様を理解できる。具体的には国際関係の理解に必要な基礎的概念をエネルギーを通じて理解できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクションーエネルギー資源と社会の発展ー 第2回 エネルギー資源の国際関係のイシュー化ー地政学の登場 第3回 エネルギー資源の国際関係のイシュー化ー地政学の変化 第4回 石油危機と国際関係の変化ー資源が持つ国際関係への影響力 第5回 旧ソ連におけるエネルギー問題 第6回 環境問題とエネルギー①ー環境外交の出現 第7回 環境問題とエネルギー②ー気候変動とエネルギー転換 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** なるべく平易な説明を心がけますが、エネルギーに関するニュースや新聞記事に目を通しておいてください。 **【受講前の準備学習等】** レジュメや授業内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。なお、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、可能であれば参考書を入手して事前学習に活用してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	秋田学習センター		
学習センターコード	05A		
クラスコード	K		
科目名	**エネルギー問題から見た国際関係**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	イナガキ　フミアキ 稲垣　文昭 秋田大学大学院国際資源学研究科教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	秋田学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** メモがとれるものを持参してください。PC、ノート＆ペンなどは問いません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・資源地政学-グローバル・エネルギー競争と戦略的パートナーシップ（稲垣文昭、玉井良尚、宮脇昇／法律文化社／¥2,970／ISBN=9784589040596） ・よくわかる国際政治（広瀬佳一、小笠原高雪、小尾美千代／ミネルヴァ書房／¥3,300／ISBN=9784623099702）

科目コード	2689995	**授業概要**	**【授業内容】** 史跡秋田城跡は、奈良時代から平安時代にかけて出羽国（東北地方日本海側）に置かれた地方官庁であり、政治・軍事・文化の中心地でした。 本授業では、半世紀にわたる発掘調査成果に基づき、歴史学における「文献」と「考古」という二つの視点から、失われた過去をいかに復元するか、その方法論を学びます。 会場となる秋田城跡歴史資料館での座学に加え、展示品の「実見」や史跡公園の「踏査」といったフィールドワークを重視します。理論と実践を往還し、文化財が現代社会で持つ意義や、保存・活用のあり方について受講生と共に深く考察します。 **【到達目標】** ・歴史研究における文献史学と考古学の相互補完的な役割を理解し、その方法論を概説できる。 ・具体的な資料（遺構・遺物・文献史料）に基づき、史跡秋田城跡の本質的な価値を説明できる。 ・史跡の保存・活用の事例を通じ、現代社会における文化財の意義について、自身の言葉で論じることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 歴史研究の方法～文献史学と考古学～ 第2回 文献史料から読み解く秋田城 第3回 考古学から読み解く秋田城 第4回【フィールドワーク】秋田城跡歴史資料館の展示品の実見 第5回 文化財の保存と活用、史跡整備について 第6回【フィールドワーク】史跡公園の踏査 第7回 秋田城と古代地域社会 第8回 現代社会における文化財の意義～文化財はなぜ必要なのか？～ **【学生へのメッセージ】** 歴史学の本質は暗記ではなく、失われた過去を復元することです。そのプロセスは地道ですが、断片が繋がる瞬間には大きな興奮があります。秋田城跡を題材に、知的な復元作業の面白さを共に体験しましょう。 **【受講前の準備学習等】** 日本の古代史（飛鳥時代～平安時代）について、高校の教科書レベルの内容を復習しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	秋田学習センター		
学習センターコード	05A		
クラスコード	K		
科目名	**歴史研究の方法と史跡秋田城跡**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	カンダ　カズヒコ 神田　和彦 秋田市立秋田城跡歴史資料館主席主査		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	この授業は、【★秋田城跡歴史資料館（秋田市寺内焼山9番6号)】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具。２日目は史跡公園を散策するので、歩きやすい服装・靴。雨天時は雨具の持参。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・日本の遺跡12　秋田城跡　最北の古代城柵（伊藤武士／同成社／¥1,980／ISBN=9784886213600） ・秋田市史　第７巻　古代　史料編（秋田市／秋田市／¥6,000） 購入する場合は、下記URLを参照してください。 https://www.city.akita.lg.jp/shisei/akitashishi/1001703.html **【その他（特記事項)】** 秋田城跡歴史資料館の２日分の観覧料（300円）が必要です。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧 (P.5参照)）

科目コード	2690004	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、二つの世界大戦の間、1920年代から30年代末期にかけて発表されたドイツ文学を題材として故郷喪失の経験に光をあてていきます。戦間期オーストリアは、ハプスブルク帝国としての多民族体制からドイツ人による国民共和国への移行期間に相当します。多民族体制の崩壊により、旧帝国領のドイツ人は故郷喪失・引揚者となり、新秩序への適応の過程で多大な苦悩を経験しました。追い打ちをかけるようにナチス政権が成立、ユダヤ人は完全に居場所をなくしてしまいます。戦間期のドイツ文学を通じて、過去への思慕を読み解いていきましょう。 **【到達目標】** ・多民族国家オーストリア＝ハンガリー帝国（1867～1918）の諸問題について理解できる。 ・一次大戦後に成立したオーストリア共和国の諸問題について理解できる。 ・ナチスドイツが成立する背景について理解できる。 **【授業テーマ】** 第1回 エーリヒ・マリア・レマルク『西部戦線異状なし』(1929)(1) 第2回 レマルク『西部戦線異状なし』(2) 第3回 シュテファン・ツヴァイク『変身の魅惑』(1930年代成立)(1) 第4回 ツヴァイク『変身の魅惑』(2) 第5回 ヨーゼフ・ロート『皇帝廟』(1938)(1) 第6回 ロート『皇帝廟』(2) 第7回 ロート『皇帝廟』(3) 第8回 ロート『皇帝廟』(4) **【学生へのメッセージ】** ナチズム、旧東独、現代東欧と中近東での戦争の背景を理解するには、多民族時代の事情を知ることが必要です。ナチスドイツの成立前夜にあってもなお、生きる希望を見出そうとしたユダヤ人作家の経験は、現代を生きる私たちにとって示唆に富んでいると思います。 **【受講前の準備学習等】** 事前に小説の翻訳を読み、内容を理解しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	秋田学習センター		
学習センターコード	05A		
クラスコード	K		
科目名	**戦間期のドイツ文学**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ナカムラ　ヒサシ 中村　寿 秋田大学教育文化学部講師		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月6日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	秋田学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・西部戦線異状なし（エーリヒ・マリア・レマルク　作　秦豊吉　訳／新潮文庫／¥935／ISBN=9784102125014） ・変身の魅惑（シュテファン・ツヴァイク　作　飯塚信雄　訳／朝日出版社／¥2,200／ISBN=9784022554987） ・ヨーゼフ・ロート小説集４（ヨーゼフ・ロート　作　平田達治・佐藤康彦　訳／鳥影社／¥4,070／ISBN=9784886292025）

科目コード	2690012
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**情報技術の基礎とツールの利用**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヨコヤマ　ヒロシ 横山　洋之 秋田大学情報統括センター准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

情報をいかに効率よく安全に収集、処理、発信し、情報をうまく活用することで生活が便利で豊かになります。この授業では、情報処理の基礎的な内容を解説するとともに、情報化社会の現状や今後の展望について紹介していきます。また、オンライン会議ツールである、Zoom、Teams、Google Meetについて特徴や利用方法について解説します。更にChatGPTやGeminiなどの生成AIの利用について解説します。

【到達目標】

・基本的なコンピュータの仕組みを説明できる。
・インターネットの仕組みを説明できる。
・オンライン会議ツールを利用できる。
・生成AIを利用できる。
・サイバーセキュリティーについて説明できる。

【授業テーマ】

第1回 コンピュータの仕組み
第2回 アルゴリズム基礎　（アルゴリズムとデータ構造）
第3回 プログラミングの基礎　（プログラミング言語）
第4回 オンライン会議ツールの利用
第5回 オペレーティングシステムとコンピュータネットワーク
第6回 サイバーセキュリティ
第7回 生成AIツールの利用
第8回 情報処理技術の現状と今後について概説

【学生へのメッセージ】

授業では情報技術について幅広く解説していきます。情報処理の基盤技術に興味のある方はぜひ受講してください。

【受講前の準備学習等】

初心者向けに解説を行いますが、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末
　種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）が、ノートパソコンが望ましいです。
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
3. ソフトのインストール
　事前にZoom、Teams をインストールしておくと円滑に進められます。
4．その他
　授業で使う資料のデータをオンラインで配付します。その場でコピーを希望される場合はUSBメモリをお持ちください。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2690020
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**生体材料学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	タカハシ　マモル 髙橋　護 秋田大学大学院理学系研究科准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
老化、疾病、事故等により失われた人体機能の再建には多くの材料が用いられています。これらの材料が、医療の進歩を支えてきており、救命、治療、生活の質の向上にも貢献してきました。このような材料を生体材料（バイオマテリアル）と呼んでいます。この生体材料について、基礎的な知識を習得できるように学習します。特に、生体材料の使用用途や種類に関して学習します。さらに、生体材料の耐久性、耐食性、劣化、生体材料と生体のかかわり、ならびに生体材料の生体適合性に関して学習し理解を深めます。

【到達目標】
生体材料について、基礎的な知識を習得できるように学習し、以下のことを到達目標とする。
1）主な生体材料の使用用途や種類について説明することができる。
2）生体材料の耐久性、耐食性、劣化、生体材料と生体のかかわり、ならびに生体材料の生体適合性をよく理解して説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 生体材料学概論
第2回 生体材料の使用用途
第3回 生体材料の種類
第4回 生体材料の劣化
第5回 生体材料と生体のかかわり
第6回 生体材料の生体適合性（1）
第7回 生体材料の生体適合性（2）
第8回 講義内容のまとめ

【学生へのメッセージ】
失われた人体機能の再建に使用され、人体に使用可能な生体材料（バイオマテリアル）について学んでいただく科目です。分からないところがありましたら、いつでも質問してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・金属バイオマテリアル　ー医療用金属材料ー（塙　隆夫，米山　隆之／コロナ社／¥2,970／ISBN=9784339072839）

科目コード	2690039
学習センター	秋田学習センター
学習センターコード	05A
クラスコード	K
科目名	**酵母と人類の関わり ー過去と現在**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	ヨシカワ　ユウキ 吉川　雄樹 秋田県立大学助教
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 11月22日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	秋田学習センター

授業概要

【授業内容】
「酵母」という生物が見つかるまでの人類における発酵産業の歴史と、発見以降の産業面以外にも生物学的な観点から酵母という生き物がどのような特徴を持つのかを解説します。酵母の有用性から一般に浸透してしまった多くの誤解が何故生じて広まってしまったのかということについても解説します。
【到達目標】
・酵母という生き物の生物学的な位置づけと、何故産業面で活用されているかが理解できるようになる。
・インターネット情報等を活用して情報の検証、興味を持った内容を掘り下げられるようになる。
【授業テーマ】
第1回 酵母はどのようにして見つかった？
第2回 酵母と人類の関わり
第3回 酵母についてよくある誤解
第4回 酵母の生態とはどのようなもの？
第5回 酵母の応用例とそれに応じた育種
第6回 酵母の応用例を考える
第7回 酵母について調べた内容、よく聞くあれこれについて検証する。
第8回 まとめとレポート
【学生へのメッセージ】
酵母という生物に関する知識だけでなく、それに関する色々な情報を我々研究者はどのように検証しているのか、また検証した内容について議論するような講義内容も想定しています。便利なツールを使って知らない知識を検証するということにも興味のある人は是非。聴きたい内容のアンケートも行っているのでFormに回答をお願いします。
【受講前の準備学習等】
酵母の応用事例を1つで良いので調べる。調べた文献、もしくはホームページと併せてどのような特徴を持った酵母がどのような根拠で、どのような魅力を持った産物（お酒やパン、その他なんでも）を提示しているのかをこちらのFormに回答して下さい。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd6rQcq68i-9pNcaNHHwzM4BG7ayDMUEjN7X55O4jPeU5-1FQ/viewform?usp=header
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
AIツールを用いて予習課題について議論する可能性があるので（課題の回答内容次第で変更する可能性あり）、PCを持参するようにすること。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
講義内容のスケジュールは適宜変更になる可能性があります。第７回の「酵母について調べた内容、よく聞くあれこれについて検証する。」はどの時間に実施するのか、その内容は適宜変更します。

科目コード	2690047	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、セクシュアリティ（人間の性）と法制度との関わりを概観し、現状についての基礎的な知識を確認します。そして、そこに存在する課題について多角的に検討します。具体的には、法的な性別の登録と変更に関わる論点、性的指向と性自認（SOGI）の法制度上の位置づけ、同性婚等の家族法の現代的論点、そしてLGBTQ等の性的マイノリティへの差別に関わる論点を中心に取り扱います。法制度としては、もっぱら日本法における立法や判例を中心に扱いますが、必要に応じて諸外国の法制度との比較検討も盛り込みます。 **【到達目標】** セクシュアリティに関する日本の法制度の現状について理解し、そこにはどのような課題が存在するかを的確に説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション：人間の性はいくつあるか？ 第2回 ジェンダーとセクシュアリティに関わる基礎的な用語の整理 第3回 法的性別の登録と変更に関わる法制度について 第4回 性自認と法：性同一性障害特例法と関連する裁判例について 第5回 婚姻法とは何か：同性婚訴訟を素材に 第6回 婚姻廃止論と家族法の未来 第7回 スポーツとジェンダー ・セクシュアリティ 第8回「セクシュアリティと法」の未来：いわゆるLGBT理解増進法を素材に **【学生へのメッセージ】** 大きな変動のただなかにあるセクシュアリティと法をめぐる論点について、結論を早急に求めるのではなく、基本的な事実を丁寧に把握しつつ、多角的に検討していきたいと思います。 **【受講前の準備学習等】** 授業に関連する法律（民法の婚姻に関わる条文、性同一性障害特例法やLGBT理解増進法）について、具体的な文言を、『六法』や政府の提供するデータベースで調べておいてください。参考書に目を通しておくと、授業の理解に役立つだろうと思います。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	山形学習センター		
学習センターコード	06A		
クラスコード	K		
科目名	**セクシュアリティと法**		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	イケダ　ヒロノ 池田　弘乃 山形大学学術研究院（人文社会科学部担当）教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	山形学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・LGBTのコモン・センス：自分らしく生きられる世界へ（池田弘乃／第三文明社／¥1,870／ISBN=9784476034257）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690110
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**五感で楽しむ フランス文化**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	アベ　コウジ 阿部　宏慈 元山形県公立大学法人理事長・ 山形県立米沢栄養大学学長・ 山形県立米沢女子短期大学学長
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】
フランス文化の特質は感覚的ということです。モネやセザンヌといった印象派の絵画やエッフェル塔、ドビュッシー、ラヴェルの音楽、あるいはシャンソン。それにもちろん料理やパティスリー、さらにはモードに香水やワインまで。感性を磨き、感覚を伝えるコミュニケーションを楽しむこと。そういうフランスの文化的な伝統について、理屈ではなく感覚で迫ることはできるでしょうか？二日間のフランスへの、言葉や音楽さらにはイメージによる仮想旅行を通して、そんなフランス文化のひとかけらをみなさんと共に味わうことができればと思います。
【到達目標】
講義を通して、フランスの伝統的な文化に関心を抱くだけでなく、文化における感覚的なものの意味について考えることができるようになる。
また、それをきっかけに、茶道や和食に洗練された立ち居振る舞いを磨き上げてきた日本文化についても振り返り、ひいては日常生活の中における文化の大切さについて自分なりに考えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 はじめに：フランス文化と感覚的なもの
第2回 目で楽しむフランス文化：絵画、映画、街
第3回 耳で楽しむフランス文化：音楽、歌、市場の呼び声
第4回 舌で楽しむフランス文化：料理、ワイン、カフェ
第5回 手で楽しむフランス文化：身振り、手振り、コミュニケーション
第6回 足で楽しむフランス文化：旅するフランス、石畳、野はら
第7回 匂いで楽しむフランス文化：フランス的な香り
第8回 まとめと振り返り：みんなで語ろうフランス文化
【学生へのメッセージ】
フランスの文化についてすでに多くを知っている人も、まだほとんど何も知らない人も歓迎です。授業を通して、文化的なものの大切さを再認識してもらえれば嬉しい限りです。
【受講前の準備学習等】
図書館などでフランス美術史の書籍などを通し、特に印象派の誕生からモダニズムの絵画などを鑑賞し、それらの魅力を考察する。さらに、ドビュッシー、ラヴェル、サティなどのフランス音楽を聴き、シャンソンの歴史を学ぶ。
フランス料理の特徴を調べ、フランスパンや菓子を味わってみる。そして、フランス的なものとは何であるかを自分なりに考えておくなど、シラバスの内容から、自分なりに事前学習を進める。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690055
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**美術館の展示を読む**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	オカベ　ノブユキ 岡部　信幸 山形美術館副館長兼学芸課長 クロサワ　タクミ 黒澤　匠 山形美術館主任学芸員
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05
実施会場	この授業は、【2日目の3・4時限のみ★山形美術館（山形市大手町1-63)】で行います。

授業概要

【授業内容】
美術館を訪ねる目的は、多くの市民にとって好きな作品に出会うことだといえるでしょう。その作品はなぜ美術館で展示されているのでしょうか。この授業では、美術館での展示（企画展）の意図や実現までのプロセスなどについて、現地学習も行いながら学んでいきます。自分の町にある美術館がより身近な存在になるかもしれません。
【到達目標】
博物館の展示機能について基礎的な知識を理解し、実際の展示から展示意図を読み取ることができる。
【授業テーマ】
第1回 美術館の役割と展示（岡部）
第2回 美術館の展示空間（岡部）
第3回 展覧会の企画（岡部）
第4回 企画展の具体例1（企画から開催まで）（岡部）
第5回 企画展の具体例2（岡部）
第6回 山形美術館の概要（岡部）
第7回 現地学習　山形美術館の空間をみる（岡部）
第8回 現地学習　山形美術館の展示をみる（黒澤・岡部）
【学生へのメッセージ】
授業の中で、理解度を測るためのコメントカードの提出を課します。
博物館、美術館を訪れ、館の性格や展示作品と空間との関係などに注目しながら見学するようにしてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
入館料として学生料金の負担があります。個人負担金、レポート締め切りそのほかについては、開講２週間前頃までに各受講生のキャンパスメール宛に通知します。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2690063
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**発酵は世界を救う**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	クリヤマ　ヤスナオ 栗山　恭直 山形大学特任教授（学術研究院）
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:50 12月20日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】
発酵は古代から人類と密接に関わってきました。日常生活でも味噌、醤油、漬物に始まり、医薬品なども発酵の力を使っていますし、発酵がなかったらどうなったでしょうか。この授業では、発酵について基本的なことから学び、まず、現代の身の回りの発酵が関係するテーマについて紹介します。さらにエネルギー・環境問題など未来の課題も発酵が解決することに重要な点を紹介し、発酵と人類・地球の古代から未来の関係についてお話します。講義の途中で演示実験も行います。
【到達目標】
発酵について説明することができる。身の回りの発酵について説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 発酵について　その基本と歴史
第2回 発酵と食品１
第3回 発酵と食品２
第4回 発酵と医薬品
第5回 発酵と農業
第6回 プラスチックと微生物
第7回 発酵とエネルギー
第8回 発酵と未来社会
【学生へのメッセージ】
身の回りには発酵に関係することがたくさんあります。発酵食品をはじめ発酵は人類の発展に寄与してきました。これからの未来の課題も解決する発酵についてお話します。
【受講前の準備学習等】
・発酵について事前に本やインターネットで調べておいてください。
・毎回質問の時間を設けますので積極的に質問してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
できれば発酵に関する本をなんでもいいので読んでみてください。
小泉武夫氏の本がわかりやすく、他の著者の関連書籍もたくさんあります。

科目コード	2690071
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**運動と筋の生理学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	セキネ　ノリコ 関根　紀子 放送大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:50 10月18日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】
骨格筋について、運動生理学の基礎から最近の研究成果まで広く解説します。健康の維持増進をはかるため注目されている筋について正しく理解するとともに、運動・栄養などの観点から幅広く学びます。この授業では、生活習慣病や中高齢者のトレーニングについても取り上げ、受講者自身の生活に役立つ知識の習得を目指します。
【到達目標】
運動や不活動が身体や健康に及ぼす影響について、その現象と仕組みを理解し、自らの健康の維持・増進のために何をすべきかを判断することができる。
【授業テーマ】
第1回 生体と恒常性
第2回 骨格筋の構造と働き
第3回 栄養とATP
第4回 筋運動のエネルギー
第5回 筋の肥大と萎縮
第6回 スポーツ生理学
第7回 生活習慣病と運動
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
写真やイラストなどを多用し、わかりやすい解説を心がけたいと思います。運動や筋肉に興味がある方であれば専門的な知識は特に必要ありません。なお、演習・実技は行いません。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
学生証、筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162		**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 心理学における基礎的実験の実習を行います。実習をとおしてデータの収集と分析を理解し、レポートの書き方を習得することをめざします。実習する実験は、「ストループ効果」、「視覚探索」、「ヒューリスティック判断」の３つです。原則として８回の授業すべてに出席し、それぞれの実験についてレポートを作成し、提出しなければなりません。実験にはパソコンを使用しますので、パソコンの基本を理解し、初歩的な技能を有する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 オリエンテーション（心理学実験とは） 第2回「ストループ効果」実験の実施と解説 第3回「ストループ効果」実験のレポート執筆指導 第4回「視覚探索」実験の実施と解説 第5回「視覚探索」実験のレポート執筆指導 第6回「ヒューリスティック判断」実験の実施と解説 第7回「ヒューリスティック判断」実験のレポート執筆指導 第8回 まとめ（心理統計とレポートの書き方） **【学生へのメッセージ】** レポート作成には、ワード（文書作成）や、エクセル（データのコピー ・貼り付け、合計・平均値等の表計算、グラフ作成、ワードへのグラフ貼り付け等）を使用します。 **【受講前の準備学習等】** 実験をする際は、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	山形学習センター		
学習センターコード	06A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験３**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	フジオカ　クミコ 藤岡　久美子 山形大学学術研究院（教育学部担当）教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	山形学習センター	**授業概要**	**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ３．ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 ４．その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2689189
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	サトウ　コウヘイ 佐藤　宏平 山形大学学術研究院（教育学部担当）教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 2027年1月10日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査は、パーソナリティや個人の中の諸特性について測定するためのものです。本講義では、こうした心理検査について解説を行った上で、代表的な３つの心理検査を取り上げ、演習を通して実際に体験することで、心理検査についての理解を深めます。原則として８回の授業すべてに出席し、それぞれの実習についてレポートを作成し、提出しなければなりません。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理検査の歴史
第2回 さまざまな心理検査ー質問紙法・投映法・作業検査法
第3回 心理検査の信頼性と妥当性
第4回 心理検査実習１：特性的自己効力感尺度
第5回 心理検査実習２：バウムテスト
第6回 心理検査実習３：YG性格検査
第7回 テストバッテリーについて
第8回 心理検査における倫理

【学生へのメッセージ】
この授業では、原則として８コマすべて出席しすべてのレポートを提出する必要があります。心理検査に関して問題意識を持ち、積極的な態度で受講してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、電卓

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690098
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**近現代日本の勤労青年教育再考**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	アンドウ　コウキ 安藤　耕己 山形大学学術研究院（教育学部担当）教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 2027年1月10日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】
明治期の日本における学校教育の成立および普及に伴い、学校教育と連続させる志向をもって、学卒後の働く若者を対象とする教育、いわゆる「勤労青年教育」の取り組みが始まり、定着していきます。また、それは義務教育以上の学校に進学できない若者たちの学ぶ場を提供する営みともなりました。
本授業では、明治末の日露戦争期から戦後の高度経済成長期頃までを主たる対象として、主に青年団の活動、製糸工場をはじめとした繊維関連工場の女子教育、戦後の公民館と農林行政とのコラボレーションなどを取り上げ、その実態と意義とを現代の観点からも再検討するものとします。
【到達目標】
・近現代日本において、勤労青年教育が必要とされた背景、そしてその必要性が薄れていった背景について、具体的に説明することができる。
・近現代日本における勤労青年教育の特徴とその可能性および限界性について、事例をもって説明することができる。
・かつての勤労青年教育のあり方をふりかえり、現代の地方における後継者養成の方策について提言することができる。
【授業テーマ】
第1回 近現代日本における「青年期教育」の展開：中等教育・高等教育と勤労青年教育の狭間
第2回 明治・大正期の青年団の実態：埼玉県旧名栗村「甲南智徳会」および名栗村青年団
第3回 戦後の青年団と公民館：岩手県・山形県の事例を中心に
第4回 近代製糸工場における女子教育の実態：長野県諏訪地域および郡是製糸に着目して
第5回 戦後の製糸工場における女子教育の実態：長野県諏訪地域および郡是製糸に着目して
第6回 戦後の農業後継者養成における公民館と農林行政とのコラボレーション：主に岩手県を中心に
第7回 学校教育と勤労青年教育の狭間：青年学校と定時制高校
第8回 近現代日本の勤労青年教育をふりかえる：その現代的意義はあるのか？
【学生へのメッセージ】
サブテーマは「サードプレイス」でしょうか。職場と自宅（あるいは寮など）との間にあるのが、勤労青年教育の場だったのではないでしょうか。近現代史に関心がある方、ご自身の経験を語れる方もぜひお越しください。
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して、事前に本やインターネットなどによって、自己学習に努めてください。
・授業で学修した内容について復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具等
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690101
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**化粧品の化学**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ノノムラ　ヨシムネ 野々村　美宗 山形大学学術研究院（工学部担当）教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】
ドラッグストアに並んだ化粧品を見て、「いったいどれが良いのかな?」なんて思ったことはありませんか?化粧品には、最先端の皮膚科学に基づいて開発された何十もの成分が含まれ、きちんと効果が出るように設計がされています。この講義では、皮膚や毛髪について学んだ上で、保湿・アンチエイジングなどのスキンケア、リンスによるヘアケアと皮膚を美しく彩るメイクアップの仕組みを解説します。また、ボトルに記されている全成分表示を基に自分に合った化粧品を選ぶためのノウハウや、実際に化粧品に触れる実習も予定しています。
【到達目標】
・化粧品に関する化学の基礎を説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ヒトはなぜ化粧をするのか?
第2回 皮膚の構造とスキンケア①　皮膚にうるおいをもたらす保湿のテクノロジー
第3回 皮膚の構造とスキンケア②　紫外線から皮膚を守るサンスクリーンとホワイトニング
第4回 皮膚の構造とスキンケア③　加齢と活性酸素から皮膚を守るアンチエイジング
第5回 毛髪の構造とヘアケアのテクノロジー
第6回 ナチュラルメイクはどうやって実現したのか?　メイクアップのテクノロジー
第7回 全成分表示から自分にぴったりの化粧品を選ぶには?
第8回 おわりに
【学生へのメッセージ】
化粧品の基となる皮膚科学を学んだ上で、スキンケア・ヘアケア・メイクアップに利用されている科学技術を学びます。化粧の豊かな世界を楽しみ、学んでください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2690080
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**多文化共生時代の日本語**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ウツミ　ユミコ 内海　由美子 山形大学学術研究院（学士課程基盤教育院）教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:50 10月18日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

日本の在留外国人は増加、多様化し続けています。そこで課題となっているのが、外国出身者との共生です。この講座では、多文化共生を「異なる文化的背景を持つ人々が、対話をとおして互いを理解し、暮らしやすい地域づくりに協力して取り組むこと」と捉え、対話に必要な「日本語」に焦点を当てます。たとえ日本語が母語であっても、相手に合わせて語彙や文法、内容を調整できるようになるためにはトレーニングが必要です。講座では日本語に関する知識・技能をワークショップ形式で話し合い「やさしい日本語」を実践します。「やさしい日本語」の達人を目指しましょう！

【到達目標】

・公的機関の調査報告等から、日本に住んでいる外国人の言語使用について理解できる。
・異文化間摩擦の言語的要因について考えるとともに日本語の特徴が理解できる。
・日本語が初級レベルの外国人に向けて、書き言葉・話し言葉の情報を、「やさしい日本語」に換えることができる。
・外国人との対話を継続しようとする態度、異文化摩擦に対して「仲介」しようとする姿勢が持てる。

【授業テーマ】

第1回 日本にはどんな外国出身者が住んでいるか調べよう
第2回 日本に住んでいる外国人の言語使用について調べて理解しよう
第3回 ケーススタディ「書き言葉編」、外国語としての日本語の分析
第4回 ケーススタディ「話し言葉編」、外国語としての日本語の分析
第5回 自分の日本語を相手に伝わるように調整してみよう「書き言葉編」
第6回 自分の日本語を相手に伝わるように調整してみよう「話し言葉編」
第7回 実践してみよう
第8回 まとめと考察

【学生へのメッセージ】

「やさしい日本語」を使えるようになるためには、自分の使う日本語をモニターし内省できることはとても大切です。日常生活で少し意識して、自分の日本語を振り返ってみてください。周りの人の日本語を観察するのもよい方法です。

【受講前の準備学習等】

・授業では、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
・日本の在留外国人について、概要を調べてください。出入国在留管理庁の報道発表資料「在留外国人数について」が、比較的わかりやすいと思います。
・「やさしい日本語」とは何かを調べてください。「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」や、自治体の「やさしい日本語」関連のサイトを見てください。
・自分が普段どうやって話しているか、意識してみてください。何か癖や特徴はあるでしょうか。可能であれば、自分で録音して自分の日本語を聞いてみるといいと思います。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末
　ノートパソコン又はタブレットを持参してください（スマートフォンは不可です）。
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
3．ソフトのインストール
　ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。
4．その他
　GoogleスプレッドシートまたはGoogleドキュメントを使用予定です。
　ただし、試験は解答用紙に手書きしていただきます。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

・「やさしい日本語」表現辞典（庵功雄 他／丸善出版／¥3,800／ISBN=9784621305126）

【その他（特記事項）】

充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2690128
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**考古学からみた 山寺立石寺**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	アラキ　シノブ 荒木　志伸 山形大学学術研究院（学士課程基盤教育院） 教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	この授業は、【★山寺芭蕉記念館（山形市山寺4223)、立石寺（山寺4456-1)】で行います。

授業概要

【授業内容】
元禄2年（1689）に松尾芭蕉が「閑さや岩にしみ入る蝉の声」の句を詠んだ山寺立石寺は、江戸時代の書物である『出羽国風土略記』に「奥の高野」と記された東北屈指の霊場です。現在も死者供養にかかわる風習が続く庶民信仰の空間ですが、山内に残る歴史資料については学術調査が遅れがちでした。本授業では最新の研究成果をもとに、石造物等の考古資料や山寺芭蕉記念館での関連資料の見学をふまえ、山寺立石寺の歴史について総合的に学びます。
【到達目標】
立石寺の歴史的意義について、考古資料の最新の研究成果をもとに、説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 東北の霊地霊場と古代社会
第2回 山寺立石寺とは
第3回 霊場における石塔調査の方法及びその意義
第4回 山寺立石寺の石造文化財と調査結果
第5回 現地見学（山寺立石寺）
第6回 現地見学（山寺立石寺）
第7回 山寺芭蕉記念館と展示資料解説
第8回 まとめにかえて
【学生へのメッセージ】
歴史を本格的に学んだことがない方でも十分に理解できる内容にします。授業内ではスライド（PowerPoint）を使用し、映像をふんだんに使いながら進めます。２日目は山寺での現地見学になりますが、奥の院までゆっくり解説をしながら登る予定です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評定により行います。レポートは授業後に提出とし、授業時間内にレポート作成の時間は取りません。

【受講者が当日用意するもの】
２日目の現地見学では、運動に適した服装・靴を準備してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・霊場の思想（佐藤　弘夫／吉川弘文館／¥1,785／ISBN=9784642055642）
・山寺立石寺: 霊場の歴史と信仰（山口博之／吉川弘文館／¥1,980／ISBN=9784642059237）
・中世の風景を読む<1>蝦夷の世界と北邦交易（網野善彦・石井進編／新人物往来社／¥3,150／ISBN=9784404021748）
・季刊考古学第121号（季刊考古学／雄山閣／¥2,520／ISBN=9784639022503）
絶版重版未定本で入手困難ですが、山形学習センター図書視聴室で閲覧することも可能です。

【その他（特記事項)】
この授業は山寺立石寺・山寺芭蕉記念館で行います。
入館料として学生料金の負担があります。個人負担金、レポート締め切り、そのほかについては、開講２週間前頃までに各受講生のキャンパスメール宛に通知します。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.５参照）

科目コード	2690136
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**新聞活用術 （山形新聞連携授業）**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヤマモト　ハルフミ 山本　陽史 放送大学山形学習センター所長
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:50 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:40～15:10 第４時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】
山形新聞社と山形学習センターが連携して開く授業です。ネット上に根拠のない言説やデマ情報があふれる今日、世界からご近所の出来事まで、物事を正確かつ平易に伝えてきた新聞を活用する能力（メディア・リテラシー）を磨きます。ゲストとして招く山形新聞記者と講師（山本）との対談や受講生との質疑応答も交え、新聞がどのように作られるか・紙面構成・記事の文章の特徴・取材や裏付けを取る方法などを伺います。また、新聞記事のように情報や意見を過不足なく読み手に伝える文章を書くトレーニングを行い、各自のスキルを向上させます。
【到達目標】
・新聞の持つ機能と役割を理解し、業務・学習・日常生活に活用できる。
・ネットにあふれる情報の中から正確な情報にアクセスできる。
・口頭・文書・ネットそれぞれから情報を発信する際の作法と倫理を実践できる。
・自分の情報や意見が正確に過不足なく読み手に伝わるコミュニケーションを取ることができる。
【授業テーマ】
第1回 山形新聞記者による講話（新聞ができるまで／新聞の読み方）
第2回 山形新聞記者による講話（新聞から学ぶメディアリテラシー／質疑応答）
第3回 日本のマスメディア（ネット含む）の現状と課題
第4回 ファクトチェックの方法／「逆三角形」とはー記事の構造
第5回 新聞の日本語に学ぶ文章作成法／要約文を書いてみよう
第6回 要約文の講評／報告文の書き方／タイトルの付け方
第7回 報告文を書いてみよう／個別アドバイス
第8回 報告文の講評・総評
【学生へのメッセージ】
新聞・テレビを「オールドメディア」と揶揄し軽んじネットに依存する人々がいます。ですがネットには陰謀論やデマが広く拡散し、人々の思考や行動を歪める危険だらけです。今こそ羅針盤として新聞を再評価する時です。
【受講前の準備学習等】
（事前学習）自宅や図書館で新聞を読み、紙面や記事の構成や文章の特徴は何か、考えておいてください。また、同一のニュースを複数のメディア（新聞・テレビニュース・ネット）で読み（視聴）比べてみてください。終了後は新聞を読むこと、ネット情報のファクトチェック、「逆三角形」を意識した文章を書くように努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・データブック日本の新聞2025（日本新聞協会／日本新聞協会／¥660／ISBN=9784889291025）
授業開始時点で2026年版にバージョンアップされている可能性があります。
・記者ハンドブック　第14版（一般社団法人共同通信社／共同通信社／¥2,090／ISBN=9784764107335）
授業開始時点で第15版にバージョンアップされている可能性があります。

【その他（特記事項）】
・第１回と第２回は山形新聞の記者を招いて講話をいただきます。
・山形新聞社編・山本陽史監修『新聞活用ガイドブック ver.2』（2021年・PDF版）を無料で受講者に提供します。

科目コード	2690144	**授業概要**	**【授業内容】** 日本のサブカルチャーの魅力は多様なジャンル、豊かなストーリー性とかわいい絵です。実は同じ魅力を備えた絵画や出版物が江戸時代中期に盛んにつくられていました。本授業では、世界から注目を集める日本文化のルーツを動物画を通して明らかにしていきます。 **【到達目標】** ・江戸時代の絵画が何を目的として、どのように描かれているかを説明できるようになる。 ・描かれている動物に込められた当時の人々の願いについて説明できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 戯作の中の動物たち―山東京伝『腹筋鸚鵡石』（山本） 第2回 犬図―円山応挙が起こしたかわいい革命（佐藤） 第3回 猫は牡丹とともに（佐藤） 第4回 始まりの招き猫（佐藤） 第5回 化ける狐（佐藤） 第6回 鯉と金魚に込めた願い（佐藤） 第7回 天翔る龍（佐藤） 第8回 博物図大流行（佐藤） **【学生へのメッセージ】** 江戸時代の出版物や絵画を楽しむポイントをお伝えします。 **【受講前の準備学習等】** 2025年の大河ドラマの影響で江戸文化の入門書がたくさん出版されました。江戸文化に関する入門書を読み、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	山形学習センター		
学習センターコード	06A		
クラスコード	K		
科目名	**動物画が語る江戸時代**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	サトウ　コト 佐藤　琴 山形大学学術研究院（学士課程基盤教育院）教授 ヤマモト　ハルフミ 山本　陽史 放送大学山形学習センター所長		**【受講者が当日用意するもの】** なし。授業資料は印刷して配布します。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:50 12月6日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50		
実施会場	山形学習センター		

科目コード	2690152
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**オーケストラと劇場文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ニシハマ　ヒデキ 西濱　秀樹 公益社団法人山形交響楽協会専務理事／公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事 イイモリ　ノリチカ 飯森　範親 山形交響楽団桂冠指揮者 コマツザキ　キョウコ 小松崎　恭子 山形交響楽団フルート奏者 ヤマナカ　ヤスヒト 山中　保人 山形交響楽団首席ヴィオラ奏者
日程 実施時間	12月26日(土) 第1時限　10:50～12:20 第2時限　13:10～14:40 第3時限　14:50～16:20 第4時限　16:30～18:00 12月27日(日) 第1時限　9:10～10:40 第2時限　10:50～12:20 第3時限　13:10～14:40 第4時限　14:50～15:35
実施会場	この授業は、【山形学習センター（12月26日（土）の鑑賞は★山形テルサ（山形市双葉町1丁目2-3））】で行います。

授業概要

【授業内容】
日本国内では40団体のプロオーケストラが活躍を続けています。演奏水準だけではなく、社会貢献や教育分野でも、その活動は世界的な評価・注目を得ています。都市の精神を映しだす鏡と欧米では称されるオーケストラ。人口25万人の文化創造都市　山形を拠点に多彩な活動を続ける山形交響楽団を題材に、①パフォーマンス集団として②劇場と連携して劇場文化を育む社会装置としてのオーケストラ像を探求します。オーケストラ運営で30年を越えるキャリアを重ねる講師と、指揮者・演奏家を交えた現場主義を軸とした講座です。

【到達目標】
前述のように、現役の実演家・アートマネジメント実践者による講座です。
〇本講義を通じて、舞台芸術に関わる人々の現実を理解できるようになる。
〇舞台芸術に接する機会を提供する授業でもあります。本講義の受講によって、舞台芸術鑑賞意欲が増し、その歴史や背景をより深く理解できるようになる。
〇受講者が住む街の劇場の役割や価値について多角的視点から理解できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 オーケストラ運営の基礎知識…誕生の歴史と歩み（西濱）
第2回 オーケストラの日常…コンサートとリハーサル（今回鑑賞する「第九」リハ風景映像鑑賞含む）（西濱）
第3回 ベートーヴェンの「第九」をクラシック専用ホール　山形テルサで鑑賞する（西濱）
第4回 劇場は第2の楽器…劇場とオーケストラが創造するものとは？（音楽的・社会的見地から）（西濱）
第5回 ①演奏の現場から…山形交響楽団桂冠指揮者　飯森範親を招いて（西濱・飯森）
第6回 ②演奏の現場から…山形交響楽団首席ヴィオラ奏者　山中保人を招いて（西濱・山中）
第7回 ③演奏の現場から…山形交響楽団フルート奏者　小松崎恭子を招いて（西濱・小松崎）
第8回 まとめ…子供のような好奇心で劇場に出かけよう！（西濱）

【学生へのメッセージ】
日本は世界に誇る劇場大国です。皆さんの居住する地域にもきっと素敵な劇場があります。そして、日本で活躍するプロ楽団は40団体。J1、プロ野球チームよりも多く、これもまた身近な存在です。その世界を探求することで、皆さんの知的好奇心・日々の暮らしに新たな刺激・喜びを一緒に見出しましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。事前学習として、以下を推奨します。
〇山形交響楽団ホームページの中で活動内容・山響が目指すものを中心にご覧ください
〇日本オーケストラ連盟のホームページが、事前学習には最適です。国内各楽団の経営状況や活動概況などを知ることが出来ます。
〇NHKでは、定期的にNHK交響楽団演奏会が放映されています。それらをご覧になり、舞台芸術への興味関心を深めてみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具・ノートなど

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
授業内で、山形テルサで開催する「山形テルサの第九」を鑑賞します。授業料金以外に、別途チケット代が必要になります。（8月上旬に山形学習センターウェブサイトでお知らせします。）
2027年2月7日にやまぎん県民ホールで開催する演奏会形式オペラ「仮面舞踏会」鑑賞をもって、学びの“まとめ”とします。＊仮面舞踏会鑑賞時に希望者には劇場見学実施予定です。（詳細は12月の授業中でご説明します。）
レポート締切、その他留意事項について、開講2週間前頃までに受講生に詳細をキャンパスメールで通知します。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧(P.5参照)）

科目コード	2690160
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**クマ問題を考える**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	330
定員	40名
担当講師	タグチ　ヒロミ 田口　洋美 一般社団法人狩猟文化研究所代表理事
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業は､近年報道等で取り挙げられることが多くなっている「クマ問題」について､環境史と社会文化環境学の立場から考えるものです。現在、日本列島は野生動物の生息域拡大期に入っており、人間社会と野生動物の関係を再考すべき時期ともいわれています。本授業では、人間と自然の関係を環境史的視座（歴史社会的コンテキストを重視）から俯瞰した上で、現在起きている野生動物、とくにクマ類と私たちの関係について考えます。

【到達目標】
・クマ問題を考える上で大切なことは「確かな情報をつかみ」､「証拠立てて」､「問題の核心に迫る」､ことですが、これができるようになる。
・「社会文化環境学」や「環境史」の手法を学ぶことによって、感情的な解釈や一過性の回答に満足せず、思考によって今そこで起きている事象を考える力を養うことが出来る。

【授業テーマ】
第1回 列島開拓と狩猟のあゆみ①「列島の狩猟史：自然資源開発プロセス+農耕化プロセス+市場化プロセス」
第2回 列島開拓と狩猟のあゆみ②「近代の狩猟史：市場志向型生業の優先的選択+過疎化+ポスト過疎化+撤退する日本人」
第3回 列島開拓と狩猟のあゆみ③西の羽物に東の大物：狩猟と農耕
第4回 列島開拓と狩猟のあゆみ④西の海賊、東の山賊：狩猟と駆除
第5回 列島開拓と狩猟のあゆみ⑤三面集落モデルとゾーニングという思考
第6回 クマ問題と現代：ヒューマン・ディメンション　保護管理問題の90%は、人間の問題
第7回 社会文化環境としての「クマ問題」：先住民の考え方と文化的リテラシー
第8回 全体のまとめと質疑応答

【学生へのメッセージ】
野生動物問題は、その生理生態が理解できれば解決するのか、というと問題の解決にはならない。重要なことは、私たち自身を知らなければ問題は解決しない、ということです。レイチェル・カーソンは、環境問題とは被害者であり、加害者でもある人間自身の問題である事を繰り返し述べています。

【受講前の準備学習等】
・『クマ問題を考える：野生動物生息域拡大期のリテラシー』（ヤマケイ新書：Kindle版（電子書籍））については、事前に目を通しておいてください。
・クマ類による事件事故、農作物被害など、新聞や書籍でどのような事が起きているかを予め当たっておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・クマ問題を考える 野生動物生息域拡大期のリテラシー（田口 洋美／山と渓谷社／¥968／ISBN=9784635510424）

【その他（特記事項）】
試験では基本的に40～200字程度の論述問題を2、3問出題します。

科目コード	2690179
学習センター	山形学習センター
学習センターコード	06A
クラスコード	K
科目名	**送粉をめぐる 植物と動物の共生**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヨコヤマ　ジュン 横山　潤 山形大学学術研究院（理学部担当）教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月29日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50
実施会場	山形学習センター

授業概要

【授業内容】
光合成を行う植物は、自ら移動する事はできないため、多くは風や動物など他の媒体に送粉を頼って生殖を行います。特に被子植物の花は、花粉を運ぶ送粉動物との関係の中で著しい多様化を遂げました。ここでは、送粉をめぐる植物と動物の共生関係の多様性と進化について解説します。

【到達目標】
被子植物の進化の道筋、送粉様式の多様性を理解し、植物と送粉動物の関係が植物の進化にどのように影響するのかについて説明することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 陸上植物の進化の道すじ、被子植物の出現と進化に関する現在の知見
第2回 花粉を動物に運んでもらう送粉様式の進化と歴史
第3回 被子植物の花の性質と繁殖様式の多様性
第4回 被子植物と送粉動物との関係の多様性
第5回 送粉動物の中でも最も重要な昆虫、特にハチ類と植物の関係
第6回 送粉動物との関係の中で、花の性質がどのように進化するのか
第7回 送粉動物との関係が、植物の新しい種が生まれる過程にどう関わっているのか
第8回 送粉動物との共生関係が崩れた時に、どのような進化が生じるのか

【学生へのメッセージ】
理解できなかった点は積極的に質問して下さい。講義中に説明する内容の中にも重要な点がありますので、必ずメモをとること。関連する本などを読んで、普段から関心を高めておくとよいでしょう。

【受講前の準備学習等】
被子植物の多様性と主要な送粉動物との関係について、事前に学習しておいてください。授業で学修した内容や配布資料などを活用して復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689014
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	5名
担当講師	カンノ　ヒロコ 菅野　浩子 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【到達目標】
パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
第2回 文書作成とPDF保存
第3回 Webとメールの活用
第4回 セキュリティ
第5回 システムWAKABA・自己学習サイト
第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス
第7回 オンライン授業の実践
第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）

【学生へのメッセージ】
基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師が丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】
「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。

【受講者が当日用意するもの】
学生証　授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ち下さい。

【教科書】
・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　授業当日に配付します

【参考書】
・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　PDF／ダウンロード方法は授業で説明します

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
（履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。

科目コード	2690187
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**食生活と健康 ー人生100年時代**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	スズキ　ヒデコ 鈴木　秀子 会津大学短期大学部地域活性化センター特任研究員
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
食のグローバル化、デジタル化及び外部化の急激な進行により、私たちの食生活は社会との関係を抜きにして考えることはできなくなりました。家族形態や就労形態及び個人の価値観が多様化し、食生活のあり方も一様ではなくなっています。ひとり一人が知識や情報を主体的に得て、考え、食生活を営むことが必要となっています。本講義では、我が国の食生活の歴史的変遷や食文化・食習慣、健康との関連から見た食生活と栄養及び健康の問題を概観します。その上で、人生100年時代を健やかに過ごすための栄養・食事の基本について学びます。
【到達目標】
・日本人の健康及び栄養・食生活の課題について説明できる。
・健やかに過ごすための栄養・食事の基本を理解し、自分の言葉で説明できる。
・自分の食生活を振り返り、その課題と改善点を説明できる。
【授業テーマ】
第1回「食べる」って何だろう？：生活者として「食べること」の意義を考える
第2回 日本人の食生活の変遷と現状及び課題
第3回 日本人の栄養素摂取状況・健康状態の変遷と現状及び課題
第4回 食品の生理的意義（栄養機能、感覚機能、生体調節機能）
第5回 食環境の変化と食生活への影響
第6回 日本の健康・栄養政策
第7回 健康で豊かに生きるための食事の基本
第8回「減塩」と上手に付き合うコツ
【学生へのメッセージ】
日々の食生活を丁寧に、豊かに営んでいくことを考える機会となることを期待します。
【受講前の準備学習等】
○シラバスの内容に関連する食生活や栄養・健康に関する情報を、図書や新聞、公的なウェブサイト等で調べておきましょう。
○受講前３日間程度の食事内容と食事の状況（いつ、だれと、どのように）を記録し、自分の食生活の特徴（問題点）を捉えておきましょう。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、電卓。
※PCは持ち込み自由です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690195
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**睡眠学への招待**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	タカハラ　マドカ 高原　円 福島大学共生システム理工学類准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
日本では睡眠に満足していないという人は常に4～5人に1人程度存在し、その状況は長年改善していません。本講では、生物学的な心理学分野を基盤として、睡眠を科学的に研究してきた歴史と最新の知見を学ぶとともに、受講者自身の睡眠生活習慣を振り返ります。気合いや根性では克服できない限界のボーダーがどこにあるのかを理解し、人生の質について考えながら、日常生活に活かせる実践的な睡眠改善方法を身につけることを目的とします。
【到達目標】
1．睡眠の基本的な生理機構、構造およびメリットを理解できる。
2．自身の睡眠習慣を客観的に捉え、課題を発見・整理できるようになる。
3．正確な睡眠の評価方法を説明し、実践的な睡眠改善方法を3つ程度挙げることができる
【授業テーマ】
第1回 睡眠学のあゆみと睡眠の役割　～他の動物と比べてわかることもある
第2回 睡眠の構造とメカニズム、加齢と性差　～睡眠のキホン事項をおさえよう
第3回 自分の睡眠を振り返って　どうなりたい？
第4回 睡眠と社会、環境、ガイドライン　～睡眠学会の仕事
第5回 体内時計と社会的時差ぼけ　～睡眠時間だけ気にしてたのでは不十分
第6回 睡眠の評価方法　～良質の睡眠っていうけど、基準は？
第7回 夢と記憶、教育・夢工学的利用　～はたして夢はあるのか
第8回 睡眠を改善する生活習慣と心理療法　～睡眠薬だけじゃない
【学生へのメッセージ】
睡眠学は他の人文科学・自然科学と比較しても歴史の浅い学問です。現象としては誰にとっても身近であるにもかかわらず、真剣に取り組まれてこなかったのは何故でしょうか。睡眠は脳の発達と密接な関わりがあり、そのあり方には、人間が他の動物に比べて優位な存在になれた謎についても、ヒントが含まれているのかもしれません。睡眠の神秘に触れれば、そうだったのか！という発見がきっとあるでしょう。
【受講前の準備学習等】
テキストに目を通して疑問点を整理しておいてください。
当日までに睡眠日誌を一週間程度つけてください。
「ぐっすりコンパス」サイトより　2週間横版PDF
https://wellness.shionogi.co.jp/content/dam/wellness/ja/insomnia/assets/pdf/sleepdiary2week.pdf
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
・（新版）睡眠と健康（宮崎総一郎，林光緒／放送大学教育振興会／¥2,530／ISBN=9784595325120）

科目コード	2690209
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**地域連携で育む 食・ものづくり**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	グンジ　ナオコ 郡司　尚子 郡山女子大学家政学部准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	この授業は、【★郡山女子大学教室（福島県郡山市開成三丁目25番2号)】で行います。

授業概要

【授業内容】
本講義では、福島県の地域食材を活かした商品開発と地域連携の取り組みについて学びます。葛尾村のエゴマ、バナメイエビ、都路町のナツハゼ、新地町のいちじく、楢葉町のさつまいもなどを例に、企画から試作、表示、販売までの流れを具体的に紹介します。授業では、独自に制作したレシピ集を用いた調理実習や、食品表示の基礎を学ぶ演習も行います。地域の食とものづくりの魅力を体験的に理解し、地域資源を活かす視点を身につけることを目指します。
【到達目標】
・地域食材の特徴を理解し、授業で扱う事例をもとに商品づくりの流れを説明できるようになる。
・食品表示の基本事項を理解し、適切な表示内容を考え作成できるようになる。
・レシピ集を活用した調理実習を通して、地域食材を活かした料理やメニューを提案できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 地域連携と食・ものづくりの基礎／葛尾村での取り組みと商品化事例①
第2回 葛尾村での取り組みと商品化事例②
第3回 食品表示の見方とルール①
第4回 食品表示の見方とルール②
第5回 学生と制作した独自レシピによる調理実習①
第6回 学生と制作した独自レシピによる調理実習②
第7回 食品表示の基礎と原材料名の整理演習
第8回 調理品の表示作成とラベル仕上げ・まとめ
【学生へのメッセージ】
地域の食材を使った調理や商品づくりを楽しく体験しながら、食品表示の基本も学べます。初めての方でも気軽に参加でき、手を動かしながら地域の魅力にふれる授業です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
日頃から身近な食品のパッケージを見て、原材料名やアレルギー表示に少し目を向けておくと授業が理解しやすくなります。調理実習では当日にレシピを説明するため、特別な準備は不要です。気軽に参加してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
エプロン・バンダナなど調理ができる服装
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2689120	**授業概要**	**【授業内容】** 現代の心理学は、思弁に頼らず、実験法や観察法などの科学的な手法を用いて、外面には現れにくいヒトの内的過程を調べています。この授業では、心理学の代表的な実験例を実際に受講生の皆さんに体験していただきながら、人間の内的過程のしくみを調べるにはどのような実験を行ったらよいのかについて考えていきます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 オリエンテーション 第2回 心理学における研究方法 第3回 ミューラー・リヤー錯視（実験調査実施） 第4回 ミューラー・リヤー錯視（データ分析、レポート執筆指導） 第5回 目撃証言（実験調査実施） 第6回 目撃証言（データ分析、レポート執筆指導） 第7回 心理尺度（実験調査実施） 第8回 心理尺度（データ分析、レポート執筆指導）とまとめ **【学生へのメッセージ】** この授業では心理学の教科書にも取り上げられているような基本的な実験を体験していただきます。実験に参加する際にはできるだけ予断をもたずに、実験参加中の自分の内面の変化を観察するようにしてください。 **【受講前の準備学習等】** 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。これまでに受講した心理学の講義や実験演習で扱われた重要キーワードについて復習しておいてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣､｢心理学研究法('20)｣､｢心理学統計法（'21)｣を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 講義時間内に実施する実験調査をもとにレポート（計3報）を作成してもらい、これに基づいて成績評価を行います。 【課題内容】｢ミューラー・リヤー錯視｣｢目撃証言｣｢心理尺度｣
学習センター	福島学習センター		
学習センターコード	07A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験1**		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		**【その他（特記事項)】** 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 レポート作成は原則として手書きですが、パソコン等を用いて作成したい場合はご自分のパソコン等を持参し、作成していただいても構いません。提出の方法等については当日講師と相談してください。
定員	24名		
担当講師	コグレ　テルマサ 木暮　照正 福島大学地域未来デザインセンター教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験･レポート等 15:55～16:40		
実施会場	福島学習センター		

科目コード	2689189
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	コグレ　テルマサ 木暮　照正 福島大学地域未来デザインセンター教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
人間の性格や内面の変化等を適確に評価する上で、心理検査法の理論や技法を理解しておくことは極めて重要です。この授業では、心理学において代表的な検査例を実際に受講生の皆さんに体験していただきながら、人間の性格や内面の変化を評価する技法について実習を通じて理解していただきます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの検査法すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション
第2回 研究と臨床実践における倫理
第3回 内田クレペリン検査の実施
第4回 検査法の種類について
第5回 Big Five尺度の実施
第6回 検査の信頼性と妥当性
第7回 S-HTP法の実施
第8回 人格の統合的理解とまとめ
【学生へのメッセージ】
この授業では心理学の教科書にも取り上げられているような基本的な検査法を体験していただきます。検査を体験する際にはできるだけ予断をもたずに、検査を実施中の自分の内面の変化を観察するようにしてください。
【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。これまでに受講した心理学の講義や実験演習で扱われた重要キーワードについて復習しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法('21)｣を視聴してください。
【成績評価の方法】
講義時間内に実施する検査をもとにレポート（計3報）を作成してもらい、これに基づいて成績評価を行います。
【課題内容】｢内田クレペリン検査｣｢Big Five尺度｣｢S-HTP法｣

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆（HB）と消しゴム
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
レポート作成は原則として手書きですが、パソコン等を用いて作成したい場合はご自分のパソコン等を持参し、作成していただいても構いません。提出の方法等については当日講師と相談してください。

科目コード	2690217
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**子育ての発達科学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	ウジイエ　タツオ 氏家　達夫 名古屋大学名誉教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月15日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
現代社会において子育てに関わる問題がいろいろと起こっています。例えば、貧困の連鎖、親子という密室で起こる悲劇、ワンストップ育児、スマホ脳などです。子どもは大人の父という詩の一節は有名ですが、子育ては次の時代の社会を見通す窓だと考えられます。これらの問題解決のためには、子育てに関わるさまざまなことを知ることが大事です。発達科学は発達心理学や認知科学、生物科学、歴史学や人類学など発達に関わる学際的な研究分野です。子育てに関わる発達科学の知見をともに繙（ひもと）き、次世代についてともに考えてみましょう。
【到達目標】
子育てに関わるさまざまな問題について、科学的知識にもとづいて分析し説明できるようになること。
子育てに関わるさまざまな問題の解決のために必要なことを具体的に考え出せるようになること。
【授業テーマ】
第1回 他種の子育てとの比較を通して見える人らしさ
第2回 子育てのためのいろいろな心理学的仕掛け
第3回 家族を超える子育ての場
第4回 子育ての歴史と文化
第5回 子どもと親の個性が織りなす親子関係の綾（あや）
第6回 親から子どもに伝わるもの
第7回 子育てがピンチに直面する時
第8回 子育てを支える社会制度－われわれにできること
【学生へのメッセージ】
奥深く、むずかしい、深刻な内容を含む授業ですが、できるだけ楽しく前向きに議論できるよう工夫しようと思います。みなさんからの積極的な質問や意見を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690225
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**障がい児保育と 特別支援教育**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	コバヤシ　トオル 小林　徹 郡山女子大学家政学部教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月22日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
子どもたちが有する「特別な教育的ニーズ」に対応した「障がい児保育」と「特別支援教育」の理論と実践について理解を深めます。特に子どものライフステージに着目し、その人生を見通しながら、各年齢で必要な支援を考えていきます。障がいの種類や特徴について学び、それぞれの特性に合った具体的支援や社会資源との連携や活用をイメージできることを目指します。
【到達目標】
・保育や教育の現場で必要となる各障がいについての基礎知識を修得し、現場において適切な支援を選択できるようになる。
・国内外における障がいについての考え方を理解し、それらの違いを踏まえながら、今後のあり方について自分の考えを説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ライフステージを見通すとは。
第2回 障がいと出会う。
第3回 障がい児保育の基本
第4回 障がいの理解と支援
第5回 発達を目指したさまざまな連携
第6回 小学校との接続
第7回 思春期・青年期に向けて
第8回 障がい児保育・特別支援教育のこれまでとこれから
【学生へのメッセージ】
特別支援教育の範囲は多岐にわたり、かなり内容をしぼった講義になります。ただ聞いているだけでは、関心のある情報を得られないかもしれませんので、リアクションシート等での積極的な発信をお願いします。
【受講前の準備学習等】
事前学習：受講者が障がい児にどのような関心があるのか。また、本授業で何を学びたいのか等をお答えいただくため開講前にご準備ください。授業開始後はテキストを活用して事前学習を深めてください。
事後学習：授業で学習した内容やテキストの演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
【課題内容】講義で学んだ情報の中から、印象に残ったものを2つ選び、そのそれぞれに対して、印象に残った理由、学ぶ前はどのように考えてきたか、学んだことを今後、自分の仕事や人生、日々の生活などとどのように関連付けていきたいか、を具体的に述べてください。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、配布するプリントを入れるクリアファイル等。
【教科書】
・ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育（小林徹・栗山宣夫編／みらい／¥2,640／ISBN=9784860155049）
講義初日に、担当講師より購入されることをぜひお勧めします。

科目コード	2690233	**授業概要**	**【授業内容】** 児童生徒の発達や行動を、心理学的な視点と現代の子どもたちを取り巻く状況から理解し、学校現場やその周辺領域で求められる支援の視点を身につけることを目指します。 また、いじめ・不登校・人間関係の問題など学校集団で生じる課題への支援について、演習を通して実践的な理解を深めることを目的とします。 **【到達目標】** ・児童生徒の行動問題を心理学的な視点で理解できる。 ・学校における支援の基本的枠組みと集団における心理支援の視点を理解できる。 ・いじめ，不登校などの課題に対する現代的な理解の視点を説明できる。 ・傾聴や人間関係作りのワークを通した心理支援のアプローチを体験的に理解できる。 **【授業テーマ】** 第1回 児童生徒支援の心理学とは何か 第2回 児童生徒の発達理解と行動の背景 第3回 いじめの理解と支援 第4回 不登校の理解と支援 第5回 思春期の心理とインターネットを巡る現代的課題 第6回 人間関係づくりワーク - 傾聴とコミュニケーション - 第7回 人間関係づくりワーク - 自己理解とチームビルディング - 第8回 児童生徒の心理支援の複合的な課題とチーム支援 **【学生へのメッセージ】** 授業内で適宜，演習やワークを取り入れます。意欲的な参加を期待します。 また、配布資料を中心に授業を進めます。参考となる文献や書籍は授業内で紹介します。 **【受講前の準備学習等】** 事前学習：児童生徒を含む広く現代の子どもを取り巻く課題、またその心理支援について興味関心のあるテーマを準備してきてください。 事後学習：授業で学修した内容や演習を活用して復習を行い、児童生徒支援の理解を深めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	福島学習センター		
学習センターコード	07A		
クラスコード	K		
科目名	**児童生徒支援の心理学**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	タキヤ　スミ 滝谷　寿美 桜の聖母短期大学専任講師／ 福島県教育センター教育相談アドバイザー		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	福島学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 意見交換等で使用する場合がありますので、可能な方は当日スマートフォン・タブレット・PC等をご持参ください（必須ではありません）。 学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2690241	**授業概要**	**【授業内容】** 地球温暖化問題や資源の枯渇など、様々な環境問題への対策が急務となっています。環境問題には様々な要素が絡んでいるため、それに関わる学問分野も多岐に渡りますが、その1つに経済学があります。経済学と環境問題は一見関係が薄いように思われるかもしれないですが、実は経済学の分野でも、経済学の考え方を基に環境問題を分析する「環境経済学」という分野があります。本科目では、この環境経済学に関わる講義を通して、経済学の考え方では環境問題をどのように考えるかについて学んでいきます。 **【到達目標】** ・経済学的な観点から、環境問題が発生するメカニズムを説明できるようになる ・環境政策の実施とその効果について、経済学的観点から説明できるようになる。 ・環境問題にかかわる様々なトピックについてより深く理解し、各トピックについて説明できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 環境経済学を学ぶための準備①：需要曲線と供給曲線 第2回 環境経済学を学ぶための準備②：市場均衡と余剰分析 第3回 環境問題発生のメカニズムの経済学的な考え方：外部性と公共財 第4回 環境経済学における環境政策とその効果①：直接規制 第5回 環境経済学における環境政策とその効果②：環境税 第6回 環境の価値とその評価手法 第7回 環境問題に関わる様々なトピック 第8回 これまでのまとめと総括 **【学生へのメッセージ】** 決して万能というわけではありませんが、我々の社会で発生する出来事や問題を理解するうえで、実は経済学の考え方がその理解の手助けになる場面は多くあります。本科目は環境問題をその対象としていますが、この科目が経済学的に物事を考えるきっかけになればと思います。 **【受講前の準備学習等】** この科目では、主にミクロ経済学という学問の考え方を基に授業を進めていきます。最初の2回分の授業でも、授業内で必要となるミクロ経済学の考え方について説明しますが、この科目の理解がより深まりますので、事前にミクロ経済学自体や関連する用語について調べておいてください。 また、環境問題やそれに対する動向についても見ておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	福島学習センター		
学習センターコード	07A		
クラスコード	K		
科目名	**経済学で考える環境問題**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ニシジマ　ダイスケ 西嶋　大輔 福島大学共生システム理工学類准教授		
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月1日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	福島学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具以外は特にありません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・環境経済学をつかむ　第5版（栗山浩一、馬奈木俊介／有斐閣／¥2,640／ISBN=978-4-641-17734-5） ・ミクロ経済学の力（神取道宏／日本評論社／¥3,520／ISBN=978-4-535-55756-7） ・新・環境経済学入門講義（浜本光紹／創成社／¥2,420／ISBN=978-4-7944-3249-0）

科目コード	2690250
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**古代中国の社会と漢字**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	24名
担当講師	ミヤモト　トオル 宮本　徹 放送大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
漢字の誕生とその発展の歴史は、文明体としての中国の歩みと軌を一にします。漢字は長い時間をかけてその形体と用法とを完成させましたが、その完成に至るまでの時期は、後の中国と周辺地域に多大な影響を及ぼす諸制度が生み出された時代でもありました。
本授業では、そのような中国文化の基盤の形成と漢字の歴史とがどのような関わりを持つのかについて、豊富な文字資料を用いつつ多方面から考えてみたいと思います。

【到達目標】
(1) 漢字の形・音・義に関わる基本的知識を習得するとともに、その成立から完成に至る歴史的展開について理解を深めることができる。
(2) 漢字を参照点としながら、日本にも多大な影響を与えた古代中国の文化と学術に対する俯瞰的な視座を獲得することができる。
(3) 古代中国の文献・書物に触れながら、そこに展開された作者の思索・論理・美意識を追体験することができる。

【授業テーマ】
第1回 はじめに～漢字にまつわる基本的概念
第2回 漢字の誕生と古代文明の形成～甲骨文
第3回 青銅器とその時代～金文
第4回 地域性の形成と漢字の変化（1）～春秋文字
第5回 地域性の形成と漢字の変化（2）～戦国文字
第6回 文字統一と古代帝国の誕生～篆文と隷書
第7回 漢字のその後～文化制度としての漢字
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
特段の予備知識は必要ありません。授業中、気になった漢字をすぐに調べられるよう漢和辞典（電子媒体も含む）を用意されればより理解が進むでしょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
漢和辞典（任意）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・アジアと漢字文化（大西克也・宮本徹／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595309069）
※古書で入手または本部附属図書館等から取寄せしてください。
・全訳　漢辞海(第四版)（戸川芳郎／三省堂／¥3,300／ISBN=9784385140483）

科目コード	2690268
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**美術を学ぶ意味を探ろう**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	アライ　ヒロシ 新井　浩 福島大学人間発達文化学類教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
・美術を学ぶ意味を、描画やゲームを使った協働作業やディスカッションを通して学んだり、紙や粘土などの材料を体験的に触れながら造形する時間を通して学んでいきます。
・２日間の授業では、描画の伝言ゲーム、講義とワークショップによる材料体験、アートカードを使ったコミュニケーションゲーム、新聞紙を使った造形や粘土を使った造形活動を体験し、描いたり作ったりする活動が、社会や生活の中で気付きや、解決への組み立てとつながっていることを学びます。

【到達目標】
・簡単な内容を相手の立場に立って伝えられるようになる。
・他者の思い付きに共感したり、自分のアイデアを伸び伸びと発表することが出来る。
・材料の性質や特徴を理解し、性質や特徴を生かした表現活動が出来る。
・想像して考えたことを粘土でのびのびと表現することが出来る。
・上記を通して学んだ力が他の場面でも活用できることを理解出来る。

【授業テーマ】
第1回 お絵描き伝言ゲームで協働しよう
第2回 美術の成り立ちを知り、身近に感じられる方法を身に付けよう
第3回 美術の思い付く力でアートカードを使って交流しよう
第4回 美術の組立てる力で新聞紙を使ってチームや個人で高さ競争しよう
第5回 オノマトペ（コロコロ、キラキラなどの擬声語）伝言ゲームで身振り手振りを使ってオノマトペに親しもう
第6回 オノマトペを使った物語に出てくる主人公はどんな姿かな？粘土で作ってみよう
第7回 オノマトペを使った物語から場面を選んで表現を考えよう
第8回 オノマトペを使った物語から場面を選んで表現を工夫してみよう

【学生へのメッセージ】
８回授業の前半は受講者同士でグループワークを行う場面が多いのでご注意ください。
後半は粘土で手のひらいっぱいのサイズで制作をします。
観察して写す授業ではなく、考えて作り出すことが多い授業ですのでご注意ください。

【受講前の準備学習等】
・「オノマトペ」とはどのようなものかを調べてきてください。
・粘土の性質や扱い方を調べてきてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
汚れても良い服装、ハンドタオル、ビニール袋（レジ袋サイズ）２枚
持っていればスマートフォン（簡単な検索用です）

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入者の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2690276
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**アイルランドの社会と文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	ササキ　キョウスケ 佐々木　恭介 桜の聖母短期大学専任講師
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
アイルランドは、かつて大英帝国として世界的な影響力を有したイギリスに隣接する島国であり、その地理的近接性ゆえに歴史的・政治的・文化的に大きな影響を受けてきました。本授業は、日本から遠く離れたアイルランドを対象に、その歴史、社会構造、宗教、言語、アイデンティティ、文化などを多角的に学ぶ科目です。講義では、日本との共通点および相違点を検討し、異文化を通して自己と社会を見つめ直すことを目的とします。また日本において異文化を学ぶことの意義についても考えたいです。
【到達目標】
①学生は、アイルランドの歴史的背景、社会構造、宗教、言語、文化の基礎的特徴を説明できる。
②日本社会との共通点および相違点を具体的事例に基づいて比較・整理し、異文化を通して自己や社会を相対化することができるようになる。
③日本において異文化を学ぶ意義について自らの考えを論理的に述べることができる。
【授業テーマ】
第1回 アイルランドの地理と歴史的背景
第2回 イギリス支配とナショナル・アイデンティティ
第3回 宗教と社会：カトリックとプロテスタント
第4回 言語文化と音楽
第5回 スポーツの社会的機能
第6回 移民と多文化化する社会
第7回 北アイルランド問題
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
異国アイルランドの文化や社会に触れることで、実際に訪れてみたくなるような授業を目指したいと思います。共に学びを深めていきましょう。
【受講前の準備学習等】
受講にあたっては、シラバスの内容に目を通し、アイルランドの歴史・社会・文化に関する基礎事項を整理しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具（鉛筆・ボールペン等）をご用意ください。資料は、講義当日に配付します。
【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2690284
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**西洋美術への招待**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	カトウ　ナホコ 加藤　奈保子 福島大学人間発達文化学類准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月13日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
ヨーロッパの美術が時代や地域によって大きな多様性を示すのは、人々が求めた美の基準や作品に期待する役割が異なるためです。こうした点を踏まえて、古代ギリシアから20世紀前半までの西洋の絵画・彫刻・建築作品を取り上げ、その歴史の流れをたどっていきます。それぞれの作品の制作背景を説明することで、作品を構成する様々な要素について考え、作品の見方を深めていきます。また、社会における「芸術」の在り方の変化が芸術家に対するイメージに影響をおよぼす一方、作品と鑑賞者との関係にも大きな変化をもたらしたことにも注目します。

【到達目標】
・西洋美術に関する用語を習得し、説明することができる。
・作品を丁寧に観察し、その特徴を説明することができる。
・各芸術家の様式の特徴を理解し、説明することができる。
・美術作品と社会・文化・思想との結びつきを理解し、説明することができる。
・それぞれの時代における美術に求められた役割を理解し、説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 西洋美術への招待：美術史研究の基礎
第2回 古代ギリシアの美術：理想美の追究
第3回 ゴシック時代の美術：大聖堂の時代
第4回 盛期ルネサンスの美術：芸術家像の変化
第5回 17世紀イタリアの絵画：バロック絵画の潮流
第6回 17世紀オランダ絵画の黄金期
第7回 印象主義：主観としての絵画
第8回 20世紀前半の美術：「アート」とは何か？

【学生へのメッセージ】
受講に際して、特別な知識は必要ありません。授業をとおして作品鑑賞の基礎も説明していきますが、受講後も積極的に本物の作品を見る機会をもうけ、作品の見方をさらに深めてほしいと思います。

【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・機会があれば、近隣の美術館に足を運び、どのような作品が展示されているのか見てください。
・授業で学修した内容などを活用し、美術作品に対する見方について理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・『増補新装 カラー版 西洋美術史』(高階秀爾監修／美術出版社／¥2,090／ISBN=9784568400649)

科目コード	2690292
学習センター	福島学習センター
学習センターコード	07A
クラスコード	K
科目名	**機能性材料と新素材**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	シマダ　クニオ 島田　邦雄 福島大学共生システム理工学類教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	福島学習センター

授業概要

【授業内容】
世の中で広く使われている機能性材料の一つである機能性流体について広く理解を深めることを目的とします。具体的には、レオロジー、磁性材料、振動を制御する技術、研磨技術、複合材料、ゴム、太陽電池、五感とそれに関するセンサー、エナジーハーベスティングに関する発電技術など機械、電気、化学、物質の多岐に渉る分野について総合的に触れます。講師がこれまで携わって来た最先端の技術を分かり易く解説すると共に、これらの分野について広く理解します。

【到達目標】
機能性流体にはどのようなものがあるのか、また、それらの特徴と、それらがどのように社会に対して工学的に利用されているのかについて理解し、機能性材料の社会に果たす役割について説明できる。こうした理解を通して、電気、化学、物質の多岐に渉る分野における最先端の研究について概観を理解する。

【授業テーマ】
第1回 機能性流体とは
第2回 機能性流体の応用例：MCFダンパーとMCF研磨
第3回 機能性流体の応用例：MCFゴム
第4回 電解重合したMCFゴムの電気特性とその利用
第5回 機能物質のセンサー化
第6回 機能物質による太陽電池
第7回 生体工学における機能物質
第8回 機能物質のその他の利用

【学生へのメッセージ】
本講義は、出前講座で扱うような基本的な分かり易い内容を基本としていますが、企業等で求める技術専門的な内容にまで触れなければならない面も含みます。それで、受講前後におけるよく調査をすることをお勧めします。

【受講前の準備学習等】
事前配布資料を読み、出来る範囲で構いませんので不明点について事前に調べておいてください。本講義は幅広く理工学的内容に触れますので、特に、レオロジー、磁性材料、振動を制御する技術、研磨技術、複合材料、ゴム、太陽電池、五感に関する医学的知識、五感に関するセンサー、エナジーハーベスティングに関する発電技術です。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートについては、最終8時限目において、提示する課題についてレポートを作成してもらいます。本講義資料や、それに関して自分が学習に使用している資料や本など持参して構いません。課題は８時限目に提示します。レポートは返却致しません。

【受講者が当日用意するもの】
この授業はBYODで実施しませんので、パソコン等の電子機器の持参は必要ありません。事前に配布した資料を持参してください。筆記用具は必要です。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
・講義では事前配布資料を使用しますので、当日必ず持参してください。事前配布資料は学期開始後に郵送予定です。
・最終講義時間に実施する成績評価では，紙媒体でレポートを提出してもらいますが、記載する用紙はこちらで準備し配布します。

科目コード	2690306	**授業概要**	**【授業内容】** 授業では、ネパール語の文字体系や発音、基本的な挨拶表現を出発点として、日常的なコミュニケーションや簡単な文章表現へと発展的に学習を進めます。また、ネパール社会の歴史的背景や民族的多様性に触れながら、宗教観、主要な祭り（ダサインやティハール）、生活文化（衣・食・住）、伝統芸能などを幅広く紹介します。映像資料や音楽なども取り入れ、言語が文化や価値観とどのように結びついているのかを理解し、多文化理解と国際的視野を育成します。 **【到達目標】** 学生は、ネパール語の基本的な文字体系や発音、挨拶表現を正確に用い、簡単な自己紹介や日常的な会話を行うことができる。 学生は、ネパールの主要な祭りや文化的慣習について説明し、その歴史的・社会的背景を理解した上で述べることができる。 学生は、授業で学んだ語彙や表現を活用して、ネパール語で短い文章を作成し、その内容を発表することができる。 学生は、言語学習を通して得た知識や気づきをもとに、異文化理解の意義について自らの考えを整理し、説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 ネパール語入門とネパールという国の概要 第2回 あいさつ表現とネパールの社会・文化 第3回 数字・時間表現とネパールの宗教と信仰 第4回 基本文法（主語・動詞・語順）とネパールの祭り 第5回 日常会話表現とネパールの食文化 第6回 基本文法②（形容詞・過去形）とネパールの教育・社会問題 第7回 簡単な会話実践と現代ネパール社会・国際関係 第8回 振り返り **【学生へのメッセージ】** ネパール語の音やリズムに親しみながら、授業で学んだ語彙や表現を日常生活の中でも積極的に試してみましょう。言葉の背景にある価値観や習慣にも目を向け、文化と結びつけて理解を広げていく姿勢を大切にしてください。 **【受講前の準備学習等】** 授業に備えて、ネパール語の文字体系や基本的な発音を、音声付き教材や動画などを活用してあらかじめ確認しておきましょう。また、ネパールの地理的特徴や主要都市、代表的な祭りや食文化についても事前に簡単に調べておくと、授業で扱う内容への理解がより深まります。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 **【教科書】** 教科書は使用しません。
学習センター	福島学習センター（いわき）		
学習センターコード	07S		
クラスコード	Q		
科目名	**ネパール語と ネパールの文化**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	18名		
担当講師	シュレスタ　サハデブ Shrestha Shahadave 東日本国際大学経済経営学部特任講師		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	いわきサテライトスペース		**【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2690314
学習センター	福島学習センター（いわき）
学習センターコード	07S
クラスコード	Q
科目名	**ソーシャルワークと援助関係**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	18名
担当講師	マツダ　ソウイチロウ 松田　聡一郎 東日本国際大学健康福祉学部専任講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	いわきサテライトスペース

授業概要

【授業内容】
ソーシャルワークとは、福祉の視点から人の生活問題を社会との関係をとらえ、解決の手助けをする考え方や仕事のことです。ソーシャルワークを行う人をソーシャルワーカーと言い、日本では社会福祉士や精神保健福祉士として国家資格化されています。こうしたプロのソーシャルワーカーがどのように人の生活問題に取り組んでいるかを知ることで、皆さんに福祉を身近に感じてもらうとともに、ご自身の問題解決能力を高めることを目指します。
【到達目標】
ソーシャルワークの基本的な考え方と援助方法を理解し、自身の身近な生活問題に対しての視点と関わり方の基礎を学び、問題解決能力を高めることができる。
【授業テーマ】
第1回 援助を構成する3要素と必要条件
第2回 援助対象を把握する視点とその枠組み
第3回 4つの援助モデル
第4回 他なる人
第5回 援助関係の4性質
第6回 援助関係はどのように発展してきたか
第7回 援助過程がめざすところ
第8回「人と人との」関係性
【学生へのメッセージ】
座学だけでなく、グループワークやロールプレイなどを用いて講師と受講生が交流しながら授業を作り上げていきます。その際、学生の皆さんご自身の体験談やお考えをお話しいただくことがあります。
【受講前の準備学習等】
参考文献をもとに授業を構成します。事前に該当箇所を読み、不明な点を調べたり、質問事項をまとめるなどしてください。また、学生の皆さんご自身や身近な方の抱える問題について、日ごろから考え、自身の考えを表明できるようにしておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特に用意するものはありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・援助関係論入門：「人と人との」関係性（稲沢公一／有斐閣／¥2,090／ISBN=9784641221000）
有斐閣アルマ

科目コード	2690322
学習センター	福島学習センター（いわき）
学習センターコード	07S
クラスコード	Q
科目名	**対人コミュニケーションの心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	18名
担当講師	クボタ　ノリコ 窪田　文子 医療創生大学総合医療学部特任教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	いわきサテライトスペース

授業概要

【授業内容】
この授業では、対人場面におけるコミュニケーションの構造や対人コミュニケーションの様々な側面、また、対人場面におけるコミュニケーションの問題やそれに影響を与える要因、さらに、人を支えるコミュニケーションについて、演習を交えて概観します。

【到達目標】
・コミュニケーションが、どのような構造で成り立っているのかを説明することができる。
・様々なコミュニケーションについて、その特徴を説明することができる。
・対人コミュニケーションの問題やそれに影響を与える要因について説明することができる。
・人を支えるコミュニケーションについて説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 コミュニケーションの構造
第2回 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション
第3回 自分を知らせるコミュニケーション：自己開示
第4回 相手に影響を与えるコミュニケーション：暗示について
第5回 人を理解するコミュニケーション
第6回 価値観・思い込みの影響
第7回 人を支えるコミュニケーション：傾聴
第8回 コミュニケーションツールについて

【学生へのメッセージ】
この授業では、誰もが日頃行っているコミュニケーションを取り上げて、心理学的視点から概観します。演習やビデオ視聴を通して、身の回りのコミュニケーションを振り返りながら、体験的に学習していただけるように工夫します。

【受講前の準備学習等】
・授業までに、身近な人のコミュニケーションを観察したり、ご自身のコミュニケーションを振り返ってみてください。
・授業後は、授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・インターパーソナルコミュニケション：対人コミュニケーションの心理学（深田博巳／北大路書房／¥2,750／ISBN=4762821039）

科目コード	2690330
学習センター	福島学習センター（いわき）
学習センターコード	07S
クラスコード	Q
科目名	**地域経済と第4次産業革命**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	18名
担当講師	カワイ　シン 河合　伸 東日本国際大学経済経営学部学部長／教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55
実施会場	いわきサテライトスペース

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では、ICTと生成AIなどの新技術を活用した第4次産業革命と地域経済について考察していきます。まずは、産業革命の歴史と経済の発展について概観します。次に日本の地域経済がどのように変化してきたのかを、その地域構造･産業構造の変化に注目して概観します。そして、政策の背景にある基本的な経済学的考え方に焦点をあてることで、歴史と政策並びに理論的基礎をバランス良く理解して､多面的に地域経済の見る力を培えるようにします。最後に、地域経済のこれからについて考察していきます。

【到達目標】

・地域経済と産業革命との関係について理解し、地域経済の発展のために必要なことについて述べることができる。
・戦後日本の発展と地域経済の関係について理解し、現代の課題について述べることができる。
・第4次産業革命について理解し、これからの地域経済のあり方について考えを述べることができる。

【授業テーマ】

第1回 地域経済の現状と課題－人口、県内総生産、有効求人倍率など
第2回 産業革命と社会の変遷－農耕社会、工業社会、情報社会そして
第3回 地域経済の成長理論－基盤産業発展論、産業立地の理論など
第4回 地域開発政策の検証－全総、新全総、国土形成計画
第5回 グローバリゼーションと地域経済－世界の動きと日本の動き
第6回 スマートシティとデジタル田園都市国家構想－新たなまちづくり
第7回 いわき・浜通り地域の経済発展－わたしたちにできること
第8回 まとめ―地域経済のこれからについてわかったこと

【学生へのメッセージ】

身近な地域の経済について一緒に考えてみませんか。世界の中の日本という視点や、産業革命と経済という歴史的視点、そしてAI・デジタル社会に移行する現在から未来への視点と様々な角度から眺めていきましょう。

【受講前の準備学習等】

・インターネット接続が必要
　本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・県民経済計算のキーワード検索で出てくる内閣府の「経済社会総合研究所」のページや、「福島県県民経済計算」にある統計データを見て大まかな数字を把握しておいてください。
・RESASのキーワード検索で出てくる「RESAS地域経済分析システム」のページからマーケティング、人口や産業構造など、関心のままにクリックして眺めておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末
　種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、Android等）。
3．ソフトのインストール
　ブラウザを使用しますが、種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。
4．筆記用具（ペンがあればいいです）

【教科書】

教科書は使用しません。

【参考書】

・国際化時代の地域経済学　第４版（岡田知弘・川端光義・鈴木誠・富樫幸一／有斐閣アルマ／¥2,640／ISBN=978-4-641-22075-1）
・地域経済学入門　第３版（山田浩之・徳岡一幸／有斐閣コンパクト／¥2,750／ISBN=978-4-641-16522-9）
・地域づくりの経済学入門（岡田知弘／自治体研究社／¥2,970／ISBN=978-4-88037-711-7）

【その他（特記事項）】

充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2690349	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、近代以降私たちが信じてきた「文化（人間）対 自然」という対立図式を根本から問い直します。かつて自然は人間が征服し管理すべき対象とされてきましたが、気候変動や環境破壊が進む「人新世」の現在、その境界はすでに崩れ去っています。講義では、現代思想、人類学、森林生態学の最新の知見を横断しながら、植物や動物が持つ知性や主体性に光を当てます。人間中心の視点を離れ、私たちがより大きな生命の網の一部として、自然とどのように関わり、共に生きていくべきか、その新しい可能性を探求します。 **【到達目標】** ①近代における「文化」と「自然」の二項対立的な思考枠組みがどのように形成され、それが現代社会にどのような影響を与えているかを、具体的な歴史的背景を挙げて説明できる。 ②「人新世」という概念の定義と意義を理解し、現在の環境問題や社会問題を論じる際に、この概念を用いて現状を分析できる。 ③人間中心主義的な視点を相対化し、人間と非人間（自然）との新しい共生のあり方について、自分なりの視点に基づいた論理的な意見を述べることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション―近代が作った「断絶」を疑う 第2回 歴史の衝突―人新世における人間の条件 第3回 資本と自然―外部化される自然の終焉 第4回 自然なきエコロジー―ロマン主義的な「自然」との決別 第5回 森の知性―植物たちのコミュニケーションと社会 第6回 記号の森―人間以外も「考えて」いる 第7回 モア・ザン・ヒューマン―動物と共に生きる世界 第8回 総括―非人間との連帯と「ヒューマンカインド」 **【学生へのメッセージ】** 普段、何気なく見ている街路樹や、道端の動物たち。もし彼らに、私たちと同じような「言葉」や「社会」があるとしたら？ 本講義を通じて、皆さんの目に見える景色は少しずつ変わっていくはずです。最新の科学や哲学は、人間だけが主役ではない、驚くほど豊かな世界の姿を明らかにしつつあります。この授業が終わる頃には、人間と自然の関係が、これまでとは全く違う、新しく豊かなものとして感じられるようになっているでしょう。共に新しい「共生」の形を探求しましょう。 **【受講前の準備学習等】** 次回のテーマに関連する環境問題やニュースについて、インターネットや新聞等で情報を集めておいてください。その際、人間側の都合だけでなく、「もし自分が植物や動物の立場だったらどう感じるか」という視点で物事を考えるシミュレーションをしてきてください。なお、「人新世」や「二項対立」などのキーワードについて、不明な点は事前に調べておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	福島学習センター（いわき）		
学習センターコード	07S		
クラスコード	Q		
科目名	**森と語り、動物に学ぶ共生論**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	18名		
担当講師	タブチ　ヨシヒデ 田渕　義英 福島工業高等専門学校准教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	いわきサテライトスペース		**【受講者が当日用意するもの】** ノート、筆記用具など学習に必要なもの。 **【教科書】** 教科書は使用しません。

科目コード	2690357	授業概要	**【授業内容】** 本授業では、まず1940年代のマンハッタン計画以降の核開発の歴史的展開に立ち返り、核拡散や原発事故を発端とする複合的危機の発生と地域社会での深刻化の歴史的契機、そして米国ハンフォード・サイトなどの核施設周辺地域での放射能汚染とクリーンナップ事業の経緯を扱います（第1回から第4回）。その上で、核時代における科学と社会と自然の複雑な絡み合いをジェンダー ・南北問題・エコロジーの切り口から探究することで、原子力災害を経験したこの福島県浜通り地域の視点からグローバルな核問題に向き合うための理論的・概念的基礎をおさえます（第5回から第8回）。 **【到達目標】** 1．マンハッタン計画以降の核開発の歴史的展開と主要な出来事を理解する。 2．核技術が社会に与えてきた影響を自らの関心に即して分析できる。 3．現代の核問題に対して自らの見解を批判的・論理的に表現できる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション：核時代（The Atomic Age）とはいかなる時代か 第2回 核開発と拡散：マンハッタン計画から「平和のための核（Atoms for Peace）」へ 第3回 ハンフォード・サイト１：プルトニウム精製史における地域社会 第4回 ハンフォード・サイト２：「最も汚染された地域」の現在 第5回 核時代のグローバル・サウス：「無人」の核実験場とスロウ・バイオレンス 第6回 原発事故とジェンダー ：チョルノービリ事故が変えたことと変わらなかったこと 第7回 核時代のエコロジー ：「新気候体制」における核技術 第8回 福島県浜通り地域から核時代を捉えなおす **【学生へのメッセージ】** 地域レベルの自然と社会の観点から核時代を考える授業です。環境科学や科学史についての前提知識は特に必要ありません。核をめぐる思想や歴史に興味のある方も興味を持って頂けるのではないかと思います。核技術の発展と拡散を発端とする複合的危機について、「すぐに役立つ知識」のみを求めるのではなく、むしろ遠回りしてでも問題の歴史性を踏まえて深く考えたいという方の受講を歓迎します。なお、理解度確認のためのコメントペーパーを書いていただく場合があります。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で直接扱うわけではありませんが、下記の参考書などを読んでおくとより理解が深まると思います。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	福島学習センター（いわき）		
学習センターコード	07S		
クラスコード	Q		
科目名	**核時代の 自然・科学・社会**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	18名		
担当講師	ハセガワ　ケンジ 長谷川　健司 東日本国際大学グローバル人財育成研究所・専任講師		
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	いわきサテライトスペース		**【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・被曝の世紀：放射線の時代に起こったこと（キャサリン・コーフィールド（著）、友清裕昭（翻訳）／朝日新聞出版／¥2,510／ISBN=9784022562272） ・新版　原子力の社会史：その日本的展開（吉岡斉／朝日新聞出版／¥2,090／ISBN=9784022599834） ・原子力と人間の歴史：ドイツ原子力産業の興亡と自然エネルギー（ヨアヒム・ラートカウ、ロータル・ハーン（著）、山縣光晶、長谷川純、小澤彩記（翻訳）／築地書館／¥6,050／ISBN=9784806714989）

[学習センター・サテライトスペース案内図]

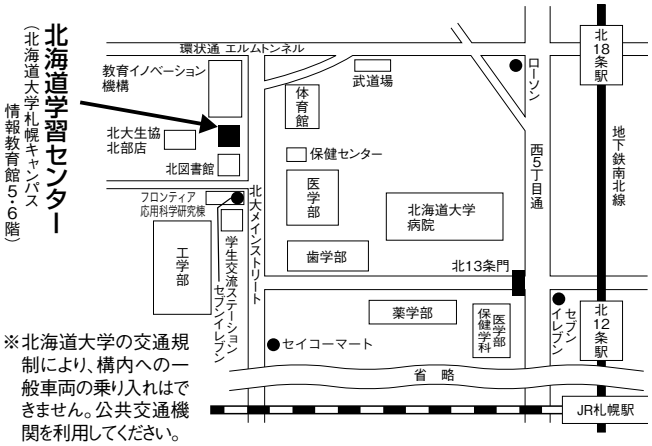
月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

北海道学習センター

〒060-0817　札幌市北区北17条西8丁目（北海道大学構内）

TEL 011-736-6318
FAX 011-736-6319

■地下鉄利用：地下鉄南北線「北18条駅」から徒歩で約10分
■徒歩：JR札幌駅北口から約20分



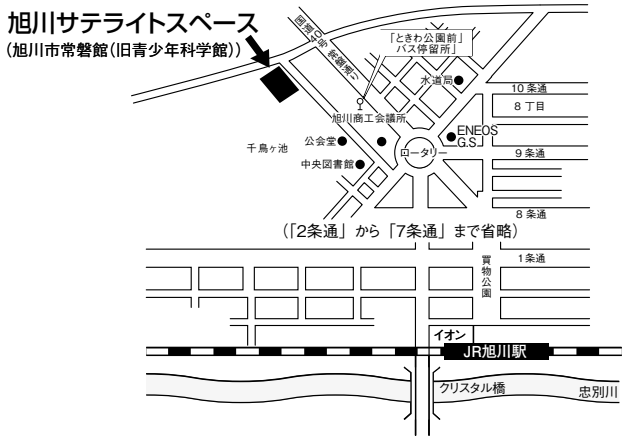
※北海道大学の交通規制により、構内への一般車両の乗り入れはできません。公共交通機関を利用してください。

旭川サテライトスペース

〒070-0044　旭川市常磐公園（旭川市常磐館内）

TEL 0166-22-2627
FAX 0166-22-2676

■バス利用：JR旭川駅前から旭橋経由のバスで「ときわ公園前」下車徒歩3分
■徒歩：JR旭川駅から買物公園を通って約25分



青森学習センター

〒036-8003　弘前市駅前町9-20（ヒロロ4階）

TEL 0172-38-0500
FAX 0172-38-1299

■徒歩：JR弘前駅（中央口）から約5分

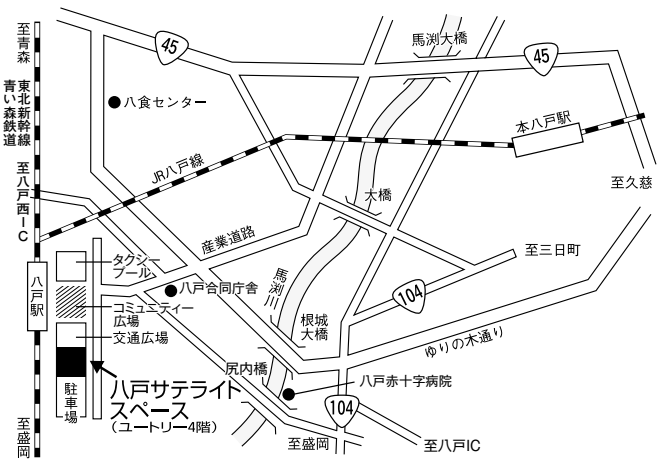


八戸サテライトスペース

〒039-1102　八戸市一番町1-9-22（ユートリー4階）

TEL 0178-70-1663
FAX 0178-70-1667

■JR八戸駅から徒歩1分
■八戸自動車道八戸IC・八戸西スマートICから車で約7分

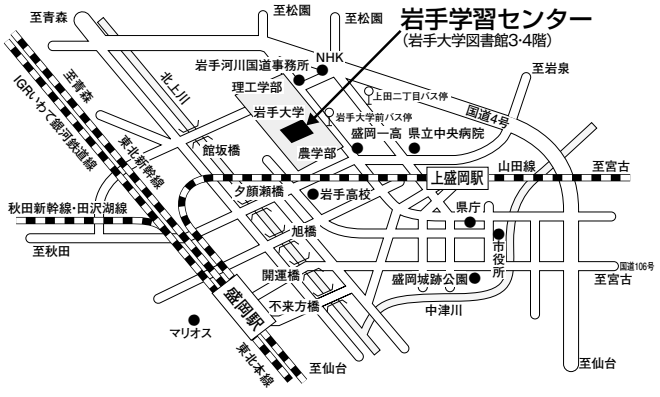


岩手学習センター

〒020-8550　盛岡市上田3-18-8（岩手大学構内）

TEL 019-653-7414
FAX 019-653-7410

■JR盛岡駅から徒歩25分　■JR上盛岡駅から徒歩15分
■JR盛岡駅東口バスターミナル⑪番乗り場から岩手県交通バス・駅上田線「松園バスターミナル行」に乗車し、「岩手大学前」バス停で下車。岩手大学正門から徒歩2分
■JR盛岡駅への帰りのバス停は、別の通りにあります。学習センターで地図を用意していますのでご利用ください。

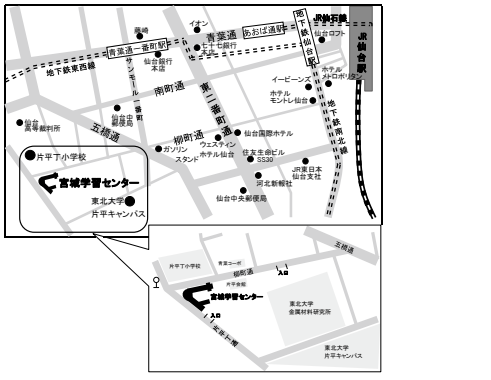


宮城学習センター

〒980-8577　仙台市青葉区片平2−1−1（東北大学片平キャンパス内）

TEL 022-224-0651
FAX 022-224-0585

JR仙台駅（西口）から
■徒歩：JR仙台駅前（イービーンズ前）を南へ約1分、「ホテルモントレ仙台」角を右折し、柳町通を西へ約15分
■地下鉄：東西線「青葉通一番町」駅（南1番出口）から徒歩約10分
■バス：JR仙台駅西口バスプール11番のりばから仙台市営バス「緑ヶ丘三丁目」行、「八木山動物公園」行、12番のりばから宮城交通バス「長町駅東口」行（いずれも霊屋橋・動物公園経由）のいずれかに乗車し、「片平丁小学校前」で下車、徒歩2分
■タクシー：約5分



月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

[学習センター・サテライトスペース案内図]

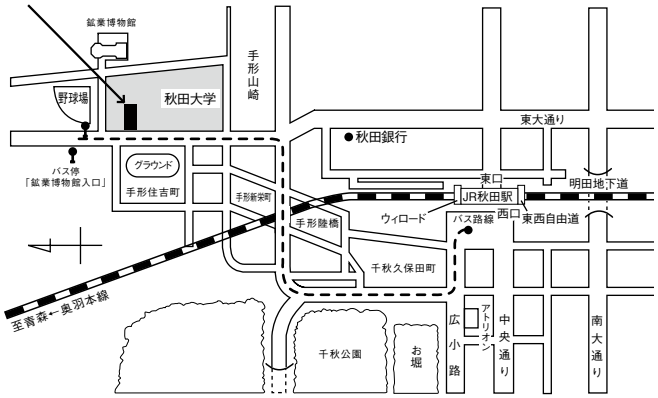
秋田学習センター

〒010-8502　秋田市手形学園町1-1（秋田大学手形キャンパス内）

℡ 018-831-1997
FAX 018-837-4885

■JR秋田駅から徒歩25分
■JR秋田駅西口秋田中央交通バス乗り場⑫番　手形山経由大学病院線（大学病院行）「鉱業博物館入口」下車徒歩3分
■秋田大学北門（野球場側）から徒歩1分

秋田学習センター（秋田大学手形キャンパス研究・イノベーション拠点2号館4階）



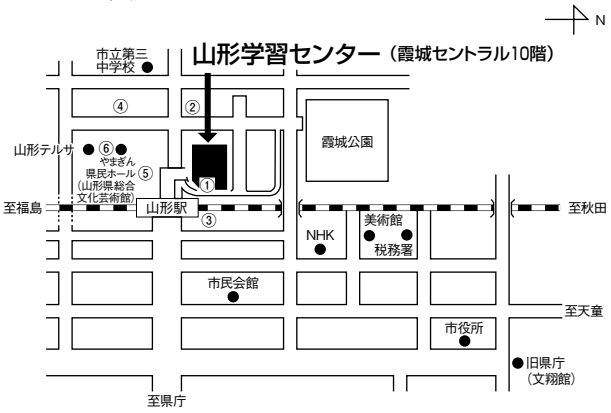
山形学習センター

〒990-8580　山形市城南町1-1-1（霞城セントラル10階）

℡ 023-646-8836
FAX 023-646-8838

■JR山形駅から東西自由通路アピカで徒歩5分
●主な駐車場（有料）①霞城セントラルパーキング ②山形駅西口駐車場 ③山形駅東口交通センター駐車場 ④24h山形駅西口駐車場 ⑤山形駅ビル駐車場 ⑥県民べにばな駐車場

山形学習センター（霞城セントラル10階）

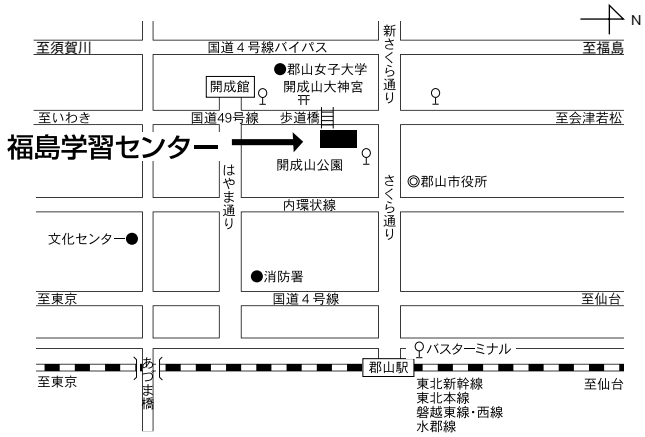


福島学習センター

〒963-8025　郡山市桑野1-22-21

℡ 024-921-7471
FAX 024-921-7814

■バス：郡山駅から福島交通バスで20分
①市役所経由で郡山女子大学下車　徒歩3分
（9番ポール新池下団地行、大槻行、希望ヶ丘行等）
②麓山経由で開成館前下車　徒歩5分（11番ポール大槻行、休石行等）



いわきサテライトスペース

〒970-8026　いわき市平字菱川町1番地の3（いわき市社会福祉センター4階）

℡ 0246-22-7318
FAX 0246-22-7320

■JRいわき駅から徒歩13分（約1 km）



年　月　日

年度　第　　学期
(＿＿＿＿学習センター／サテライトスペース 開設科目)追加登録申請書

学生番号				－							－	

フリガナ 氏名		所属学習センター	
連絡先	〒　－	電話：　（　）	
		メール：	

一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

希望	科目コード	クラス	科目名	第１回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

〇複数の学習センターへ申請する場合は本申請書をコピーするか、面接授業ウェブサイト>「追加登録」について
　から申請書をダウンロードしてください。

〇提出前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

備考

